

北名古屋市
子ども・子育て支援に関するアンケート調査
集計結果報告書

平成 26 年 3 月
北名古屋市

目次

1 調査の概要	1
（1）目的と調査内容.....	1
（2）回収結果	2
（3）調査結果の見方.....	2
2 調査結果	3
（1）就学前児童の保護者	3
（2）就学児童（小学生）の保護者.....	64
（3）自由意見まとめ.....	90
（4）量の見込みの推計に向けた各事業の利用意向の集計	99

1 調査の概要

(1) 目的と調査内容

本調査は、子ども・子育て支援法に基づく「北名古屋市子ども・子育て支援事業計画」の策定に当たり、就学前児童及び就学児童（小学生）の各保護者を対象に、保育や子育て支援等のニーズを把握するために、平成 25 年 9 月に次の内容により実施しました。

対象	調査内容	対象数	調査方法
就学前児童の保護者	<p>国から示された調査票ひな形を基礎とし、「北名古屋市次世代育成支援行動計画（平成 22 年 3 月）」の策定時の項目を一部加えた次の内容です。</p> <ul style="list-style-type: none">・ お子さんご家族の状況・ お子さんの育ちをめぐる環境・ 保護者の就労状況・ 平日の保育園や幼稚園などの利用・ 病児・病後児保育・ 休日等の保育園や幼稚園などの利用・ お子さんの一時預かり・ お子さんの宿泊を伴う一時預かり・ 子育て支援サービス全般・ 小学校就学後の放課後の過ごし方・ 育児休業や職場の勤務制度・ 子育て全般	2,000	郵送
就学児童（小学生）の保護者	<p>「北名古屋市次世代育成支援行動計画（平成 22 年 3 月）」の策定時の調査内容を基礎とし、新たな項目を一部加えた次の内容です。</p> <ul style="list-style-type: none">・ お子さんご家族の状況・ お子さんの育ちをめぐる環境・ 放課後の過ごし方・ 子育て全般・ 子どもの権利	2,000	郵送

(2) 回収結果

調査の結果、回収率は 就学前児童の保護者で 63.6%、 就学児童（小学生）の保護者で 55.5%となっています。

対象	対象数	回収数	回収率
就学前児童の保護者	2,000	1,272	63.6%
就学児童（小学生）の保護者	2,000	1,109	55.5%

(3) 調査結果の見方

この調査結果の留意点は以下のとおりです。

図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。

百分比による集計では、回答者数(該当質問においては該当者数)を 100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数第 1 位までを表記しています。

複数回答の設問では、すべての比率の合計が 100%を超えることがあります。

四捨五入の関係上、複数回答以外は%の合計が 100%となるよう調整しています。

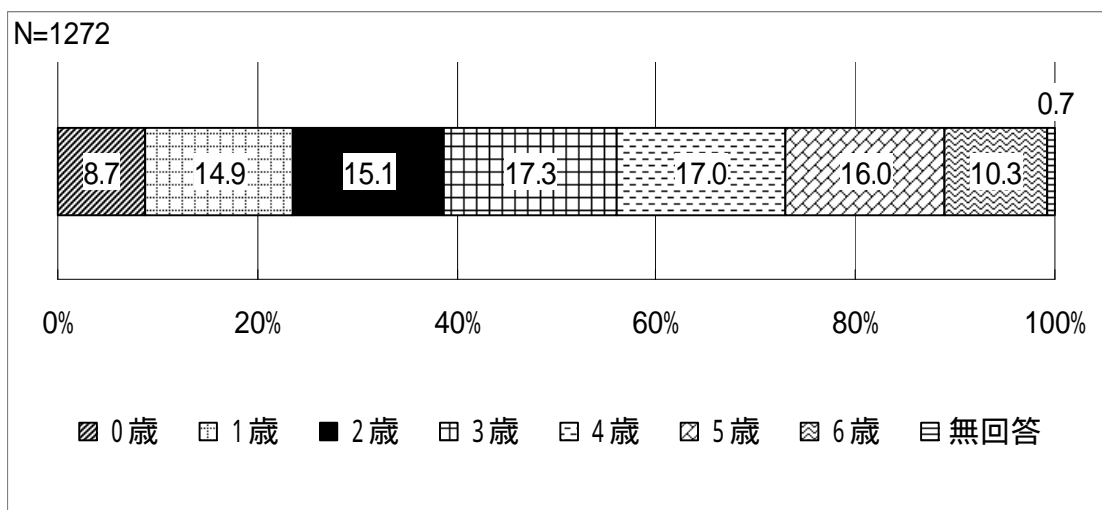
クロス集計結果の分析軸となる項目に「無回答」は未表示です。よって、「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合があります。

2 調査結果

(1) 就学前児童の保護者

問1 封筒の宛名のお子さんの生年月をお聞きします。

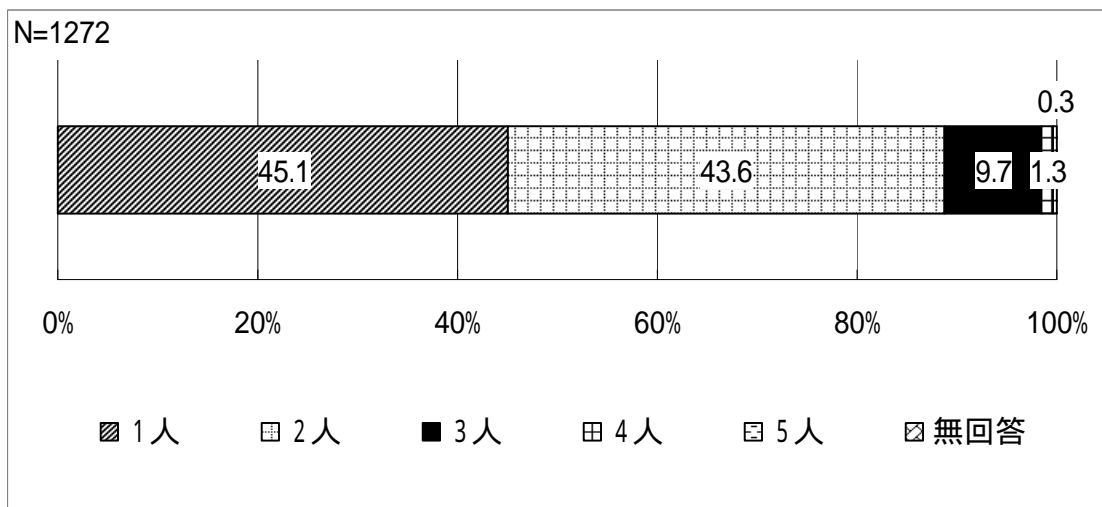
3歳未満が38.7%、3歳以上が60.6%となっています。



問2 宛名のお子さんを含め、お子さんは何人ですか。2人以上の場合、末のお子さんの年齢をお書きください。

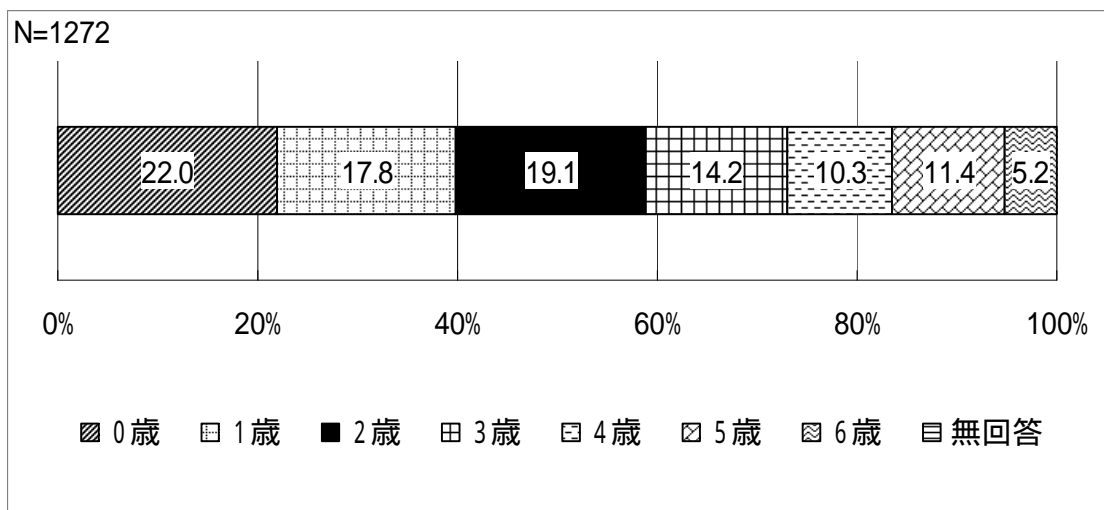
お子さんの数

「1人」が45.1%、「2人」が43.6%となっており、平均は1.68人です。



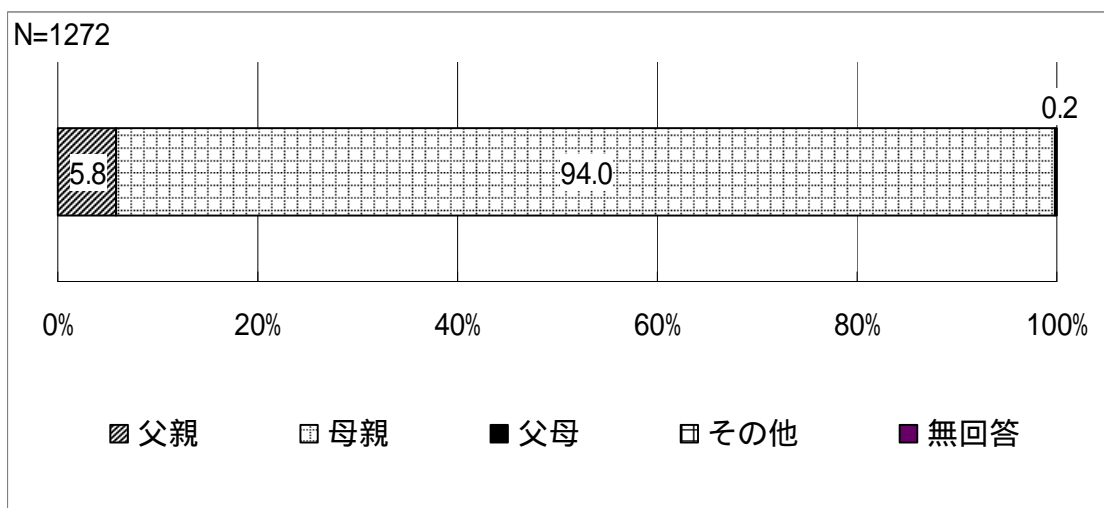
末子の年齢

3歳未満が58.9%、3歳以上が35.9%となっています。



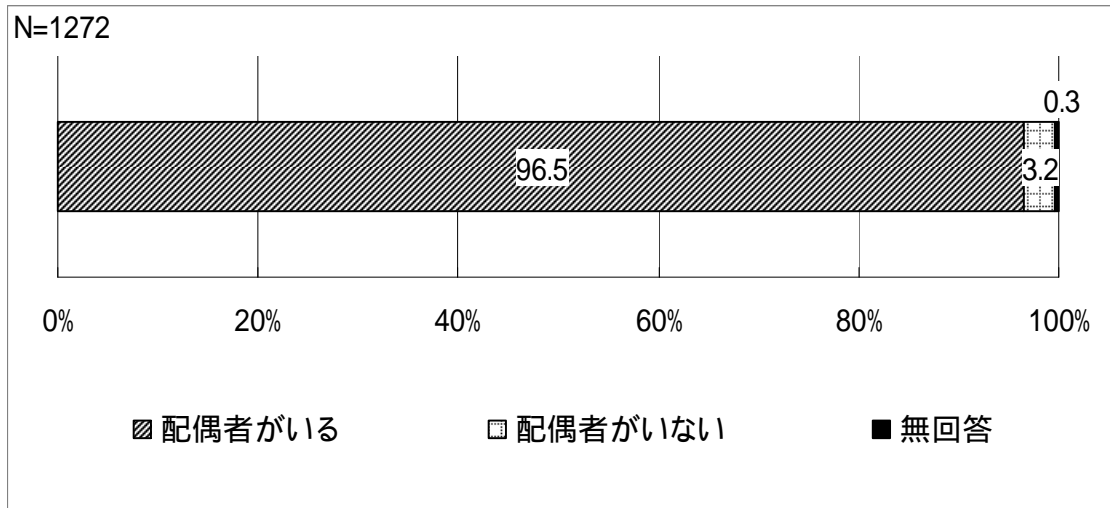
問3 このアンケートの記入者（以後、「あなた」といいます。）は、どなたですか。

「母親」との回答が94.0%と最も高く、次いで「父親」が5.8%、「父母」が0.2%と続いています。



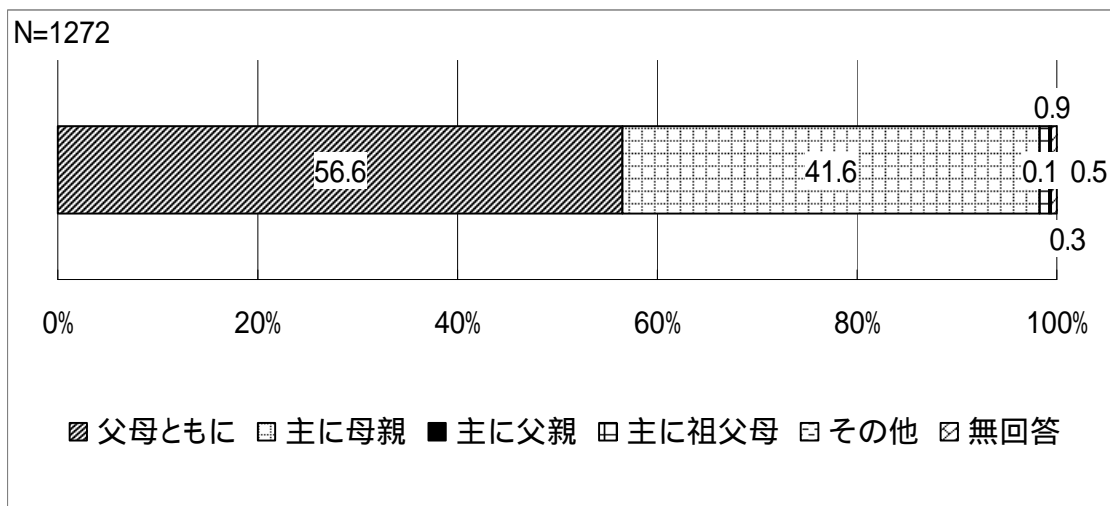
問4 あなたには配偶者がいますか。

「配偶者がいる」との回答が96.5%、「配偶者がいない」が3.2%となっています。



問5 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。続柄は、宛名のお子さんから見た関係です。

「父母ともに」との回答が56.6%と最も高く、次いで「主に母親」が41.6%、「主に祖父母」が0.9%と続いています。



問6 お住まいの小学校区は、どちらですか。

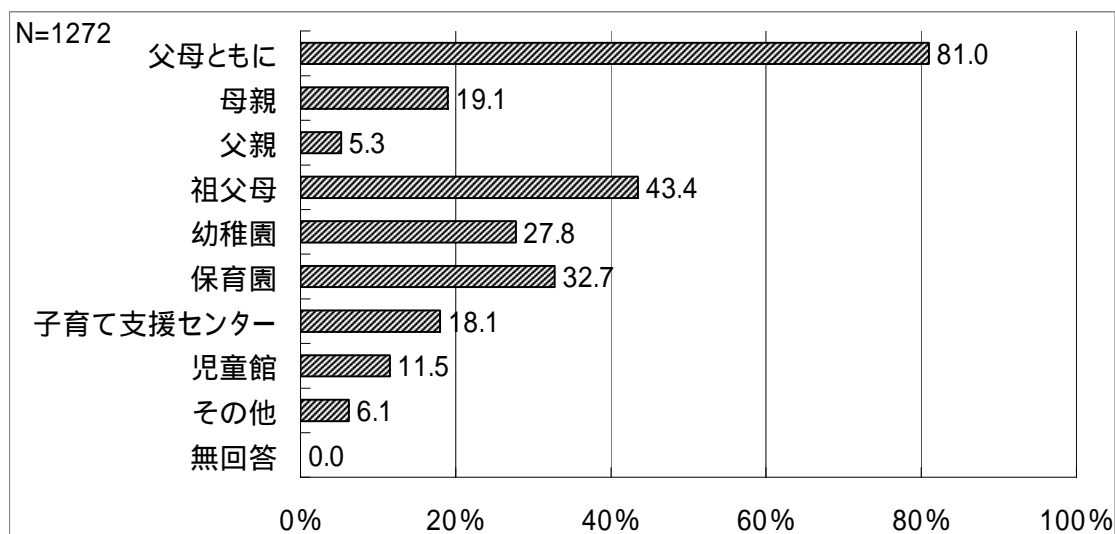
「西春小学校区」との回答が11.1%と最も高く、次いで「師勝小学校区」が10.9%、「師勝西小学校区」が10.2%と続いています。

項目	回答数	%
師勝小学校区	139	10.9%
西春小学校区	140	11.1%
師勝南小学校区	103	8.1%
五条小学校区	122	9.6%
鴨田小学校区	123	9.7%
師勝北小学校区	129	10.1%
師勝東小学校区	115	9.0%
栗島小学校区	121	9.5%
師勝西小学校区	130	10.2%
白木小学校区	123	9.7%
無回答	27	2.1%
N =	1,272	100.0%

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方（施設）すべてに つけてください。

「父母ともに」との回答が81.0%と最も高く、次いで「祖父母」が43.4%、「保育園」が32.7%と続いています。

五条小学校区では「子育て支援センター」との回答が6.6%で、全体の18.1%と比べて10%以上低くなっています。

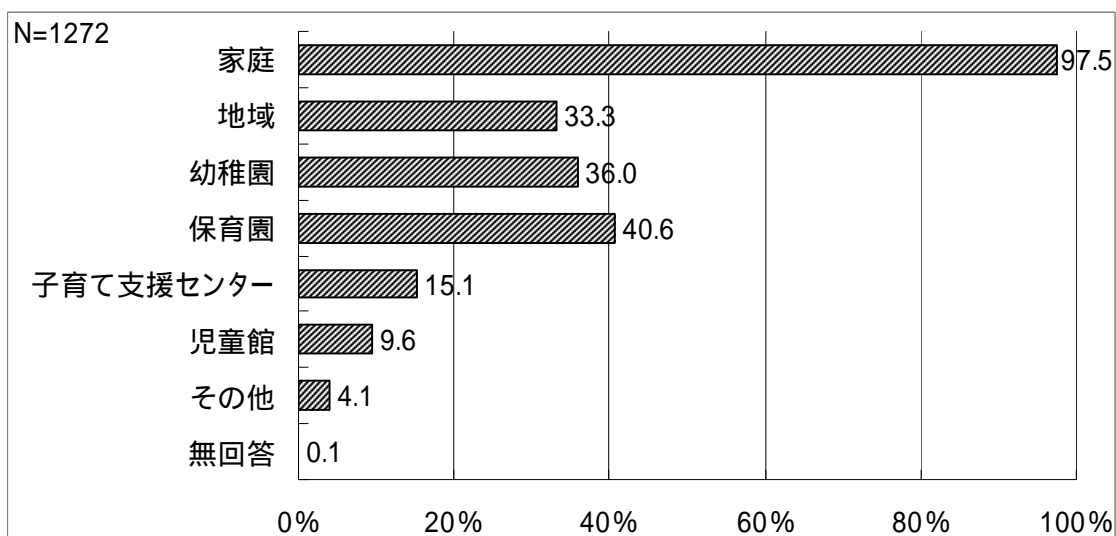


《小学校区別》

		回答者数	問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方（施設）すべてに つけてください。									
			父母ともに	母親	父親	祖父母	幼稚園	保育園	子育て支援センター	児童館	その他	無回答
全体		1272	1030 81.0%	243 19.1%	67 5.3%	552 43.4%	354 27.8%	416 32.7%	230 18.1%	146 11.5%	78 6.1%	0 0.0%
問6 お住まいの小学校区は、どちらですか。	師勝小学校区	139	117 84.2%	22 15.8%	5 3.6%	61 43.9%	39 28.1%	49 35.3%	26 18.7%	12 8.6%	8 5.8%	0 0.0%
	西春小学校区	140	115 82.1%	26 18.6%	5 3.6%	59 42.1%	35 25.0%	46 32.9%	24 17.1%	15 10.7%	12 8.6%	0 0.0%
	師勝南小学校区	103	90 87.4%	13 12.6%	4 3.9%	45 43.7%	27 26.2%	32 31.1%	25 24.3%	12 11.7%	5 4.9%	0 0.0%
	五条小学校区	122	99 81.1%	19 15.6%	4 3.3%	55 45.1%	38 31.1%	38 31.1%	8 6.6%	17 13.9%	8 6.6%	0 0.0%
	鴨田小学校区	123	99 80.5%	21 17.1%	4 3.3%	53 43.1%	43 35.0%	44 35.8%	24 19.5%	8 6.5%	4 3.3%	0 0.0%
	師勝北小学校区	129	104 80.6%	29 22.5%	11 8.5%	55 42.6%	27 20.9%	45 34.9%	21 16.3%	19 14.7%	12 9.3%	0 0.0%
	師勝東小学校区	115	92 80.0%	21 18.3%	7 6.1%	51 44.3%	35 30.4%	36 31.3%	25 21.7%	14 12.2%	6 5.2%	0 0.0%
	栗島小学校区	121	99 81.8%	21 17.4%	6 5.0%	54 44.6%	45 37.2%	38 31.4%	12 9.9%	15 12.4%	10 8.3%	0 0.0%
	師勝西小学校区	130	103 79.2%	30 23.1%	6 4.6%	68 52.3%	40 30.8%	49 37.7%	26 20.0%	15 11.5%	5 3.8%	0 0.0%
	白木小学校区	123	93 75.6%	33 26.8%	10 8.1%	46 37.4%	24 19.5%	34 27.6%	34 27.6%	18 14.6%	6 4.9%	0 0.0%

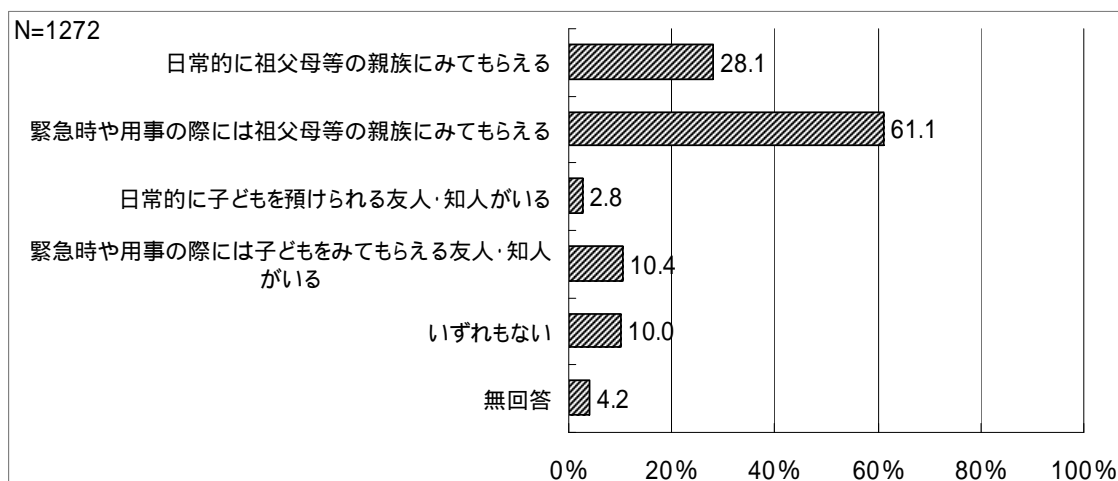
問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、最も影響すると思われる環境すべてにつけてください。

「家庭」との回答が97.5%と最も高く、次いで「保育園」が40.6%、「幼稚園」が36.0%と続いています。



問9 日頃、お子さんをみてもらえる人はいますか。

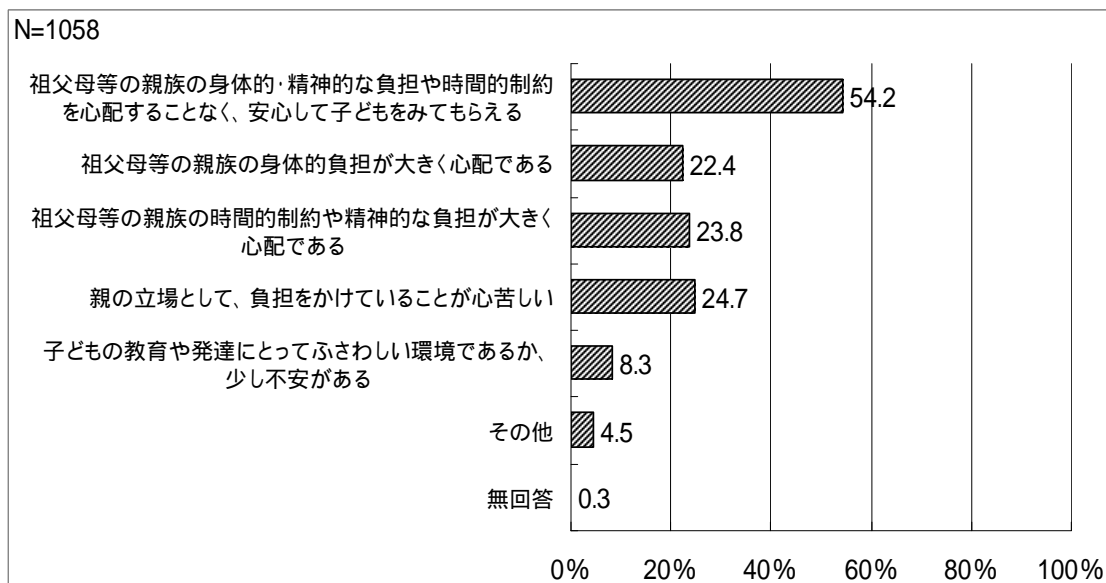
「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」との回答が61.1%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が28.1%、「緊急時や用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が10.4%と続いています。



問9 - 1 祖父母等の親族にみてもらえる状況についてお聞きします。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」との回答が54.2%と最も高く、次いで「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が24.7%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が23.8%と続いています。

師勝西小学校区では、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」との回答が36.6%で、全体の23.8%と比べて10%以上高くなっています。



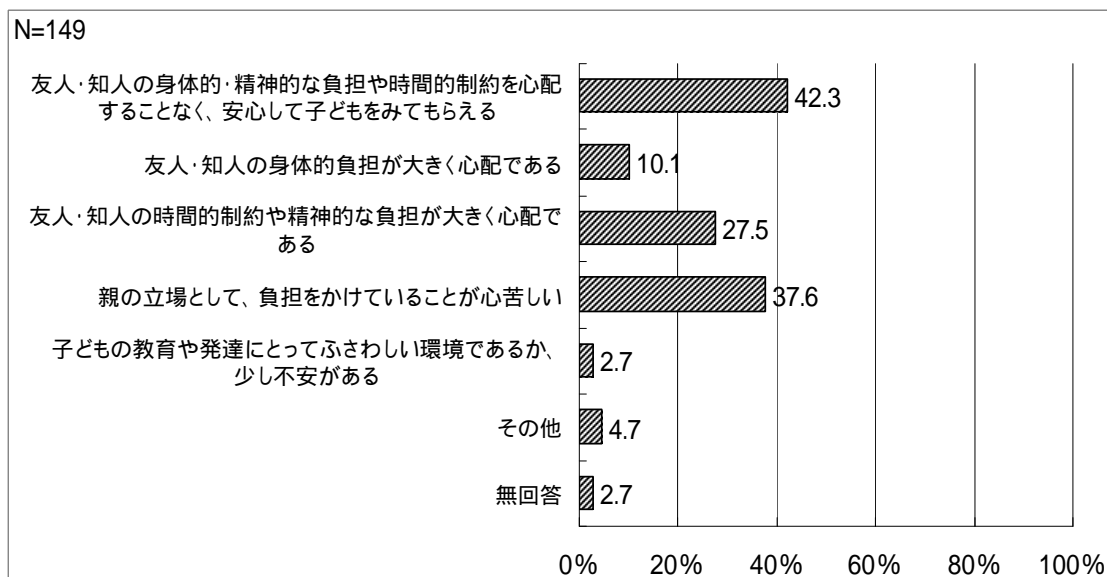
《小学校区別》

		問9 - 1 祖父母等の親族にみてもらえる状況についてお聞きします。							
回答者数		祖父母等の親族の身体的・精神的負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	祖父母等の親族の時間的制約や精神的負担が大きく心配である	親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	その他	無回答	
全体		1058	573 54.2%	237 22.4%	252 23.8%	261 24.7%	88 8.3%	48 4.5%	3 0.3%
問6 お住まいの小学校区は、どちらですか。	師勝小学校区	124	76 61.3%	17 13.7%	24 19.4%	25 20.2%	10 8.1%	7 5.6%	0 0.0%
	西春小学校区	114	51 44.7%	34 29.8%	36 31.6%	29 25.4%	10 8.8%	9 7.9%	1 0.9%
	師勝南小学校区	82	51 62.2%	18 22.0%	14 17.1%	22 26.8%	6 7.3%	1 1.2%	0 0.0%
	五条小学校区	103	61 59.2%	18 17.5%	17 16.5%	26 25.2%	14 13.6%	3 2.9%	0 0.0%
	鴨田小学校区	99	57 57.6%	19 19.2%	22 22.2%	23 23.2%	5 5.1%	7 7.1%	0 0.0%
	師勝北小学校区	109	53 48.6%	31 28.4%	32 29.4%	32 29.4%	8 7.3%	4 3.7%	1 0.9%
	師勝東小学校区	96	56 58.3%	24 25.0%	18 18.8%	19 19.8%	4 4.2%	8 8.3%	0 0.0%
	栗島小学校区	105	58 55.2%	29 27.6%	20 19.0%	25 23.8%	7 6.7%	1 1.0%	0 0.0%
	師勝西小学校区	112	48 42.9%	30 26.8%	41 36.6%	33 29.5%	13 11.6%	3 2.7%	0 0.0%
	白木小学校区	99	52 52.5%	15 15.2%	25 25.3%	25 25.3%	9 9.1%	4 4.0%	1 1.0%

問9 - 2 友人や知人にみてもらえる状況についてお聞きします。

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」との回答が 42.3%と最も高く、次いで「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 37.6%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 27.5%と続いています。

師勝小学校区、鴨田小学校区では「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」との回答が 58.8%、62.5%で、全体の 42.3%と比べて 10%以上高くなっており、師勝西小学校区では同回答が 25.0%で、全体の 42.3%と比べて 10%以上低くなっています。

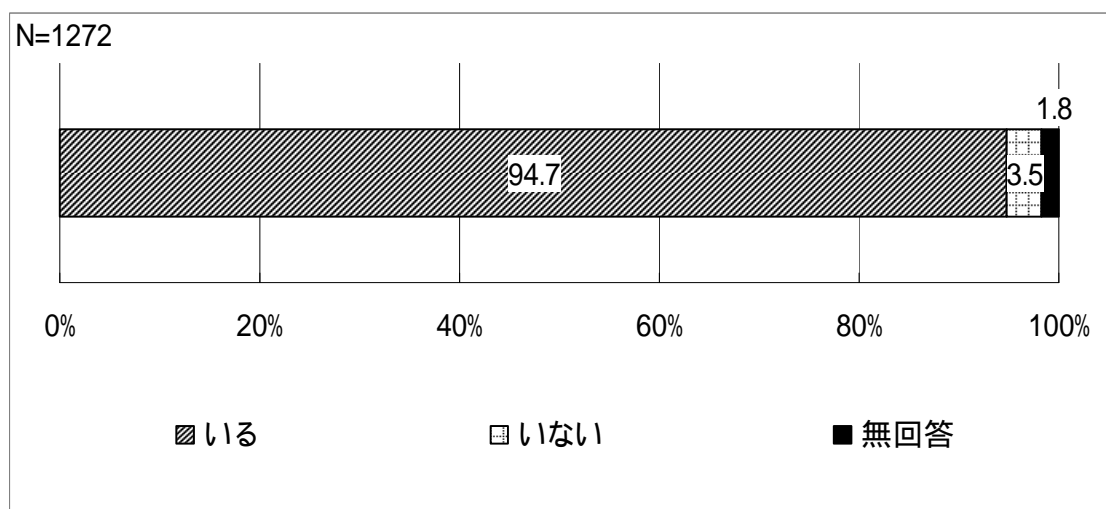


《小学校区別》

	回答者数	問9 - 2 友人や知人にみてもらえる状況についてお聞きます。							
		友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	友人・知人の身体的負担が大きく心配である	友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	その他	無回答	
全体	149	63 42.3%	15 10.1%	41 27.5%	56 37.6%	4 2.7%	7 4.7%	4 2.7%	
問6 お住まいの小学校区は、どちらですか。	師勝小学校区	17 58.8%	10 58.8%	1 5.9%	5 29.4%	3 17.6%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%
	西春小学校区	10 40.0%	4 40.0%	0 0.0%	3 30.0%	4 40.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%
	師勝南小学校区	10 50.0%	5 50.0%	2 20.0%	3 30.0%	5 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	五条小学校区	23 47.8%	11 47.8%	1 4.3%	2 8.7%	10 43.5%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%
	鴨田小学校区	8 62.5%	5 62.5%	2 25.0%	2 25.0%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
	師勝北小学校区	20 35.0%	7 35.0%	4 20.0%	5 25.0%	9 45.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%
	師勝東小学校区	12 50.0%	6 50.0%	0 0.0%	4 33.3%	4 33.3%	0 0.0%	2 16.7%	0 0.0%
	栗島小学校区	15 33.3%	5 33.3%	1 6.7%	4 26.7%	9 60.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%
	師勝西小学校区	20 25.0%	5 25.0%	3 15.0%	6 30.0%	7 35.0%	1 5.0%	1 5.0%	2 10.0%
	白木小学校区	14 35.7%	5 35.7%	1 7.1%	7 50.0%	3 21.4%	1 7.1%	1 7.1%	1 7.1%

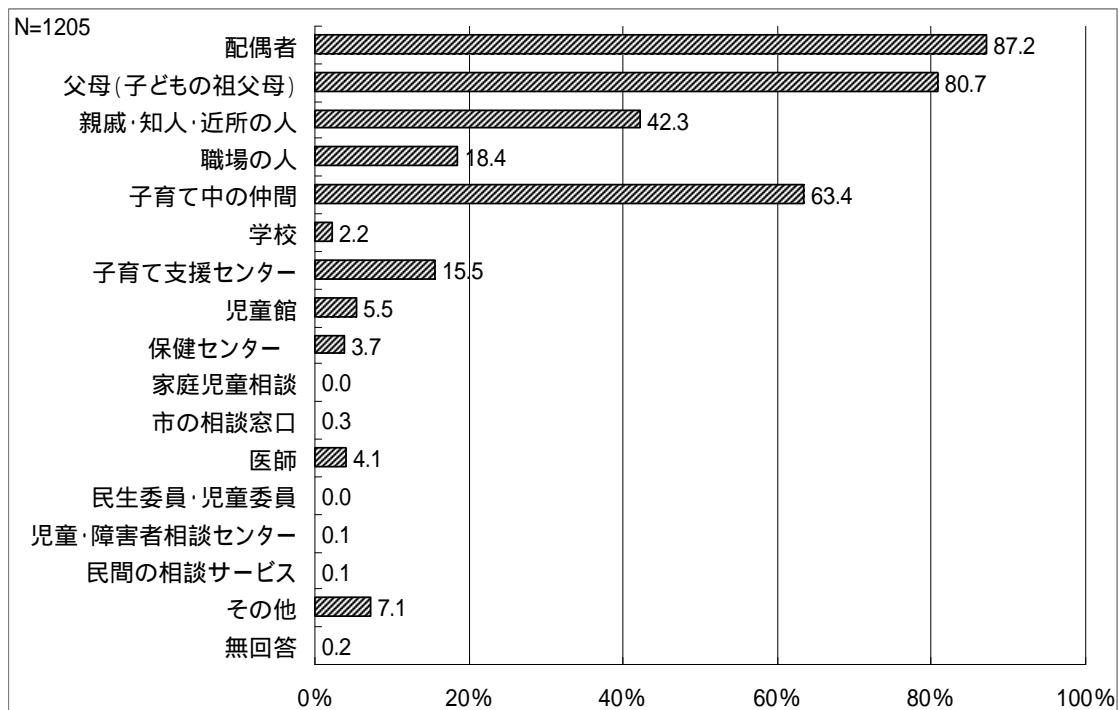
問10 あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか。

「いる」との回答が94.7%、「いない」が3.5%となっています。



問10-1 相談先は、次のどちらですか。

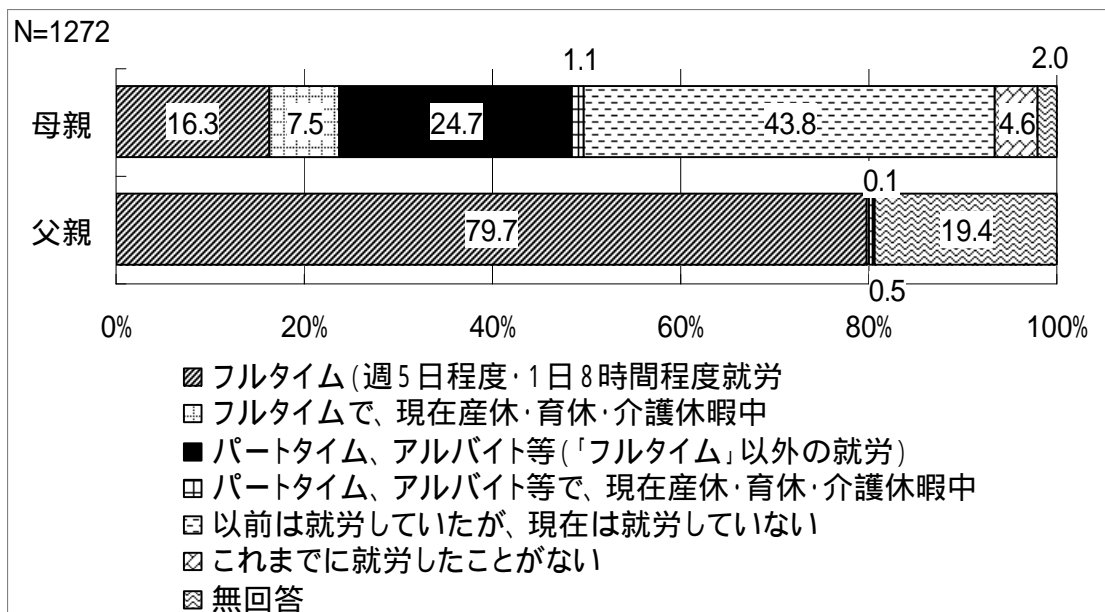
「配偶者」との回答が 87.2%と最も高く、次いで「父母(子どもの祖父母)」が 80.7%、「子育て中の仲間」が 63.4%と続いています。



問 1 1 現在の就労状況を（自営、家族従事含む）お聞きします。

母親では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」との回答が 43.8%と最も高く、次いで「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）」が 24.7%、「フルタイム（週 5 日程度・1 日 8 時間程度就労）」が 16.3%と続いています。

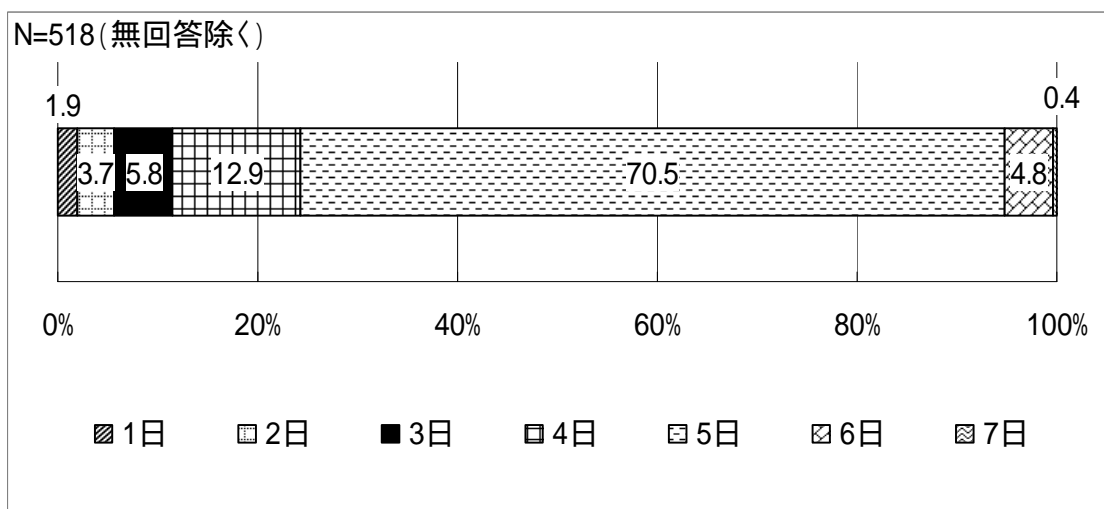
父親では、「フルタイム（週 5 日程度・1 日 8 時間程度就労）」が 79.7%となっています。



問 1 1 現在の就労状況を（自営、家族従事含む）お聞きします。（ 1 ）母親

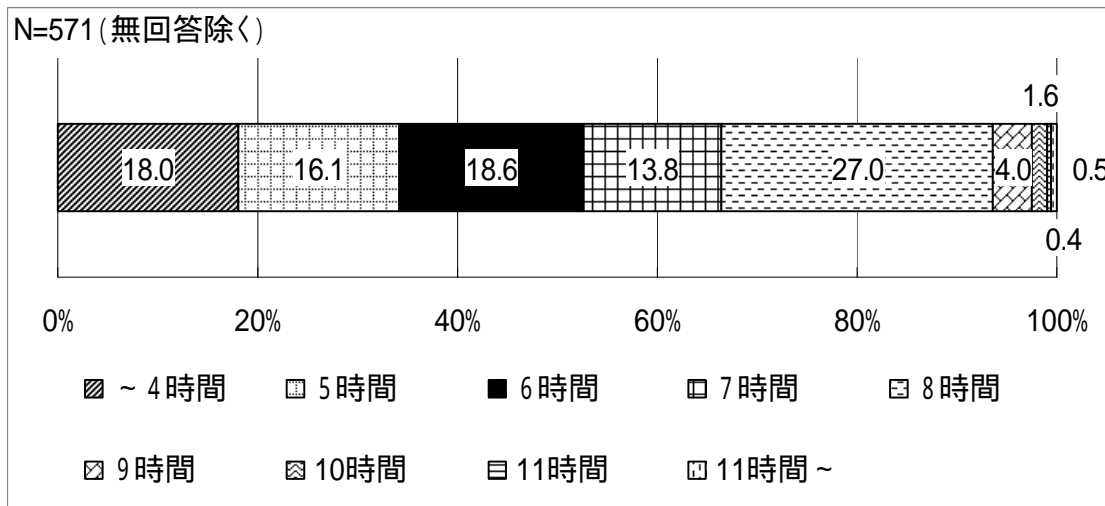
週当たり就労日数

「 5 日」との回答が 70.5%と最も高く、次いで「 4 日」が 12.9%、「 3 日」が 5.8%と続いています。



1日当たり就労時間

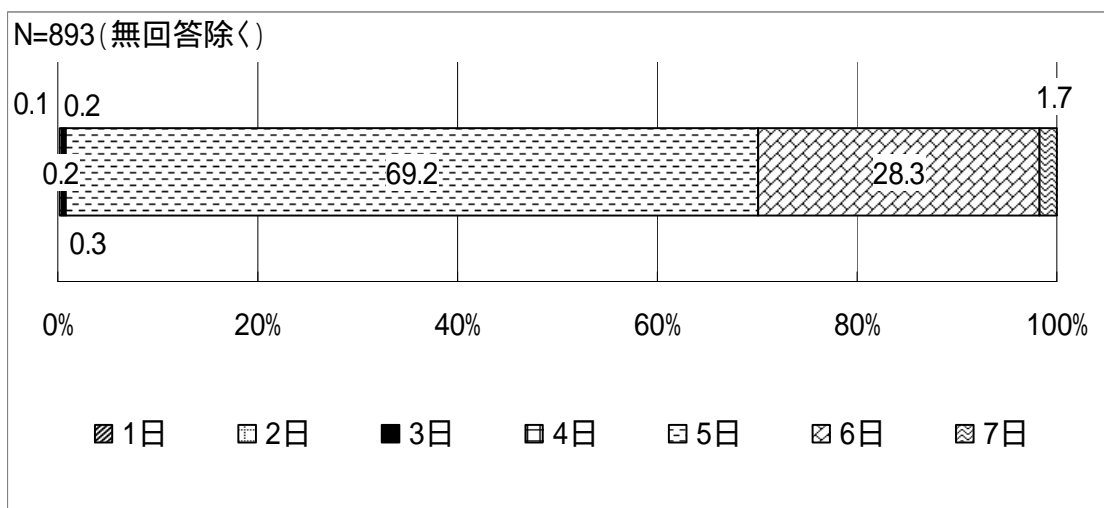
「8時間」との回答が27.0%と最も高く、次いで「6時間」が18.6%、「～4時間」が18.0%と続いています。



問11 現在の就労状況を（自営、家族従事含む）お聞きします。（2）父親

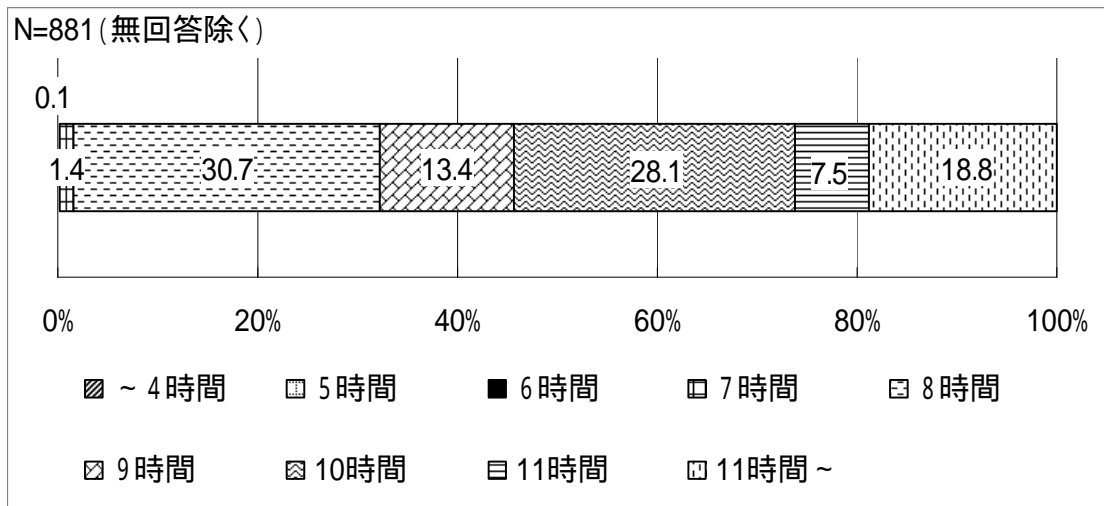
週当たり就労日数

「5日」との回答が69.2%と最も高く、次いで「6日」が28.3%と続いています。



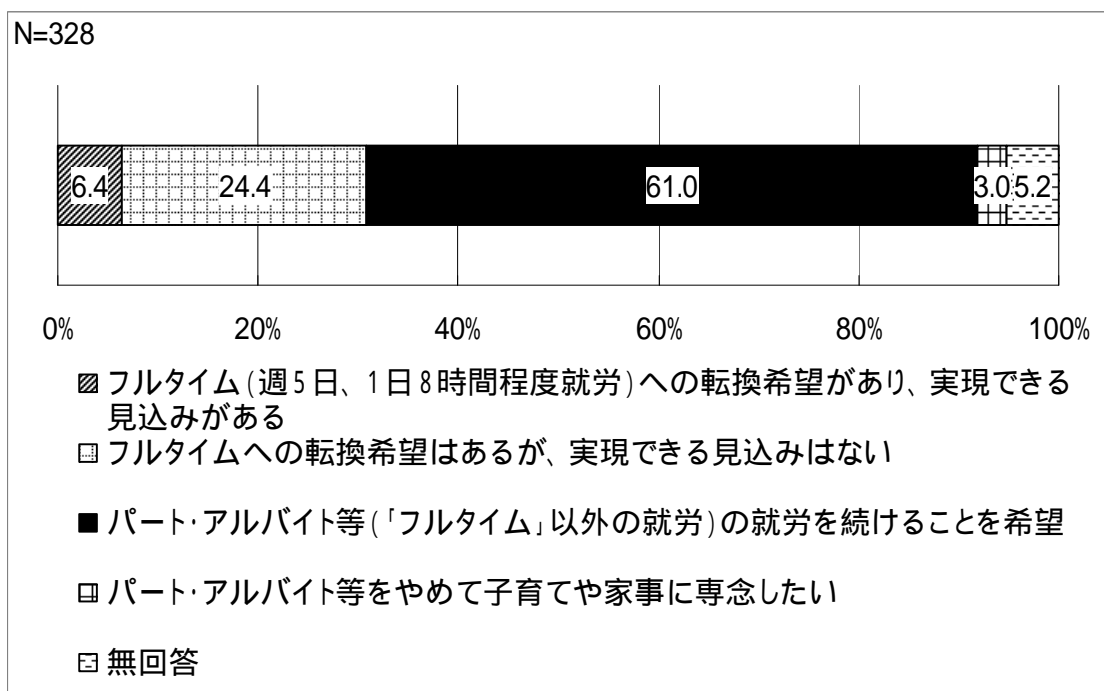
1日当たり就労時間

「8時間」との回答が30.7%と最も高く、次いで「10時間」が28.1%、「11時間～」が18.8%と続いています。



問11-1 フルタイムへの転換希望はありますか。(1) 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)の就労を続けることを希望」との回答が61.0%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が24.4%、「フルタイム(週5日、1日8時間程度就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」が6.4%と続いています。

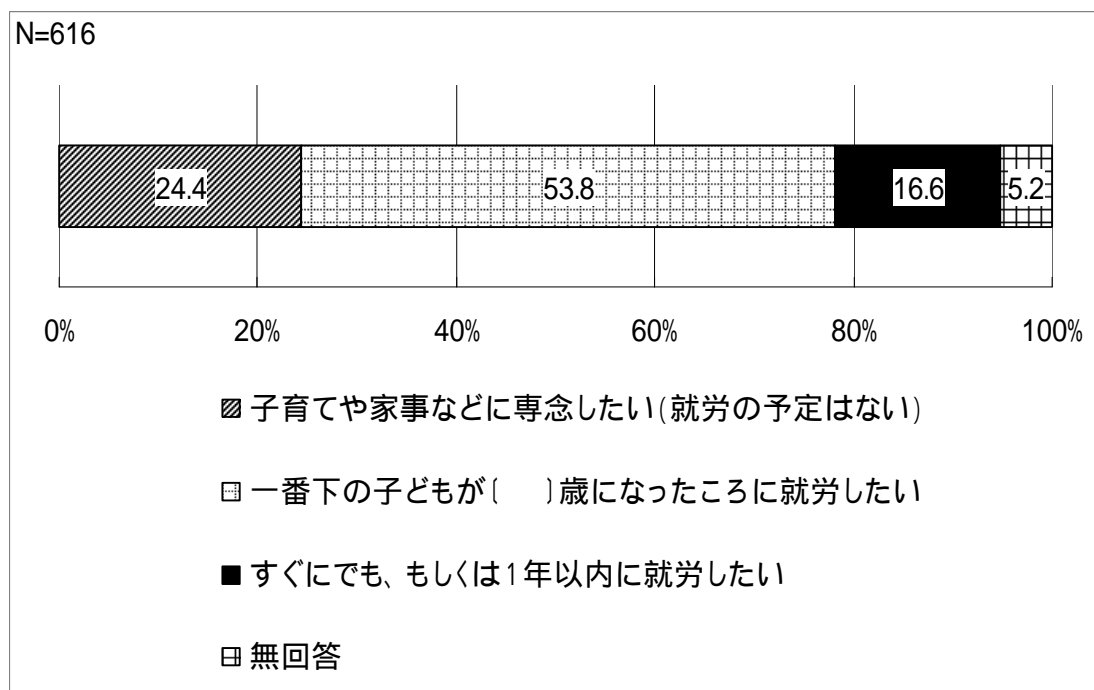


問11-1 フルタイムへの転換希望はありますか。(2) 父親

この質問の対象者は1人で、「無回答」となっています。

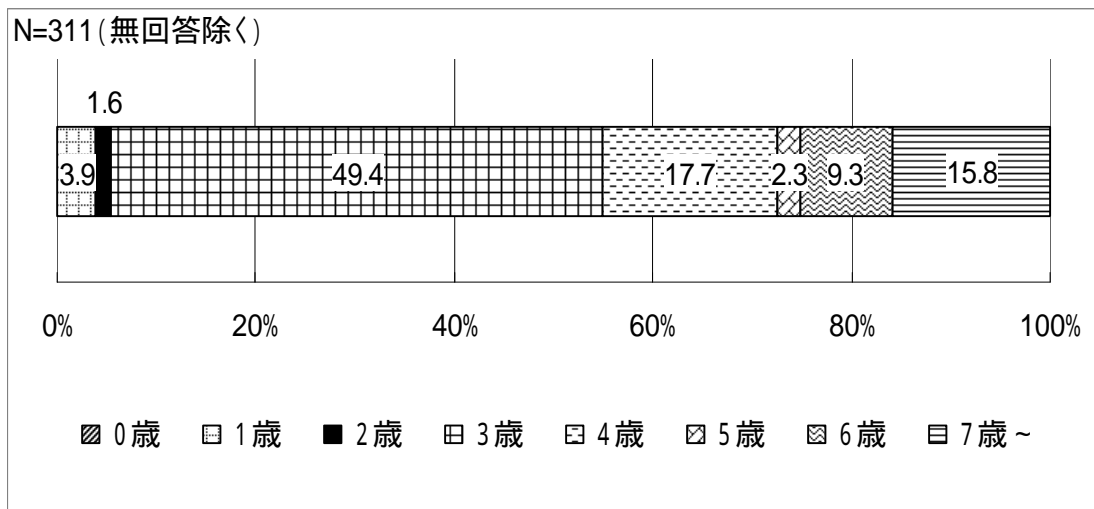
問11-2 就労希望はありますか。(1) 母親

「一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」との回答が 53.8%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が 24.4%、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が 16.6%と続いています。



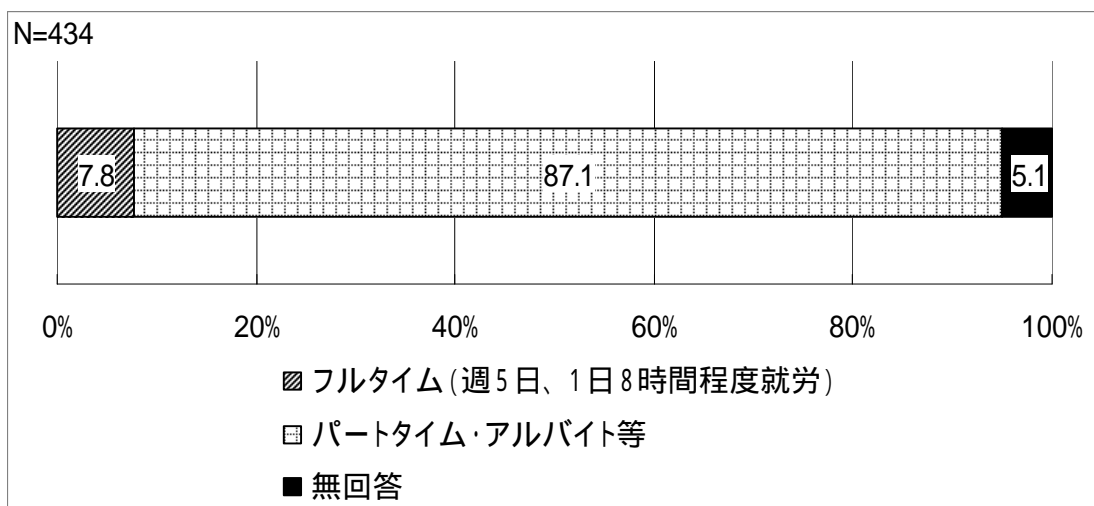
子どもが〔 〕歳になったところに就労したい

「3歳」との回答が49.4%と最も高く、次いで「4歳」が17.7%、「7歳～」が15.8%と続いています。



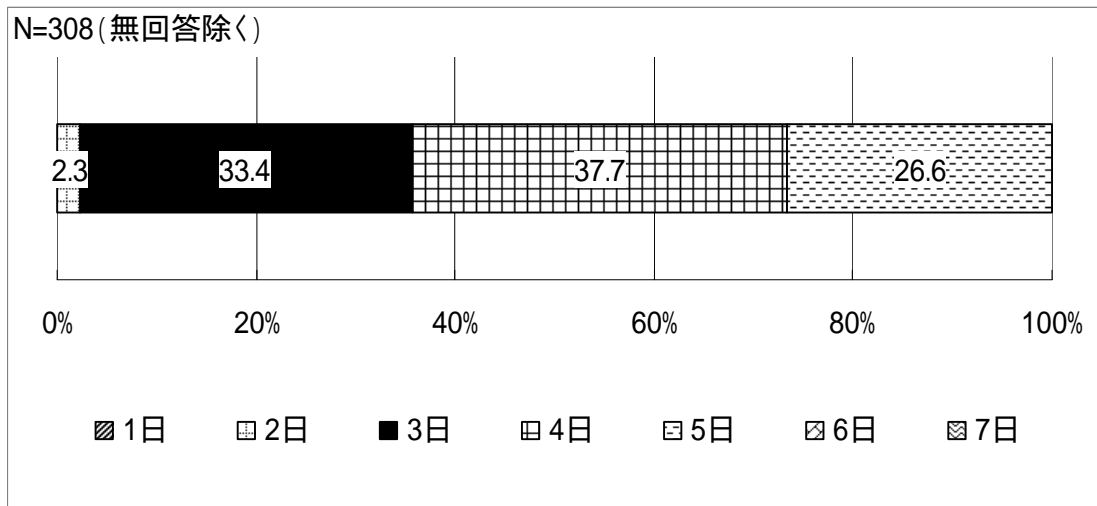
希望する就労形態

「パートタイム・アルバイト等」との回答が87.1%と最も高く、次いで「フルタイム(週5日、1日8時間程度就労)」が7.8%と続いています。



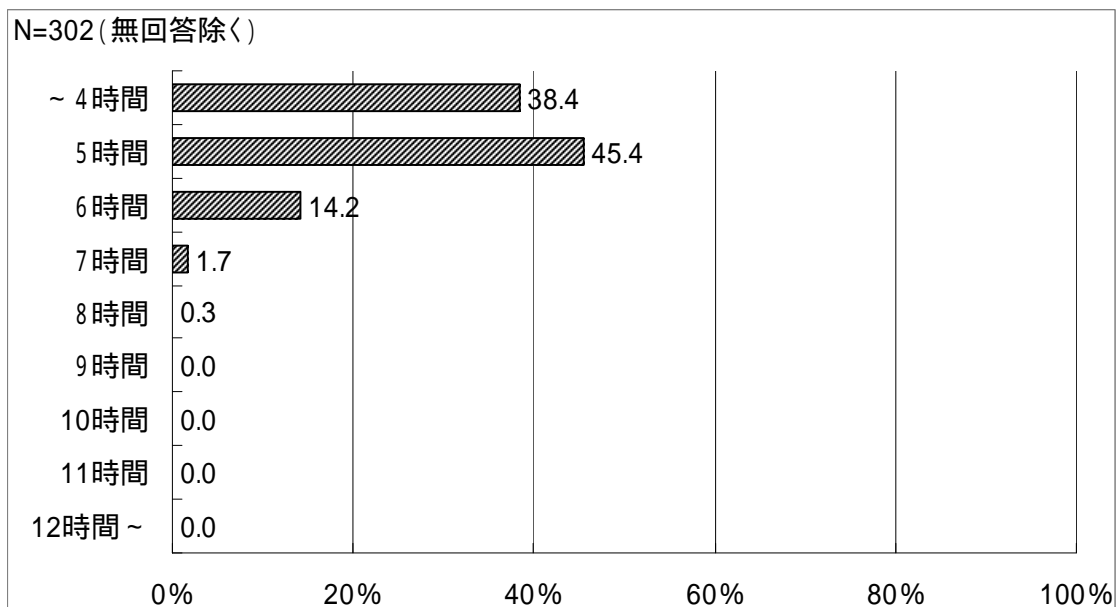
週当たり就労希望日数

「4日」との回答が37.7%と最も高く、次いで「3日」が33.4%、「5日」が26.6%と続いています。



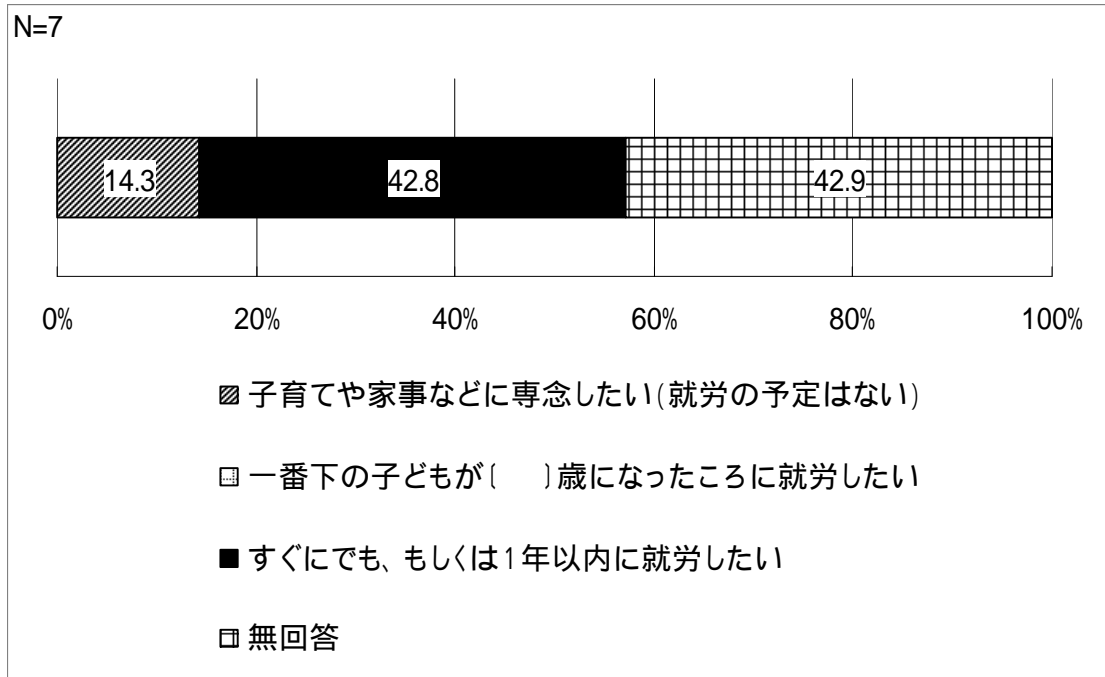
1日当たり就労希望時間

「5時間」との回答が45.4%と最も高く、次いで「～4時間」が38.4%、「6時間」が14.2%と続いています。



問 1 1 - 2 就労希望はありますか。(2) 父親

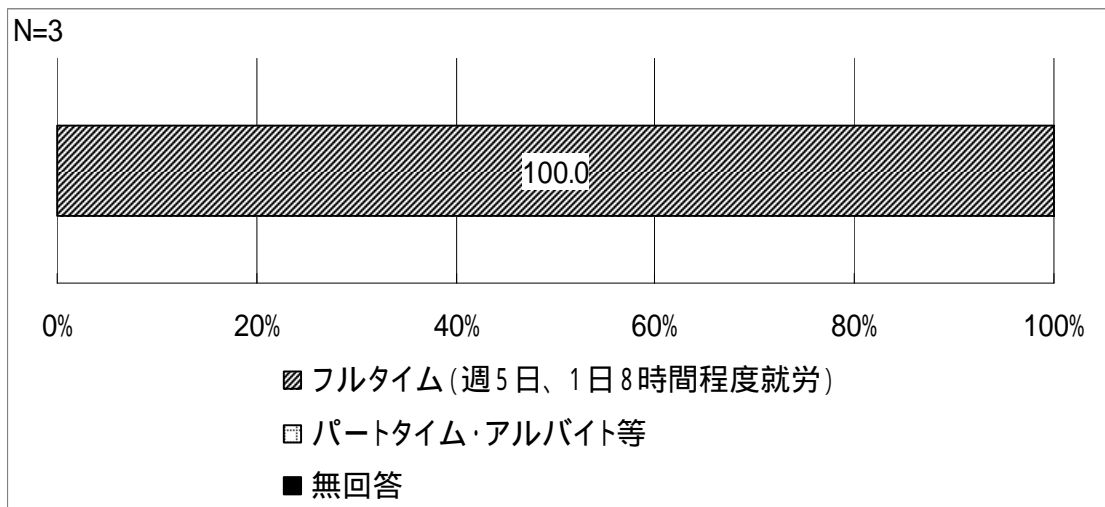
「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」との回答が 42.8%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が 14.3%と続いています。



子どもが()歳になったところに就労したい
該当者なし

希望する就労形態

「フルタイム(週5日、1日8時間程度就労)」との回答が 100.0%となっています。



週当たり就労希望日数

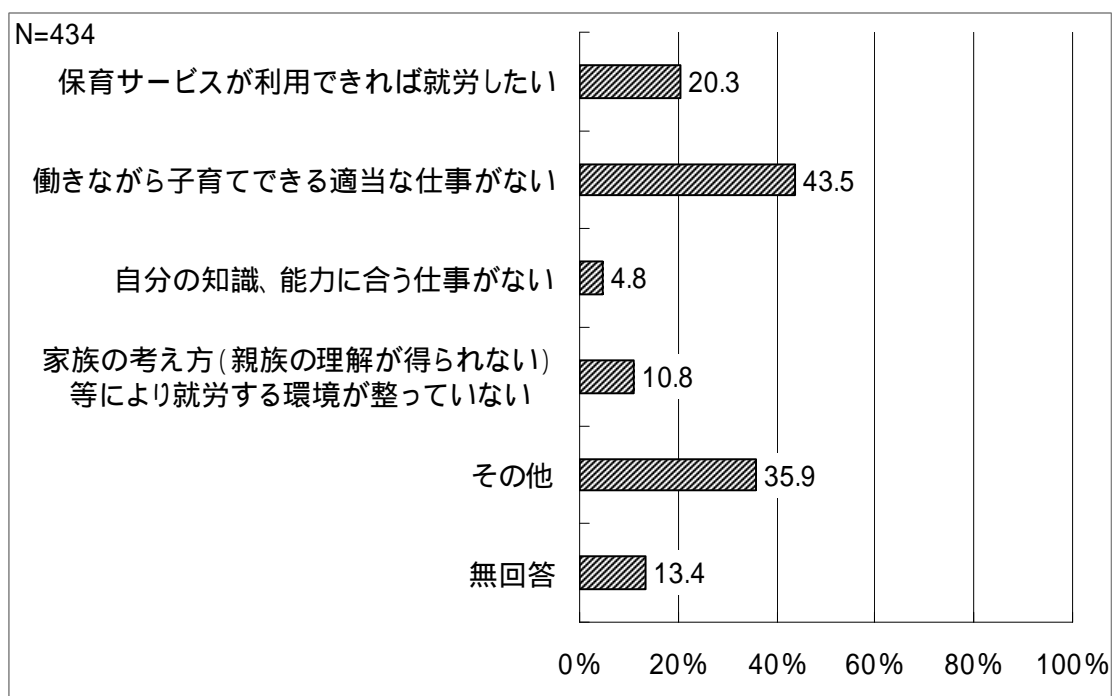
該当者なし

1日当たり就労希望時間

該当者なし

問 1 1 - 3 現在働いていない理由は何ですか。

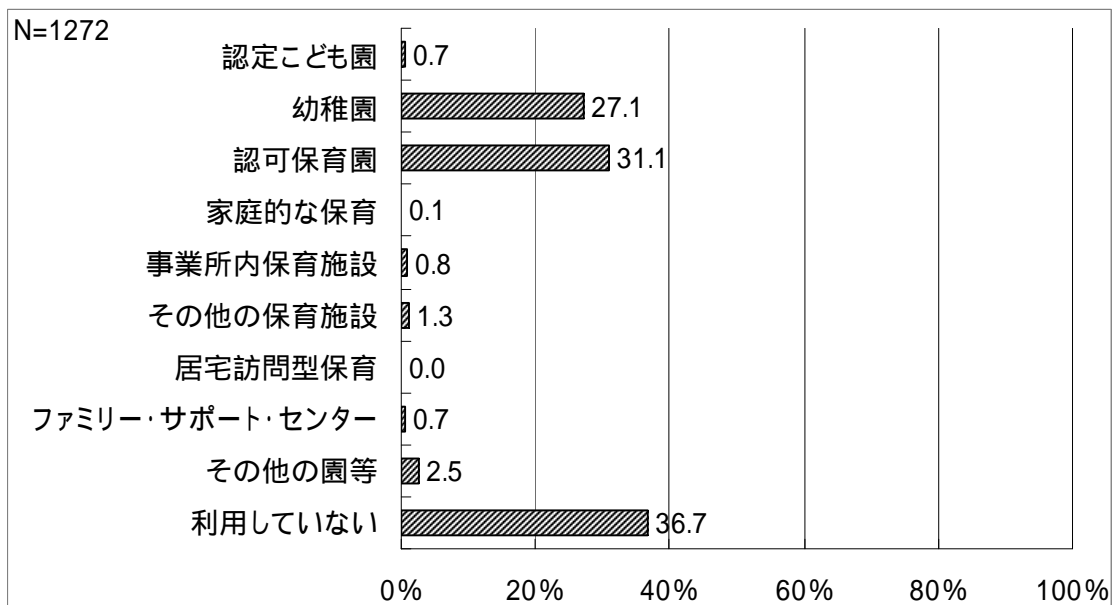
「働きながら子育てできる適当な仕事がない」との回答が 43.5%と最も高く、次いで「その他」が 35.9%、「保育サービスが利用できれば就労したい」が 20.3%と続いています。



問 1 2 宛名のお子さんは、現在、平日に次の園等を定期利用していますか。

「利用していない」との回答が 36.7%と最も高く、次いで「認可保育園()」が 31.1%、「幼稚園」が 27.1%と続いています。

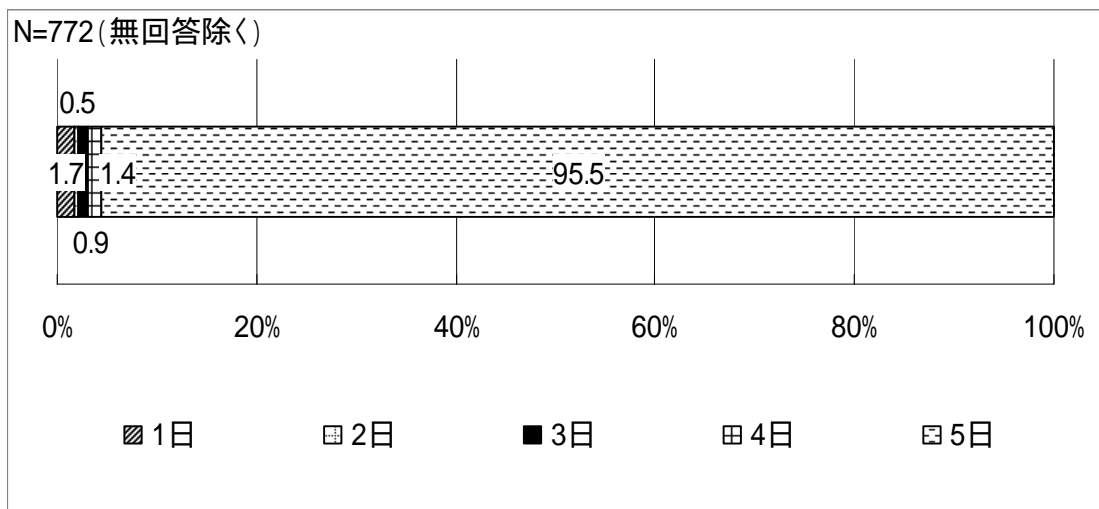
栗島小学校区では「幼稚園」との回答が 37.2%で、全体の 27.1%と比べて 10%以上高くなっています。



問 1 2 - 1 園等の利用について (1) 現在の利用状況

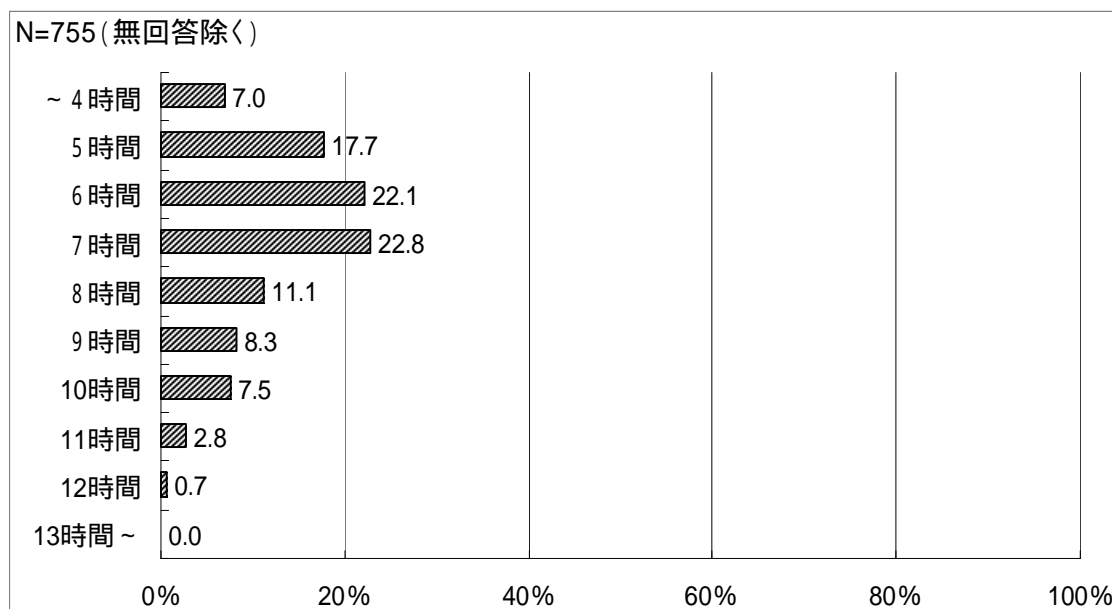
週当たり日数

「5日」との回答が 95.5%となっています。



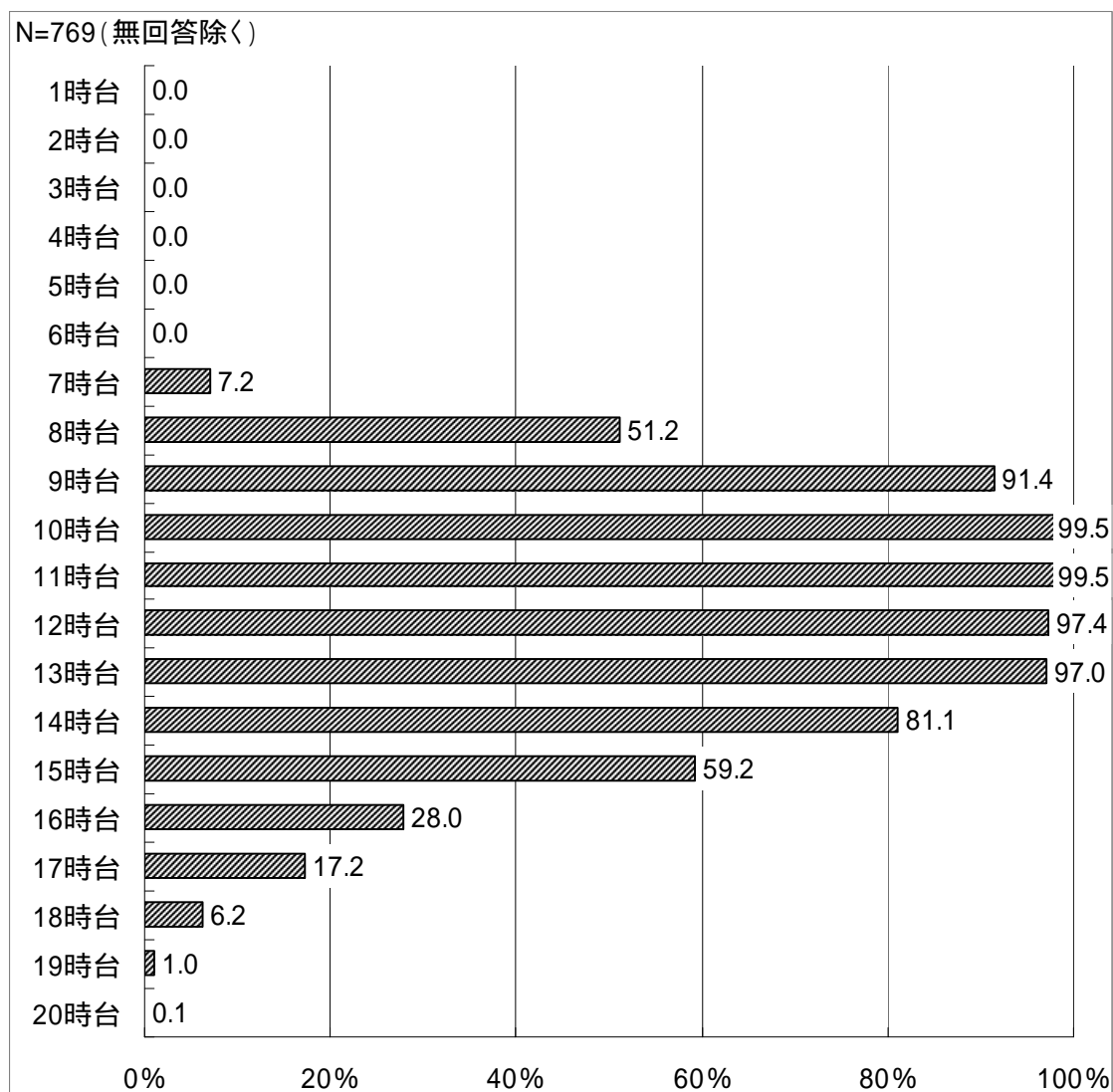
一日当たり時間

「7時間」との回答が22.8%と最も高く、次いで「6時間」が22.1%、「5時間」が17.7%と続いています。



利用時間帯

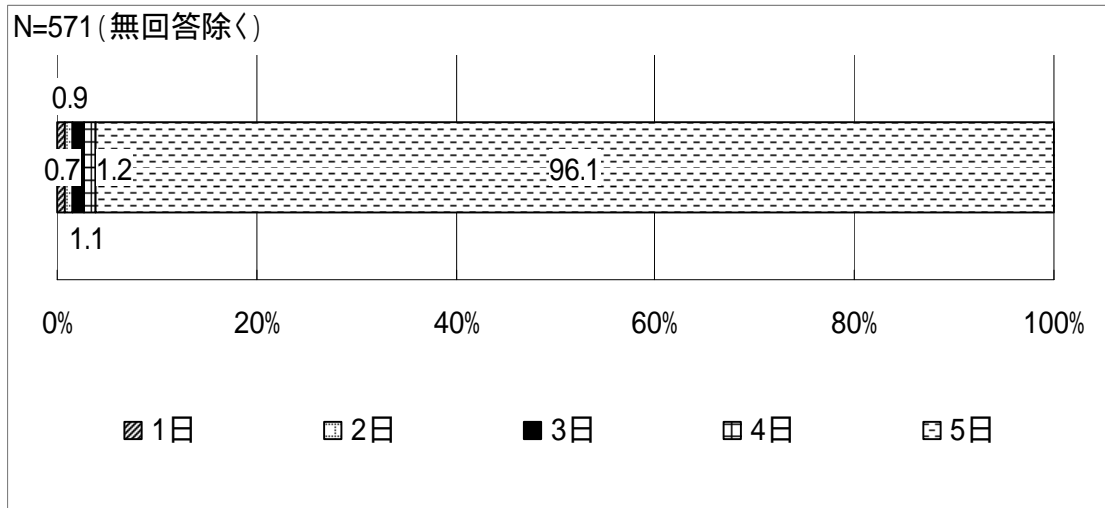
「9時台」から「13時台」をピークに、「15時台」は約60%、「16時台」には30%以下となっています。



問 1 2 - 1 園等の利用について (2) 今後の利用希望

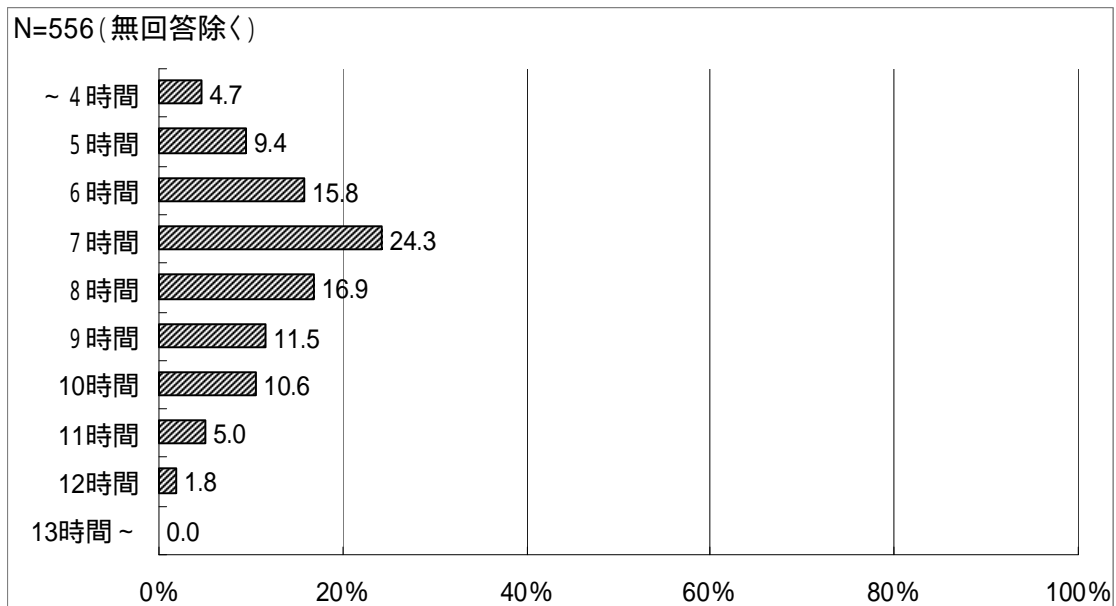
週当たり日数

「 5 日」との回答が 96.1%となっています。



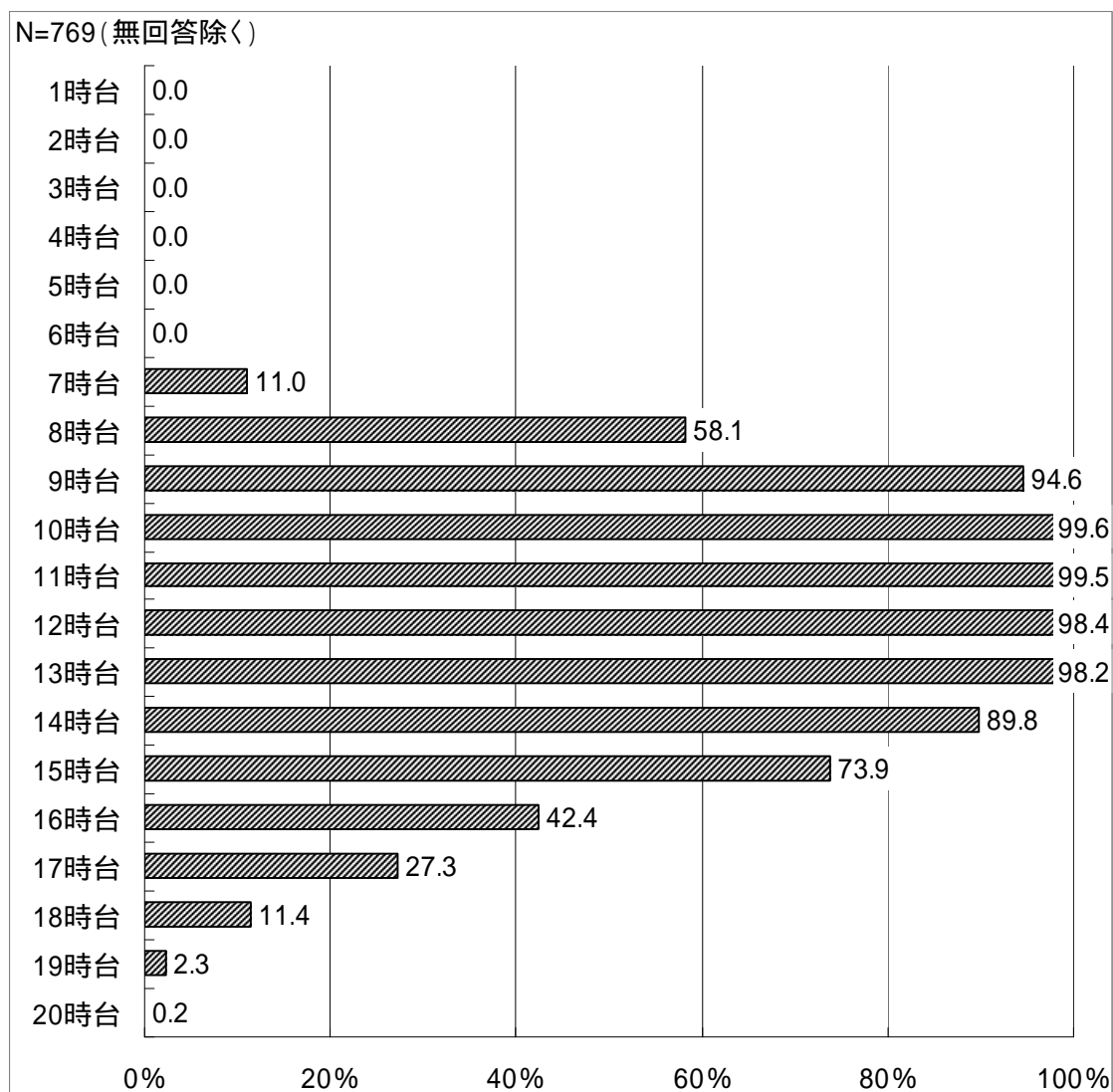
一日当たり時間

「 7 時間」との回答が 24.3%と最も高く、次いで「 8 時間」が 16.9%、「 6 時間」が 15.8%と続いています。



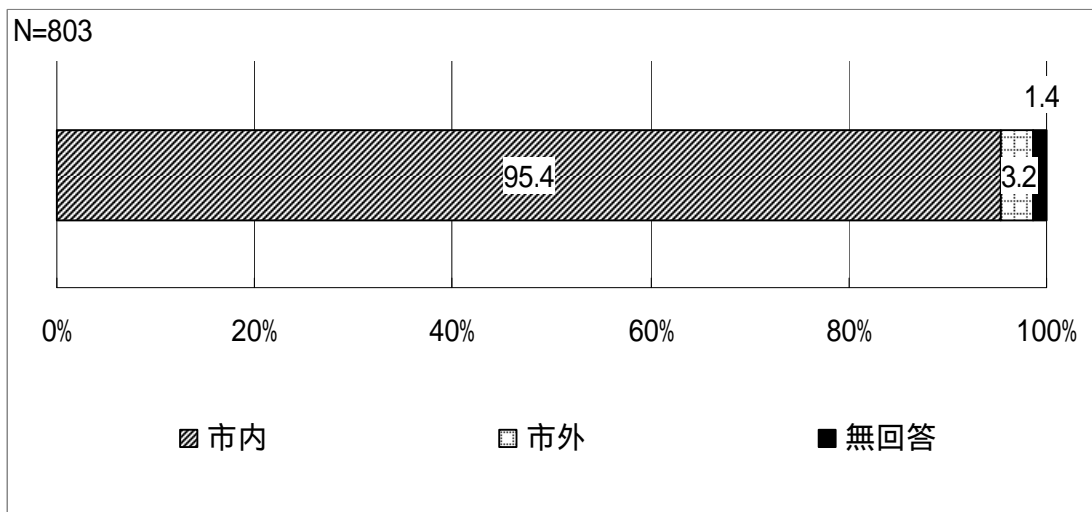
利用時間帯

「9時台」から「13時台」をピークに、「15時台」は約70%、「16時台」には50%以下となっています。



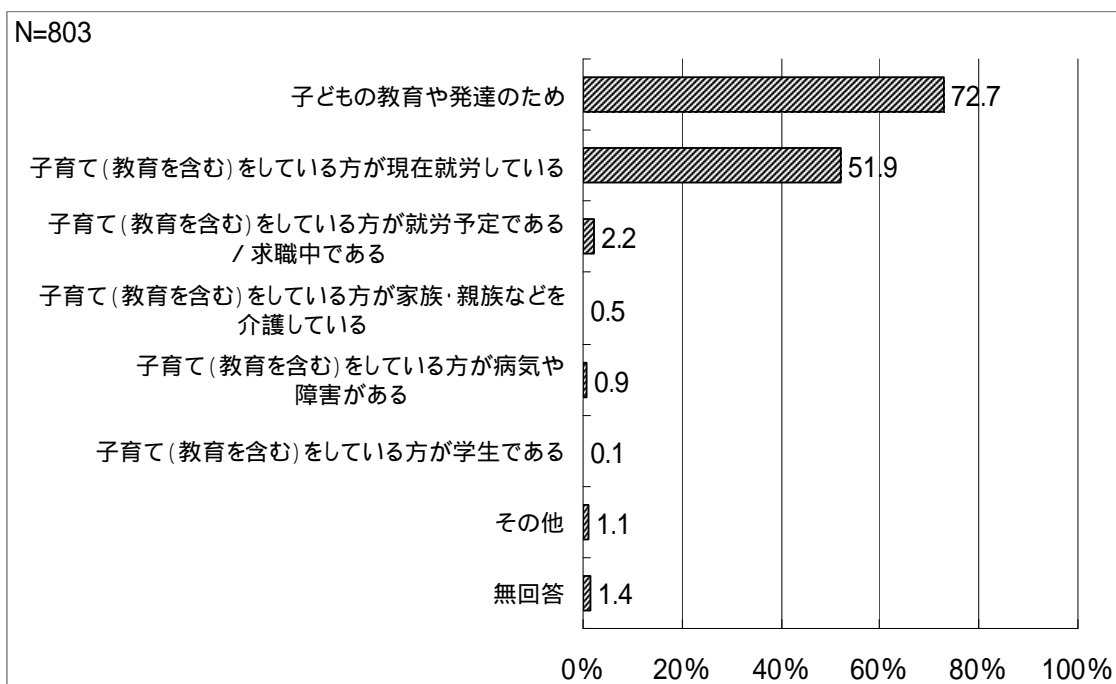
問 1 2 - 2 現在利用されている園等の場所はどちらですか。

「市内」との回答が 95.4%、次いで「市外」が 3.2%となっています。



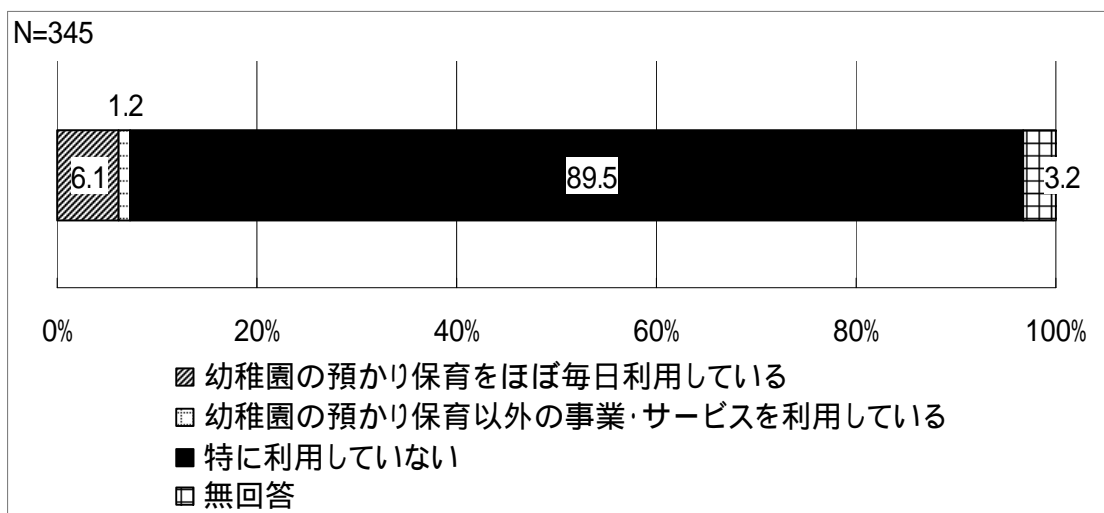
問 1 2 - 3 現在、園等を利用されている理由は何ですか。

「子どもの教育や発達のため」との回答が 72.7%と最も高く、次いで「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が 51.9%、「子育て（教育を含む）をしている方が就労予定である / 求職中である」が 2.2%と続いています。



問 1 2 - 4 現在、預かり保育を利用していますか。

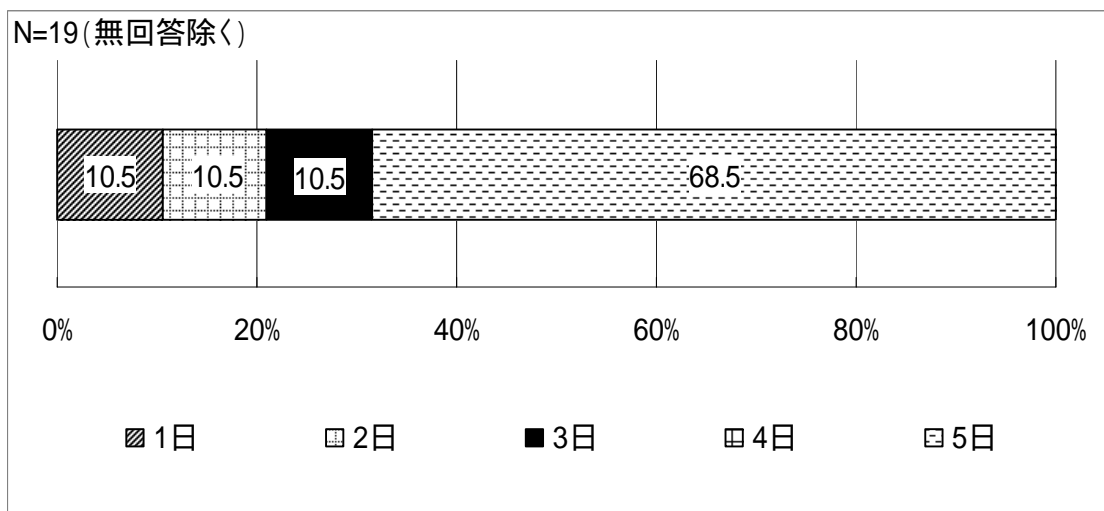
「特に利用していない」との回答が 89.5%と最も高く、「幼稚園の預かり保育をほぼ毎日利用している」が 6.1%、「幼稚園の預かり保育以外の事業・サービスを利用している」が 1.2%と続いています。



問 1 2 - 5 最も多い利用パターンをお書きください。

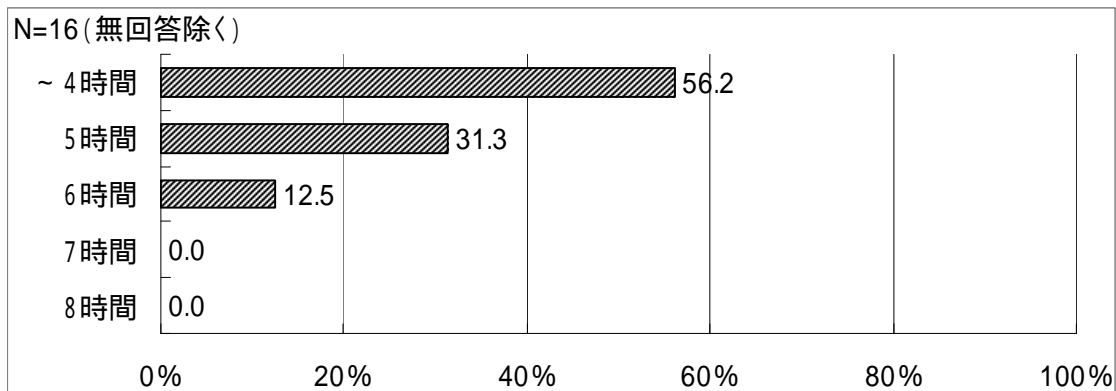
週あたり日数

「5日」との回答が 68.5%となっています。



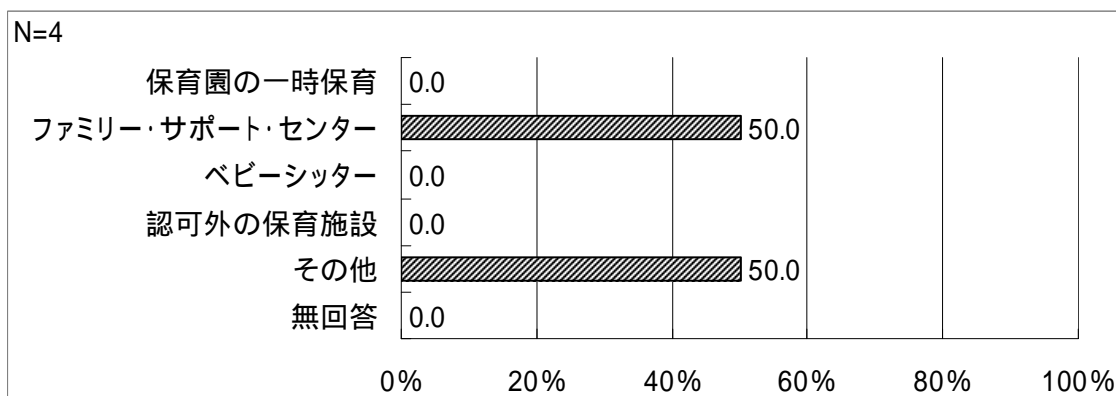
一日当たり時間

「～4時間」との回答が56.2%となっています。



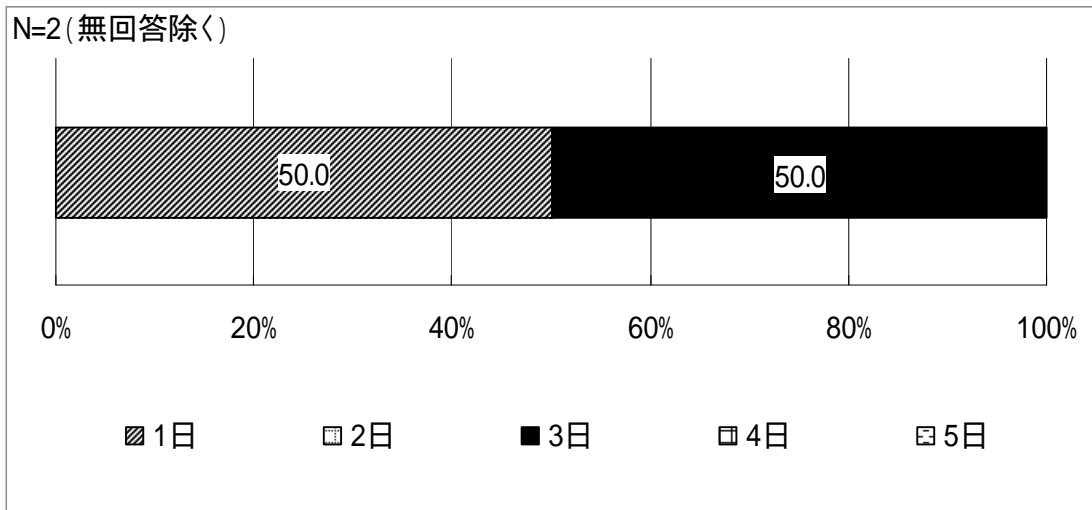
問12-6 利用している保育事業・サービスは何ですか。

「ファミリー・サポート・センター」と「その他」が50.0%となっています。



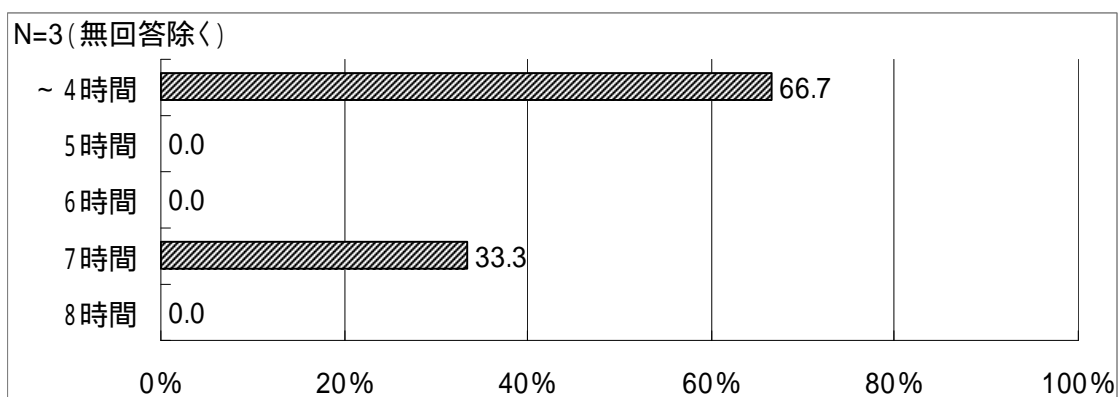
週当たり日数

「1日」と「3日」が50.0%となっています。



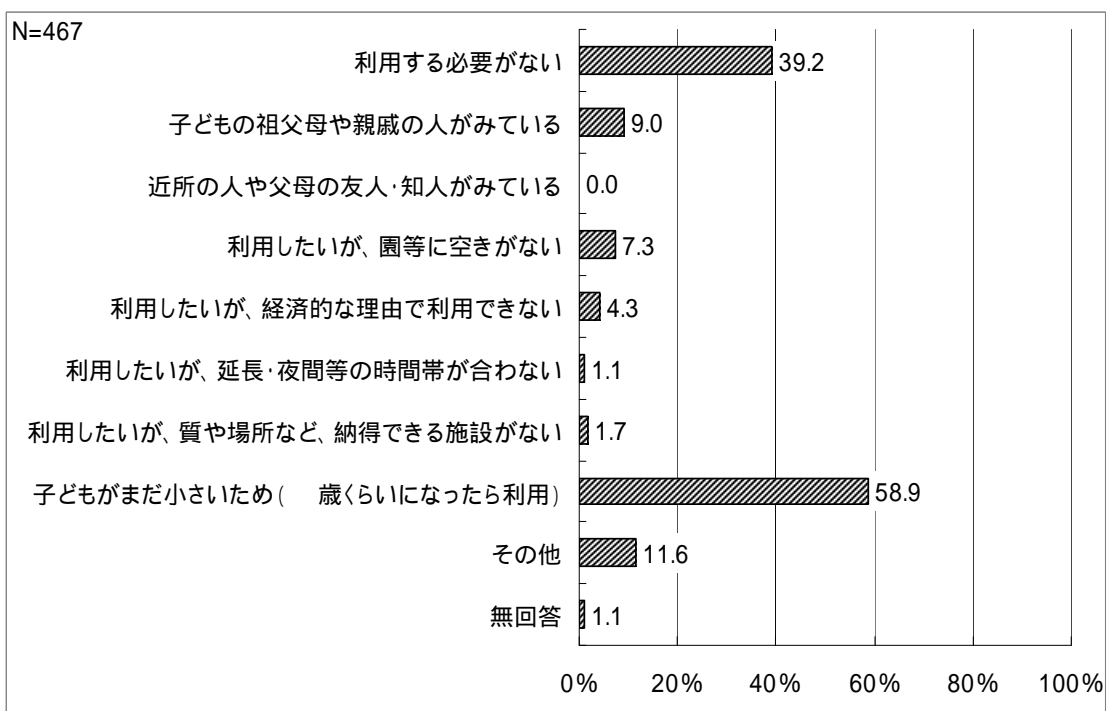
一日当たり時間

「4時間」が66.7%となっています。



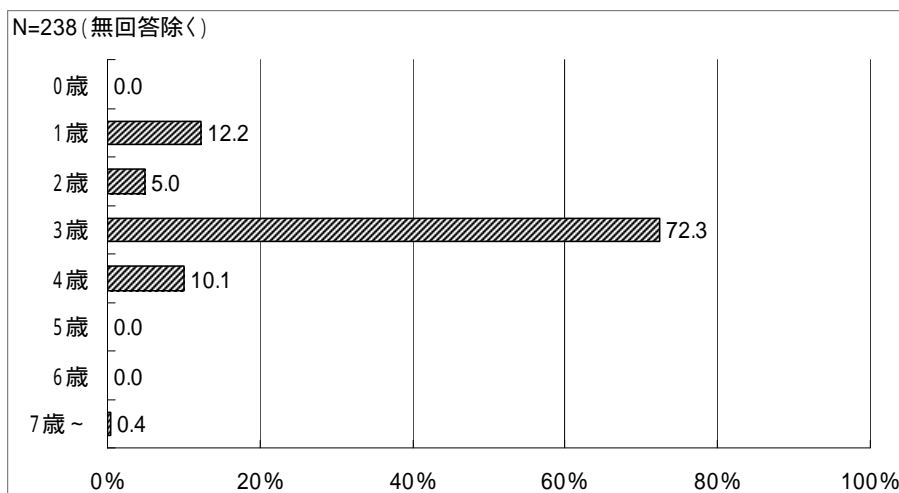
問 1 2 - 7 現在、園等を利用していない理由は何ですか。

「子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）」との回答が58.9%と最も高く、次いで「利用する必要がない」が39.2%、「その他」が11.6%と続いています。



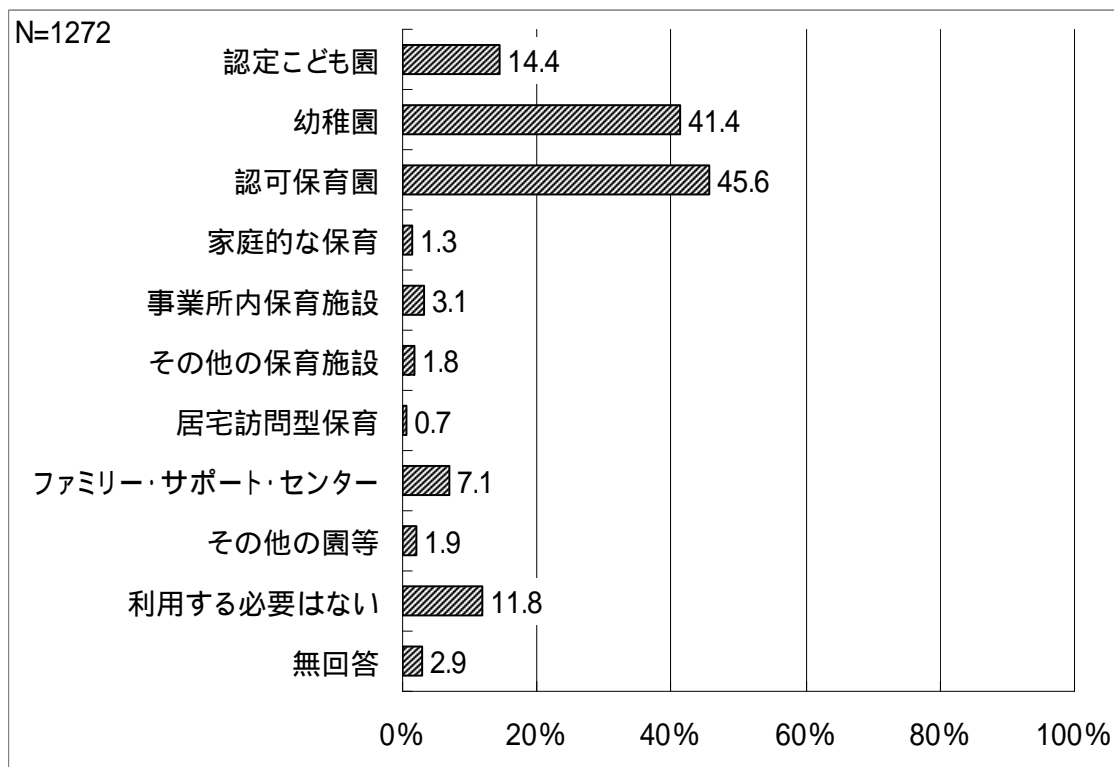
(歳くらいになったら利用しようと考えている)

「3歳」との回答が72.3%と最も高く、次いで「1歳」が12.2%、「4歳」が10.1%と続いています。



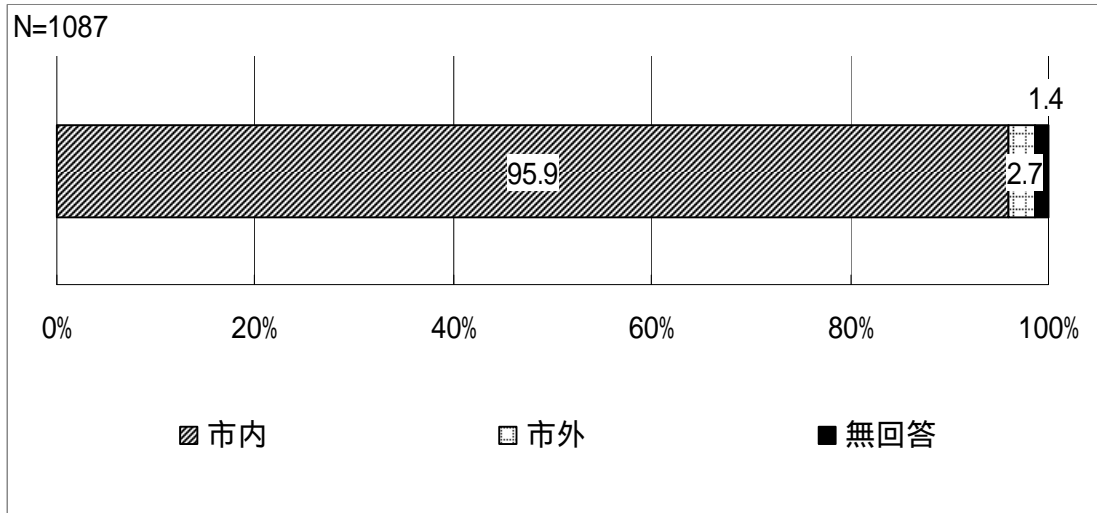
問13 宛名のお子さんが平日に定期利用するものとして、今後も利用を続けたい、もしくは、新たに利用したいものはどれですか。

「認可保育園」との回答が45.6%と最も高く、次いで「幼稚園」が41.4%、「認定こども園」が14.4%と続いています。



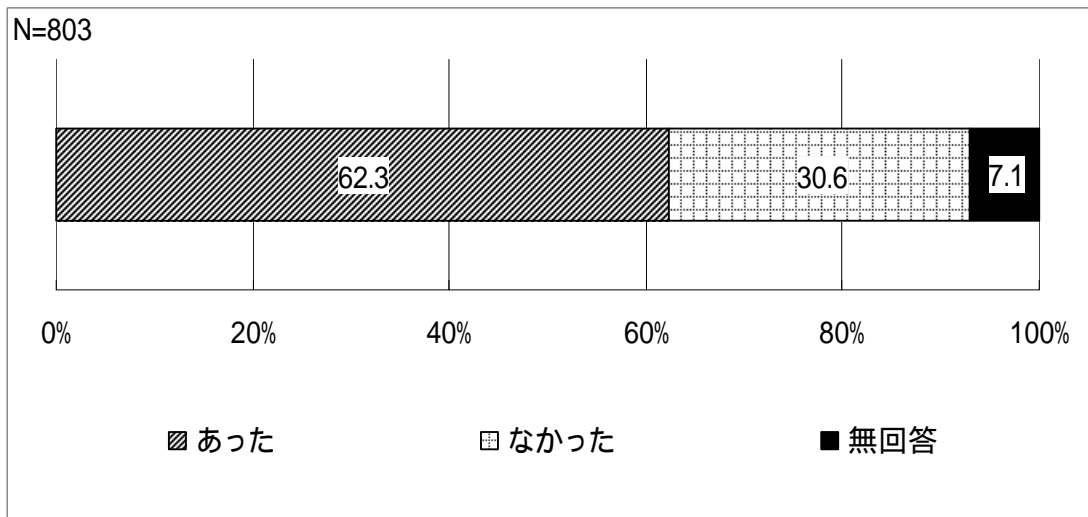
問 1 3 - 1 利用したい園等の場所はどこですか。

「市内」との回答が 95.9%、「市外」が 2.7%となっています。



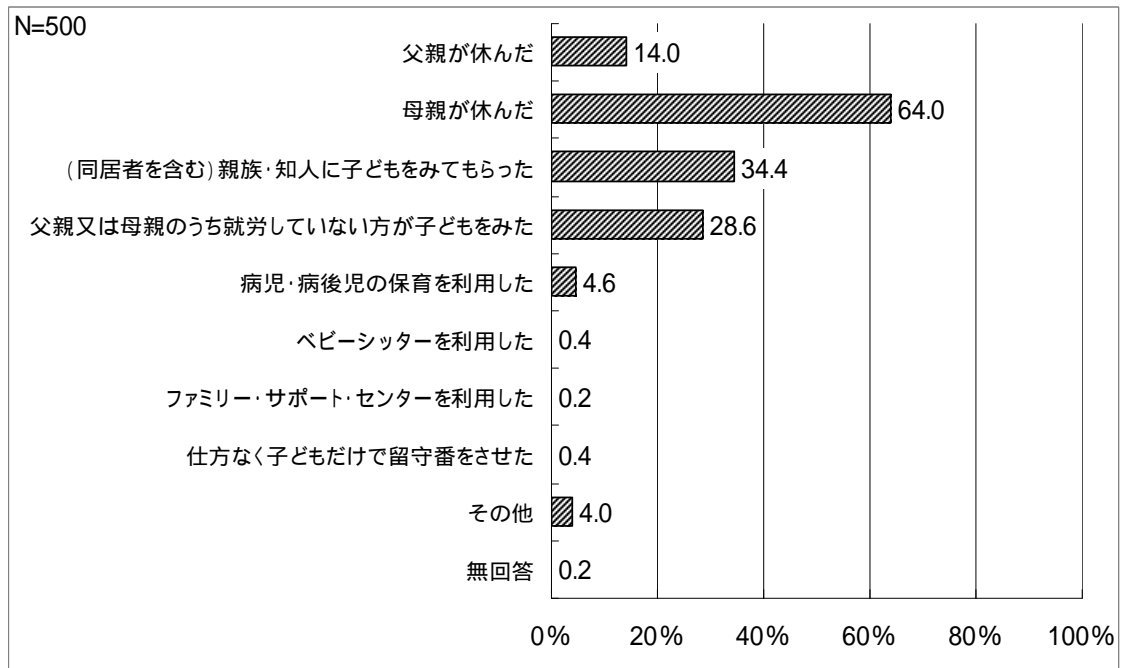
問 1 4 この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで利用されている園等を利用できなかったことはありますか。

「あった」との回答が 62.3%となっています。



問14-1 どのように対処しましたか。

「母親が休んだ」との回答が64.0%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が34.4%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が28.6%と続いています。

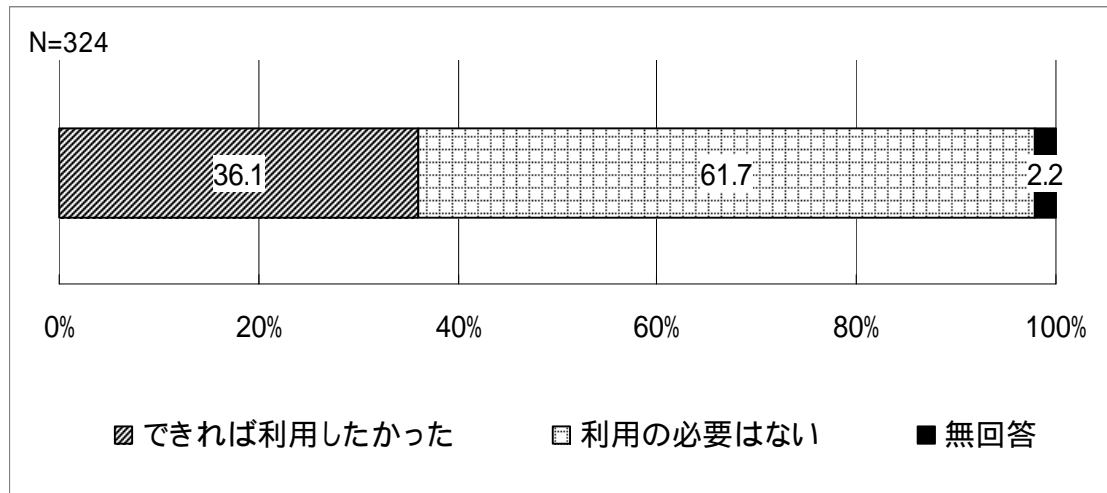


年当たり対処日数 平均

父親が休んだ	3日
母親が休んだ	8日
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	7日
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	8日
病児・病後児の保育を利用した	5日
ベビーシッターを利用した	6日
ファミリー・サポート・センターを利用した	0日
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	4日
その他	5日

問 1 4 - 2 病児・病後児保育を利用したいと思いましたが。

「できれば利用したかった」との回答が 36.1%となっています。

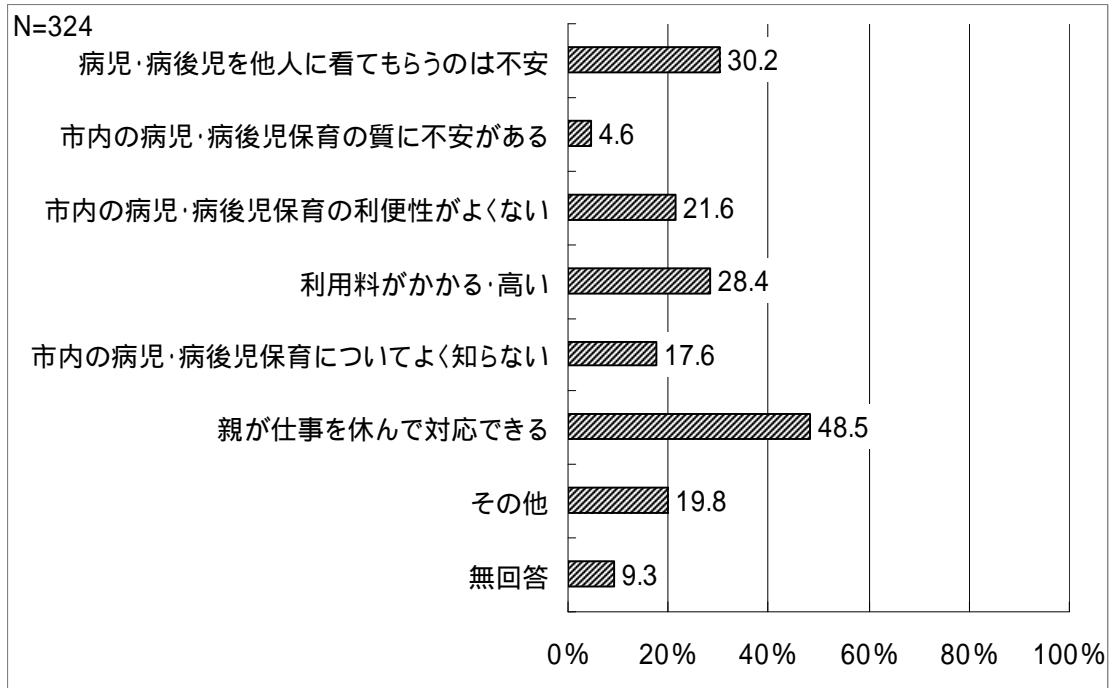


できれば利用したかった 年当たり日数

平均	7日
----	----

問14-3 病児・病後児保育を利用したくても利用できなかった、あるいは利用の必要がないという理由は何ですか。

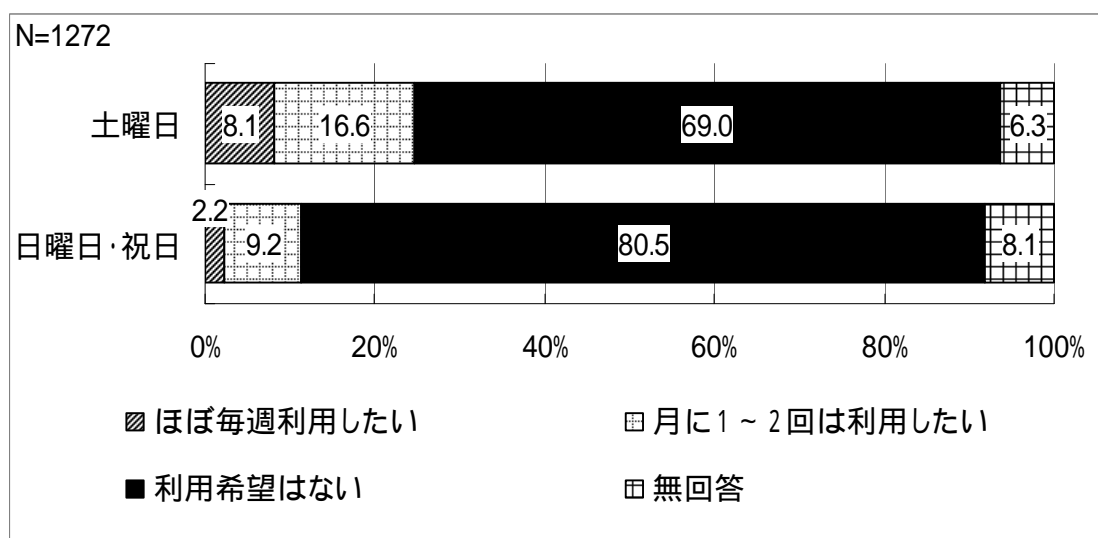
「親が仕事を休んで対応できる」との回答が48.5%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が30.2%、「利用料がかかる・高い」が28.4%と続いています。



問15 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、保育園や幼稚園等の利用希望（一時的な利用は除く。）がありますか。

土曜日については、「利用希望はない」との回答が69.0%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が16.6%、「ほぼ毎週利用したい」が8.1%と続いています。

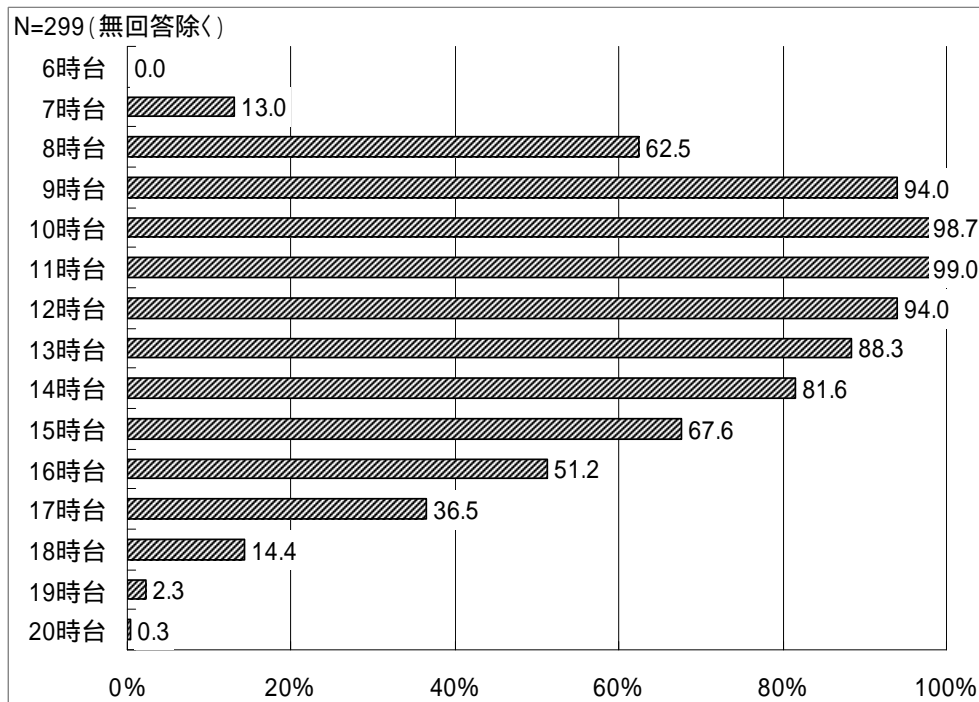
日曜日・祝日については、「利用希望はない」との回答が80.5%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が9.2%、「ほぼ毎週利用したい」が2.2%と続いています。



問15 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、保育園や幼稚園等の利用希望（一時的な利用は除く。）がありますか。

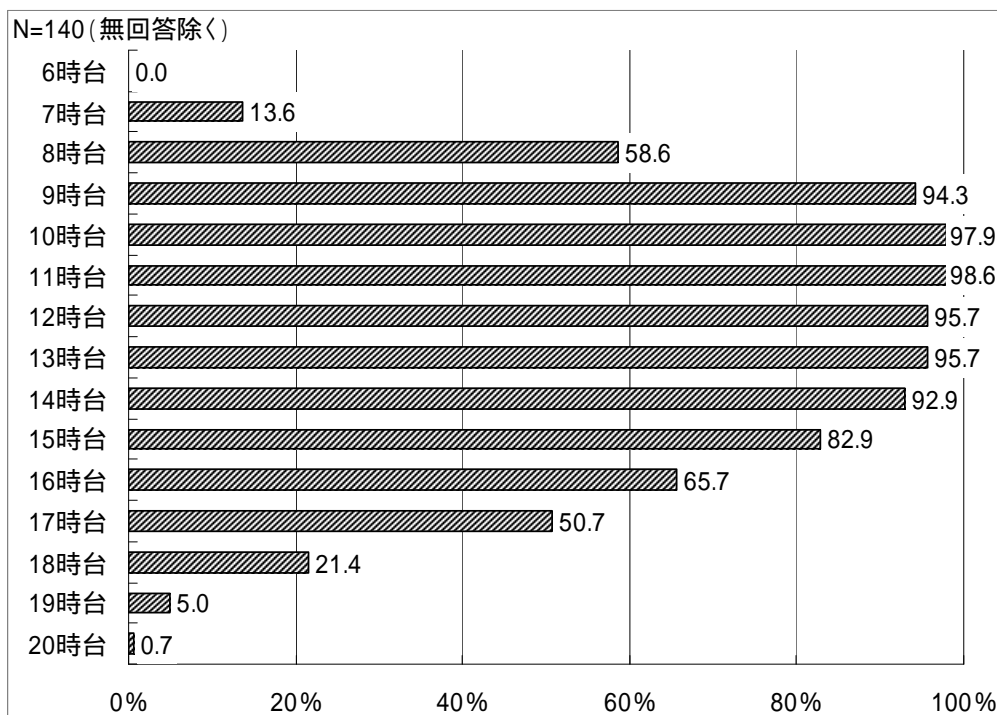
(1) 土曜日 利用したい時間帯

「9時台」から「14時台」が80%以上で、「17時台」まで30%以上となっています。



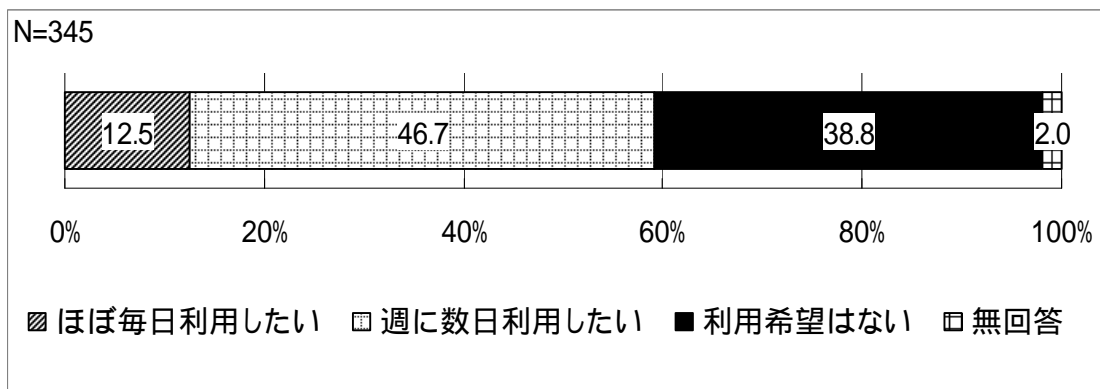
(2) 日曜日・祝日 利用したい時間帯

「9時台」から「15時台」が80%以上で、「17時台」まで50%以上となっています。



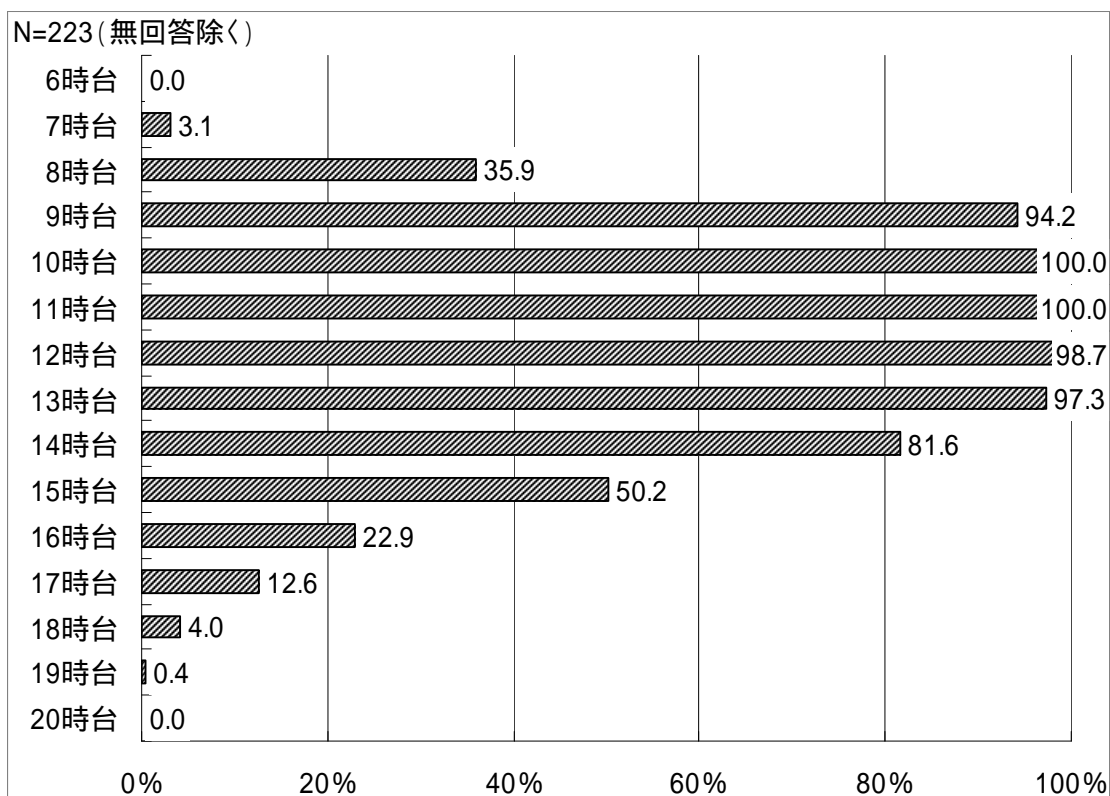
問 1 6 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望がありますか。

「週に数日利用したい」との回答が 46.7%と最も高く、次いで「利用希望はない」が 38.8%、「ほぼ毎日利用したい」が 12.5%と続いています。



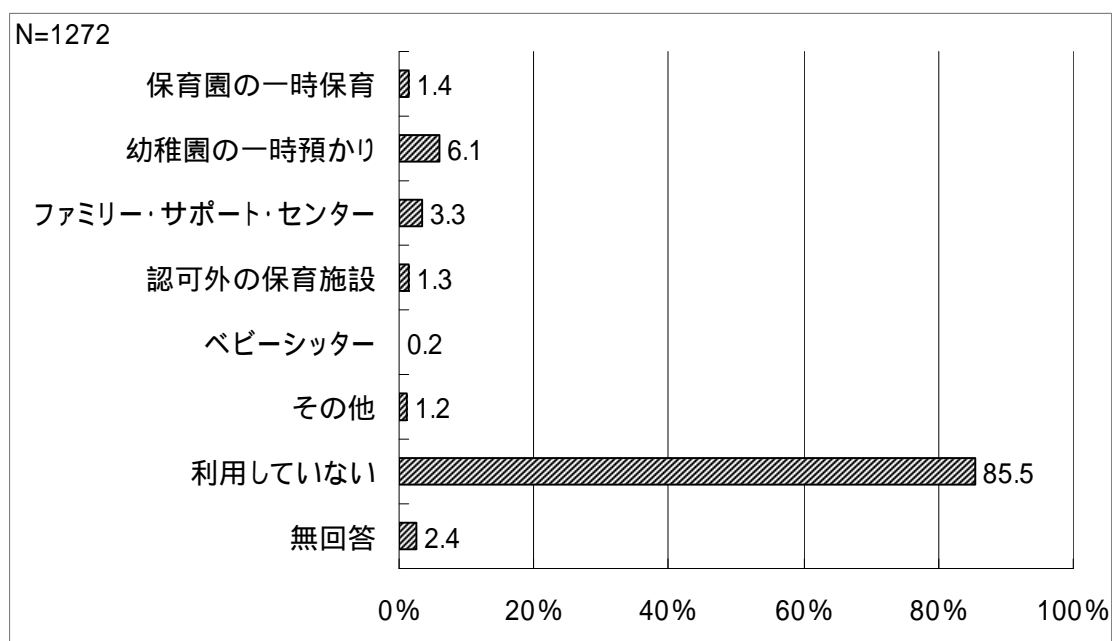
利用したい時間帯

「9時台」から「14時台」が 80%以上で、「15時台」まで 50%以上となっています。



問17 この1年間で、私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や親の病気、あるいは就労のため、宛名のお子さんについて不定期に利用しているものがありますか。

「利用していない」との回答が85.5%と最も高く、次いで「幼稚園の一時預かり」が6.1%、「ファミリー・サポート・センター」が3.3%と続いています。

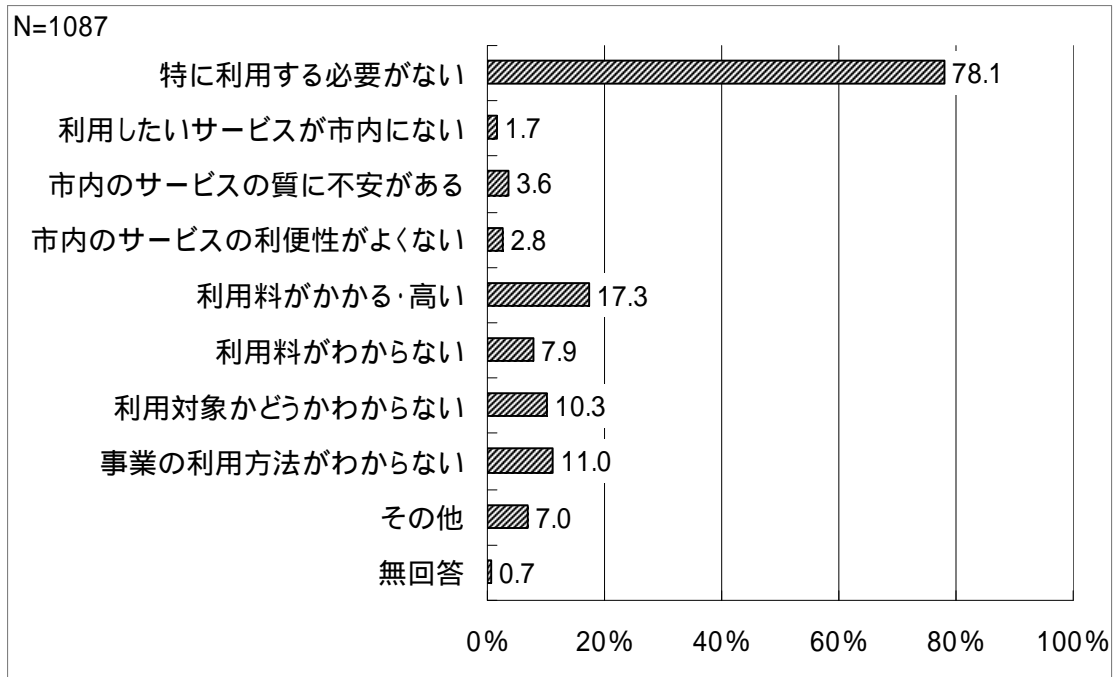


年当たり利用日数 平均

保育園の一時保育	48日
幼稚園の一時預かり	15日
ファミリー・サポート・センター	6日
認可外の保育施設	20日
ベビーシッター	5日
その他	15日

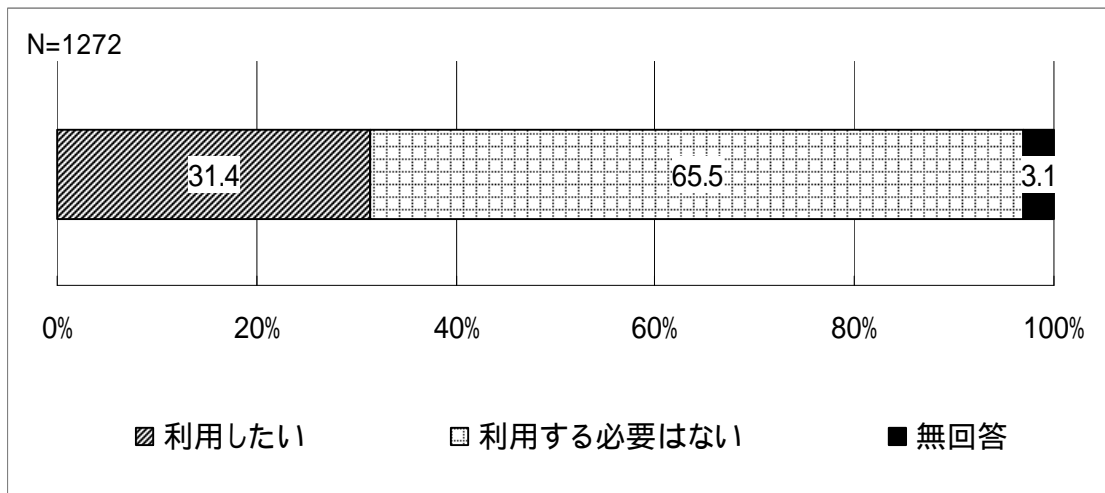
問 17 - 1 利用していない理由は何ですか。

「特に利用する必要がない」との回答が 78.1%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が 17.3%、「事業の利用方法がわからない」が 11.0%と続いています。



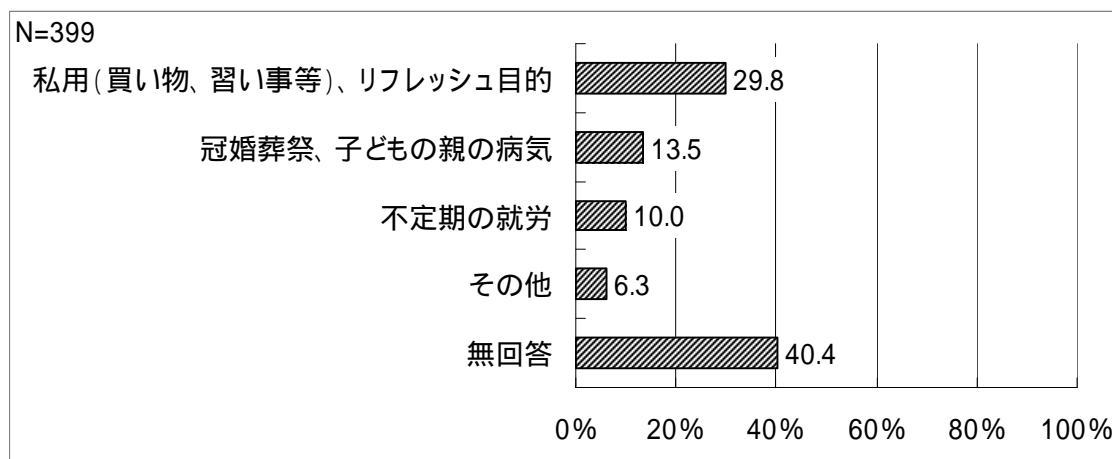
問 18 私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や親の病気、あるいは就労のため、宛名のお子さんについて、不定期の一時預かりを利用する必要がありますか。

「利用したい」との回答が 31.4%となっています。



利用したい理由

無回答を除き、「私用（買い物、習い事等）リフレッシュ目的」との回答が 29.8%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、子どもの親の病気」が 13.5%、「不定期の就労」が 10.0%と続いています。

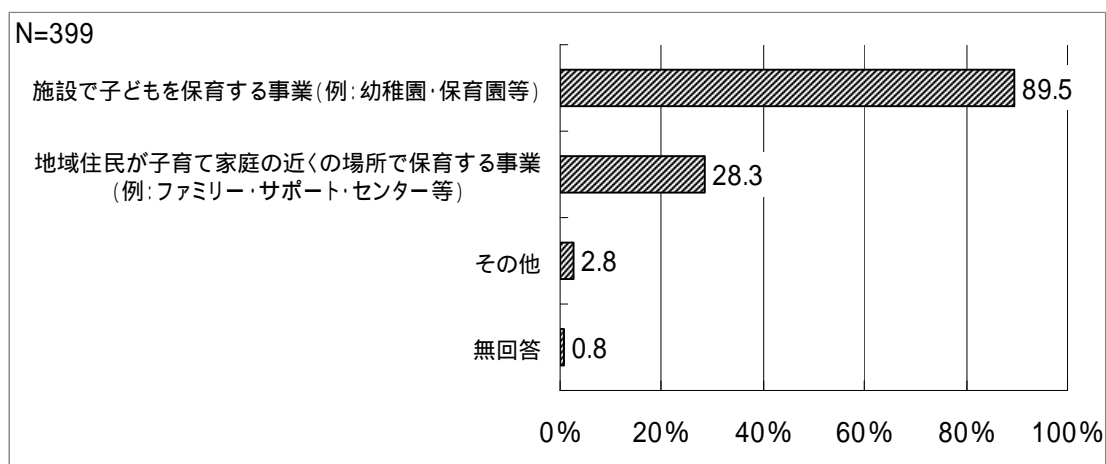


年当たり利用希望日数 平均

利用したい 計	24 日
私用（買い物、習い事等）、リフレッシュ目的	12 日
冠婚葬祭、子どもの親の病気	6 日
不定期の就労	36 日
その他	21 日

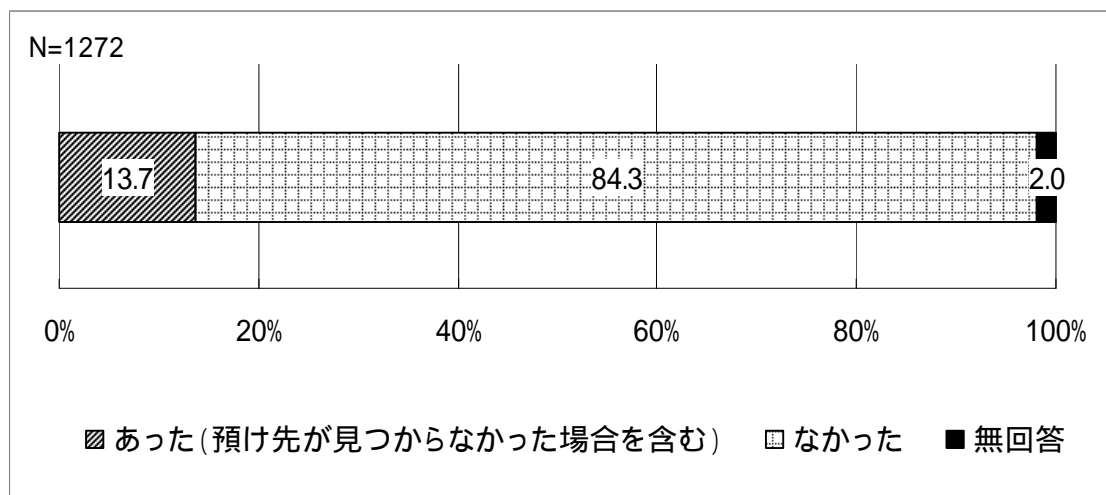
問 1 8 - 1 不定期の一時預かりの望ましい形態はどれですか。

「施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育園等)」との回答が 89.5%と最も高く、次いで「地域住民が子育て家庭の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」が 28.3%、「その他」が 2.8%と続いています。



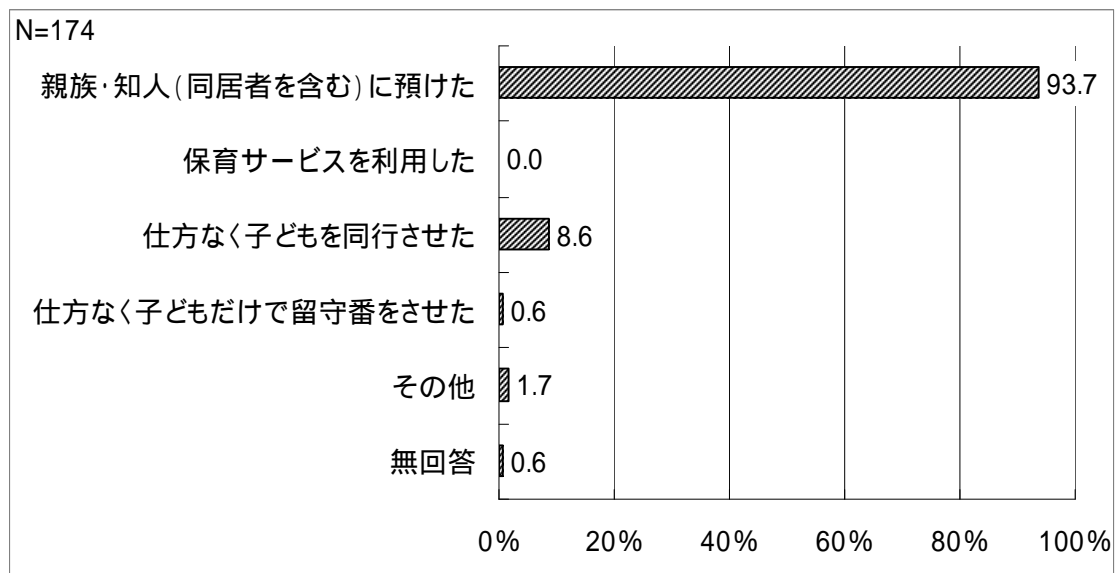
問 1 9 この 1 年間に保護者の用事などにより、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

「あった(預け先が見つからなかった場合を含む)」との回答が 13.7%となっています。



問19-1 そのときの対処方法はどれですか。

「親族・知人（同居者を含む）に預けた」との回答が 93.7%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が 8.6%、「その他」が 1.7%と続いています。



年当たり対処泊数 平均

親族・知人（同居者を含む）に預けた	7泊
保育サービスを利用した	該当なし
仕方なく子どもを同行させた	2泊
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1泊
その他	9泊

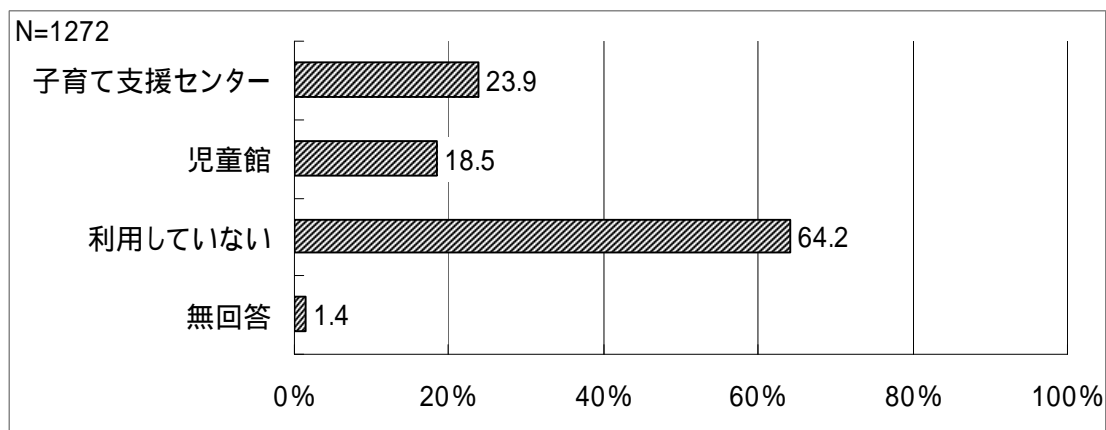
問20 宛名のお子さんは、現在、子育て支援センターや児童館を利用されていますか。

「利用していない」との回答が64.2%と最も高く、「子育て支援センター」が23.9%、「児童館」が18.5%となっています。

白木小学校区では「子育て支援センター」との回答が35.8%で、全体の23.9%と比べて10%以上高くなっています。

未就園児の場合は「子育て支援センター」との回答が52.7%、「児童館」が30.4%となっています。

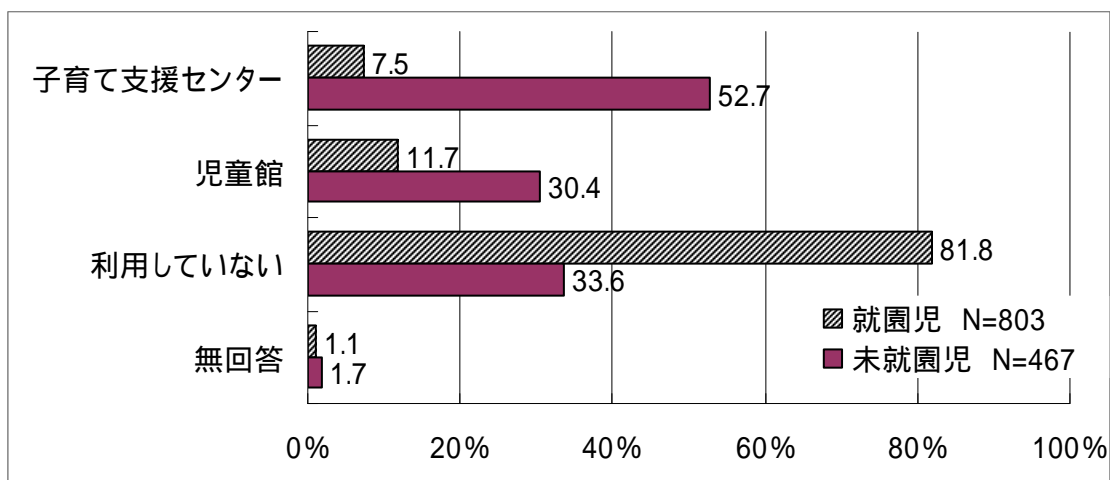
図43 宛名のお子さんは、現在、子育て支援センターや児童館を利用されていますか。



《小学校区別》

	回答者数	問20 宛名のお子さんは、現在、子育て支援センターや児童館を利用されていますか。			
		子育て支援センター	児童館	利用していない	無回答
全体	1272	304 23.9%	235 18.5%	817 64.2%	18 1.4%
問6 お住まいの小学校区は、どちらですか。	師勝小学校区	29 20.9%	20 14.4%	93 66.9%	1 0.7%
	西春小学校区	29 20.7%	24 17.1%	92 65.7%	3 2.1%
	師勝南小学校区	103 30.1%	18 17.5%	63 61.2%	0 0.0%
	五条小学校区	122 17.2%	28 23.0%	82 67.2%	1 0.8%
	鴨田小学校区	123 26.0%	11 8.9%	85 69.1%	2 1.6%
	師勝北小学校区	129 18.6%	30 23.3%	83 64.3%	3 2.3%
	師勝東小学校区	115 25.2%	20 17.4%	74 64.3%	3 2.6%
	栗島小学校区	121 14.9%	23 19.0%	88 72.7%	2 1.7%
	師勝西小学校区	130 30.0%	28 21.5%	77 59.2%	0 0.0%
	白木小学校区	123 35.8%	31 25.2%	64 52.0%	2 1.6%

《就園・未就園別》

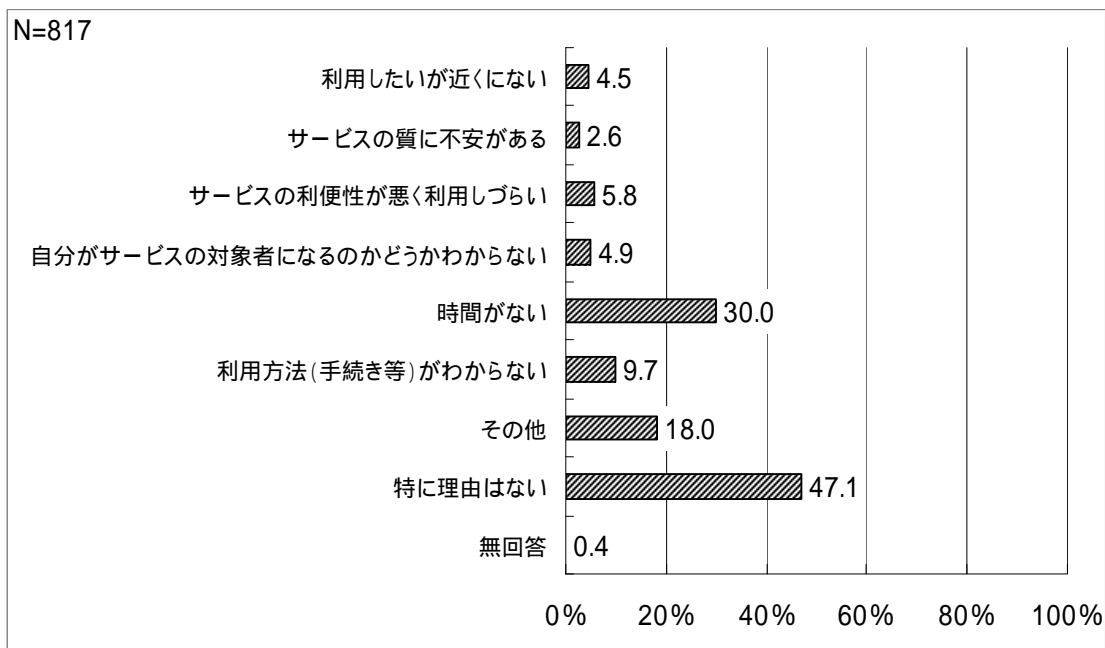


子育て支援センター 月当たり利用回数 平均 6 回

児童館 月当たり利用回数 平均 4 回

問 2 0 - 1 現在、利用していない理由は何ですか。

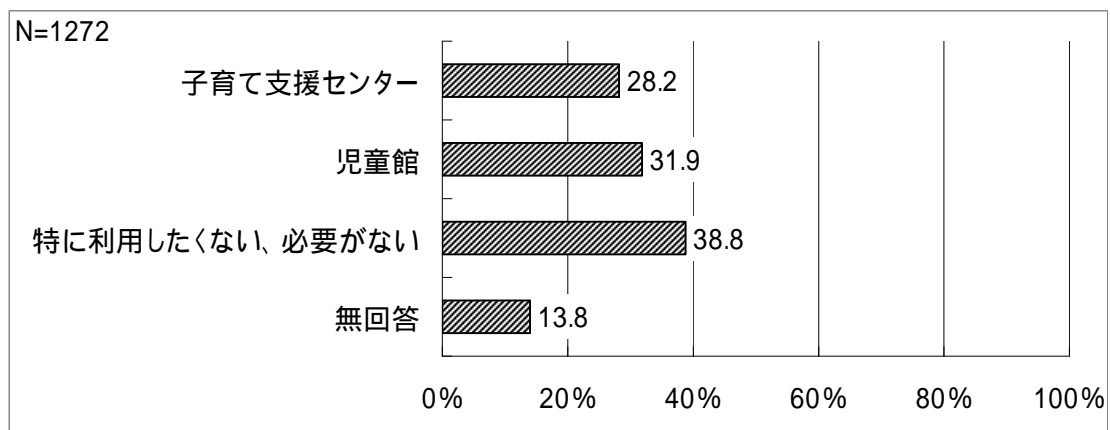
「特に理由はない」との回答が 47.1%と最も高く、次いで「時間がない」が 30.0%、「その他」が 18.0%と続いています。



問 2 1 子育て支援センターや児童館について、今は利用していないが、できれば利用したい。あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。

「特に利用したくない、必要がない」との回答が 38.8%と最も高く、次いで「児童館」が 31.9%、「子育て支援センター」が 28.2%と続いています。

白木小学校区では「子育て支援センター」との回答が 43.1%で、全体の 28.2%と比べて 10%以上高くなっています。



《小学校区別》

	回答者数	問 2 1 子育て支援センターや児童館について、今は利用していないが、できれば利用したい。あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。				
		子育て支援センター	児童館	特に利用したくない、必要がない	無回答	
全体	1272	359 28.2%	406 31.9%	494 38.8%	176 13.8%	
問 6 お住まいの小学校区は、どちらですか。	師勝小学校区	37 26.6%	44 31.7%	57 41.0%	13 9.4%	
	西春小学校区	43 30.7%	47 33.6%	55 39.3%	18 12.9%	
	師勝南小学校区	32 31.1%	31 30.1%	40 38.8%	16 15.5%	
	五条小学校区	20 16.4%	45 36.9%	43 35.2%	23 18.9%	
	鴨田小学校区	36 29.3%	32 26.0%	56 45.5%	13 10.6%	
	師勝北小学校区	36 27.9%	42 32.6%	51 39.5%	17 13.2%	
	師勝東小学校区	37 32.2%	39 33.9%	43 37.4%	13 11.3%	
	栗島小学校区	20 16.5%	41 33.9%	62 51.2%	11 9.1%	
	師勝西小学校区	36 27.7%	51 39.2%	41 31.5%	20 15.4%	
	白木小学校区	123	53 43.1%	30 24.4%	38 30.9%	23 18.7%

子育て支援センター 月当たり利用希望回数 平均 7 回

児童館 月当たり利用希望回数 平均 6 回

問 2 2 市の事業やサービスの認知状況、利用状況、今後の利用意向

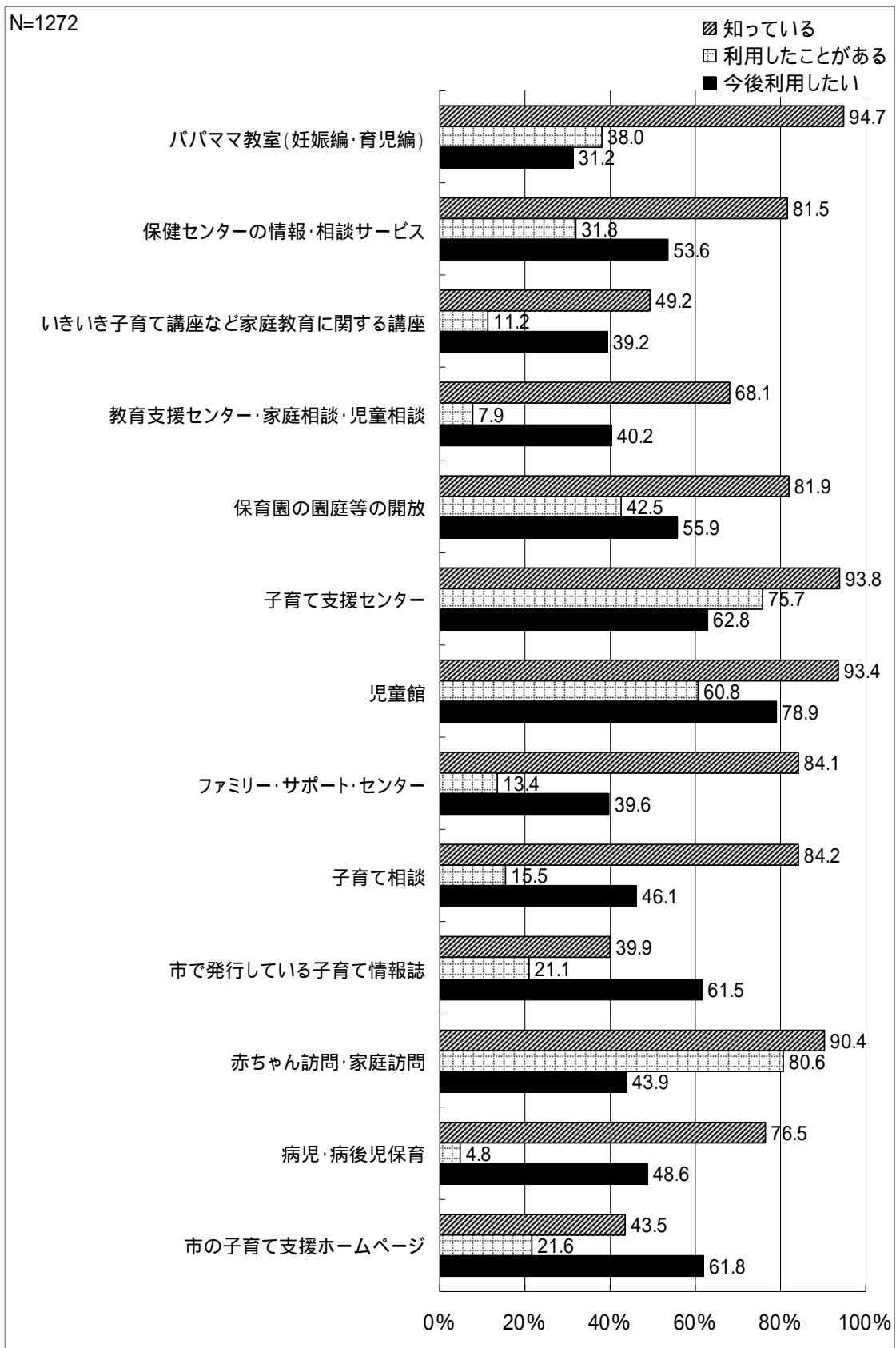
認知状況は、パパママ教室が 94.7%と最も高く、次いで「子育て支援センター」が 93.8%、「児童館」が 93.4%と続いています。認知度の低い事業等としては、「市で発行している子育て情報誌」39.9%や「市の子育て支援ホームページ」43.5%などとなっています。

また、病児・病後児保育の認知状況は、師勝小学校区では 84.2%、栗島小学校区では 70.2%と、校区で 10%以上の差が見られます。

利用状況は、児童館について、師勝北小学校区では「利用したことがある」との回答が 73.7%で、全体の 60.8%と比べて 10%以上高くなっています。

今後の利用意向は、「児童館」が 78.9%と最も高く、「市の子育て支援ホームページ」が 61.8%、「市で発行している子育て情報誌」が 61.5%と続いています。

N=1272



《小学校区別 児童館の利用状況》

		回答者数	問22 - 児童館 - B利用したことがある		
			はい	いいえ	無回答
全体		1272	774 60.8%	459 36.1%	39 3.1%
問6 お住まいの小学校区は、どちらですか。	師勝小学校区	139	82 59.0%	55 39.6%	2 1.4%
	西春小学校区	140	79 56.5%	58 41.4%	3 2.1%
	師勝南小学校区	103	63 61.1%	35 34.0%	5 4.9%
	五条小学校区	122	78 63.9%	40 32.8%	4 3.3%
	鴨田小学校区	123	64 52.1%	56 45.5%	3 2.4%
	師勝北小学校区	129	95 73.7%	27 20.9%	7 5.4%
	師勝東小学校区	115	70 60.9%	42 36.5%	3 2.6%
	栗島小学校区	121	71 58.7%	47 38.8%	3 2.5%
	師勝西小学校区	130	86 66.2%	41 31.5%	3 2.3%
	白木小学校区	123	79 64.2%	40 32.5%	4 3.3%

《小学校区別 病児・病後児保育の認知状況》

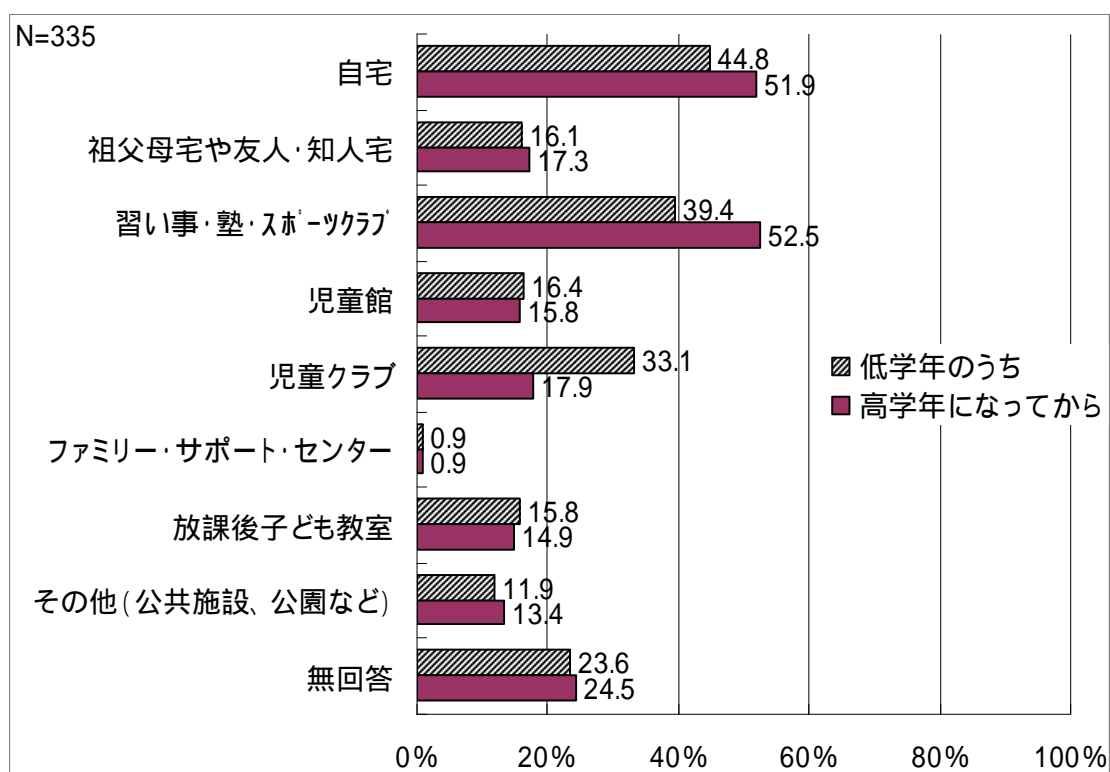
		回答者数	問22 - 病児・病後児保育 - A知っている		
			はい	いいえ	無回答
全体		1272	972 76.5%	283 22.2%	17 1.3%
問6 お住まいの小学校区は、どちらですか。	師勝小学校区	139	117 84.2%	22 15.8%	0 0.0%
	西春小学校区	140	104 74.3%	35 25.0%	1 0.7%
	師勝南小学校区	103	79 76.7%	22 21.4%	2 1.9%
	五条小学校区	122	86 70.5%	35 28.7%	1 0.8%
	鴨田小学校区	123	96 78.0%	27 22.0%	0 0.0%
	師勝北小学校区	129	102 79.0%	22 17.1%	5 3.9%
	師勝東小学校区	115	91 79.1%	23 20.0%	1 0.9%
	栗島小学校区	121	85 70.2%	34 28.1%	2 1.7%
	師勝西小学校区	130	109 83.8%	20 15.4%	1 0.8%
	白木小学校区	123	87 70.8%	33 26.8%	3 2.4%

問23 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間を主にどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

問24 宛名のお子さんが小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間を主にどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

低学年のうちの希望は、「自宅」との回答が44.8%と最も高く、次いで「習い事・塾・スポーツクラブ」が39.4%、「児童クラブ」が33.1%と続いています。

高学年になってからの希望は、「習い事・塾・スポーツクラブ」との回答が52.5%と最も高く、次いで「自宅」が51.9%、「児童クラブ」が17.9%と続いています。



週当たり希望日数 平均

【低学年のうち】

自宅	3日
祖父母宅や友人・知人宅	2日
習い事・塾・スポーツクラブ	2日
児童館	2日
児童クラブ	4日
ファミリー・サポート・センター	1日
放課後子ども教室	2日
その他（公共施設、公園など）	1日

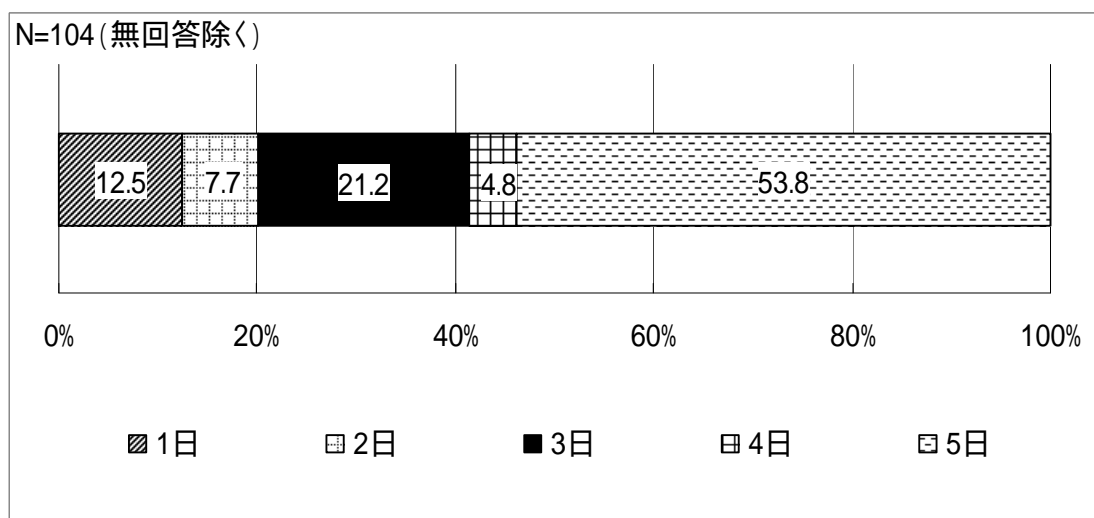
【高学年になってから】

自宅	3日
祖父母宅や友人・知人宅	2日
習い事・塾・スポーツクラブ	2日
児童館	2日
児童クラブ	3日
ファミリー・サポート・センター	1日
放課後子ども教室	2日
その他（公共施設、公園など）	1日

児童クラブ 週当たり希望日数

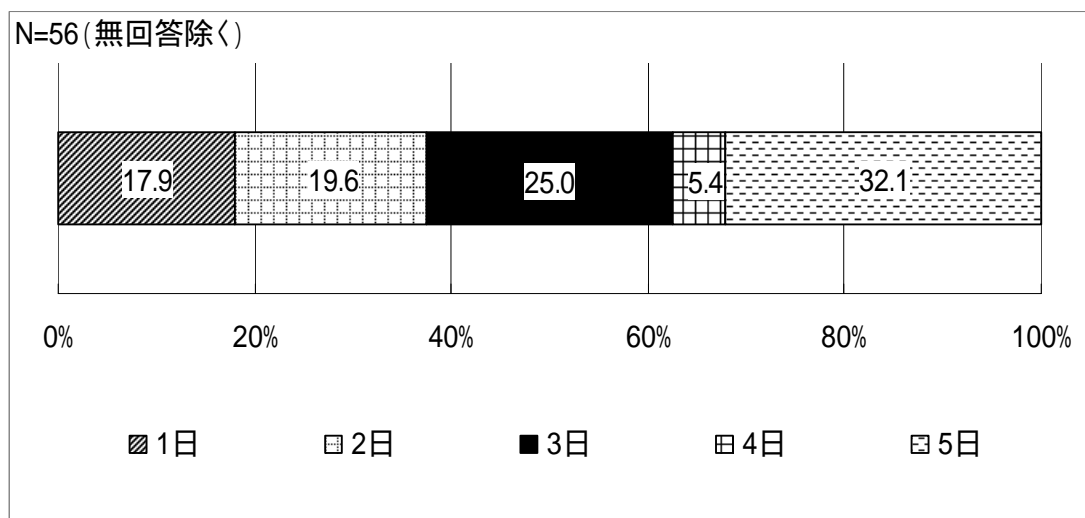
【低学年のうち】

「5日」との回答が53.8%と最も高く、次いで「3日」が21.2%、「1日」が12.5%と続いています。



【高学年になってから】

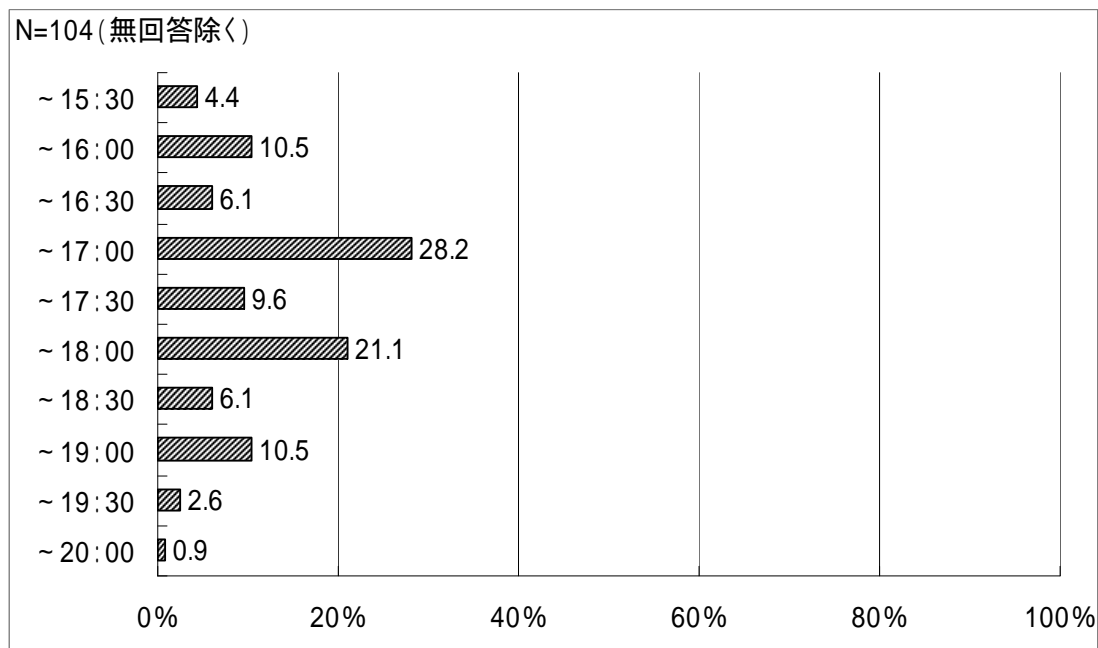
「5日」との回答が32.1%と最も高く、次いで「3日」が25.0%、「2日」が19.6%と続いています。



児童クラブ 利用時刻

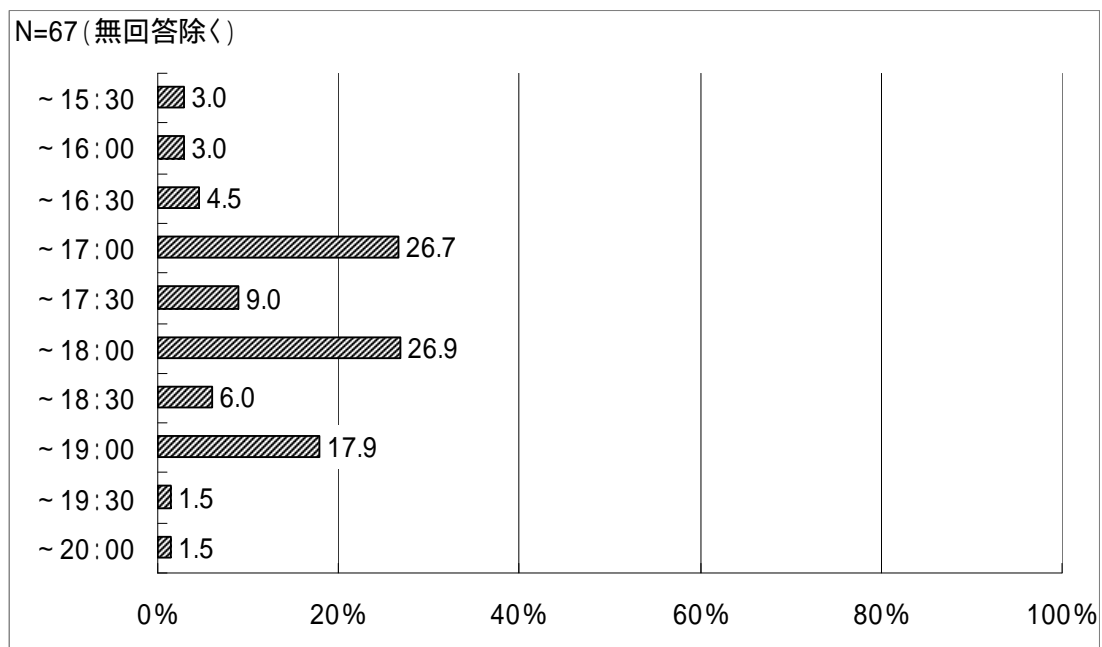
【低学年のうち】

「～17:00」との回答が28.2%と最も高く、次いで「～18:00」が21.1%、「～16:00」と「～19:00」が10.5%と続いています。



【高学年になってから】

「～18：00」との回答が26.9%と最も高く、次いで「～17：00」が26.7%、「～19：00」が17.9%と続いています。

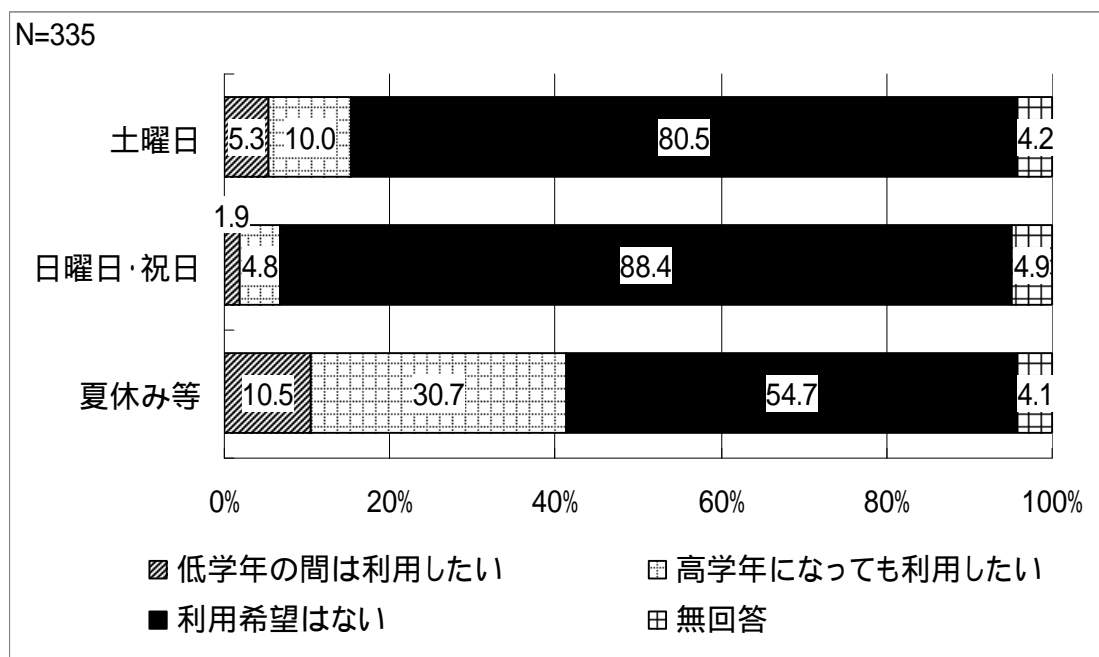


問25 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期休暇中に、児童クラブの利用希望がありますか。

土曜日では、「利用希望はない」との回答が80.5%と最も高く、次いで「高学年になっても利用したい」が10.0%、「低学年の間は利用したい」が5.3%と続いています。

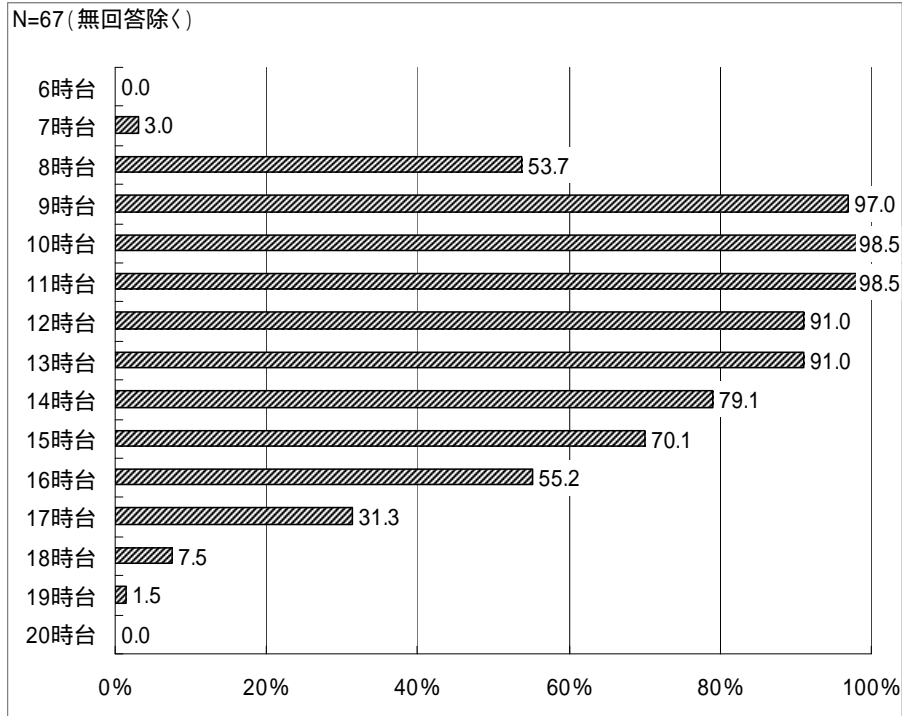
日曜日・祝日では、「利用希望はない」との回答が38.4%と最も高く、次いで「高学年になっても利用したい」が4.8%、「低学年の間は利用したい」が1.9%と続いています。

夏休み等では、「利用希望はない」との回答が54.7%と最も高く、次いで「高学年になっても利用したい」が30.7%、「低学年の間は利用したい」が10.5%と続いています。



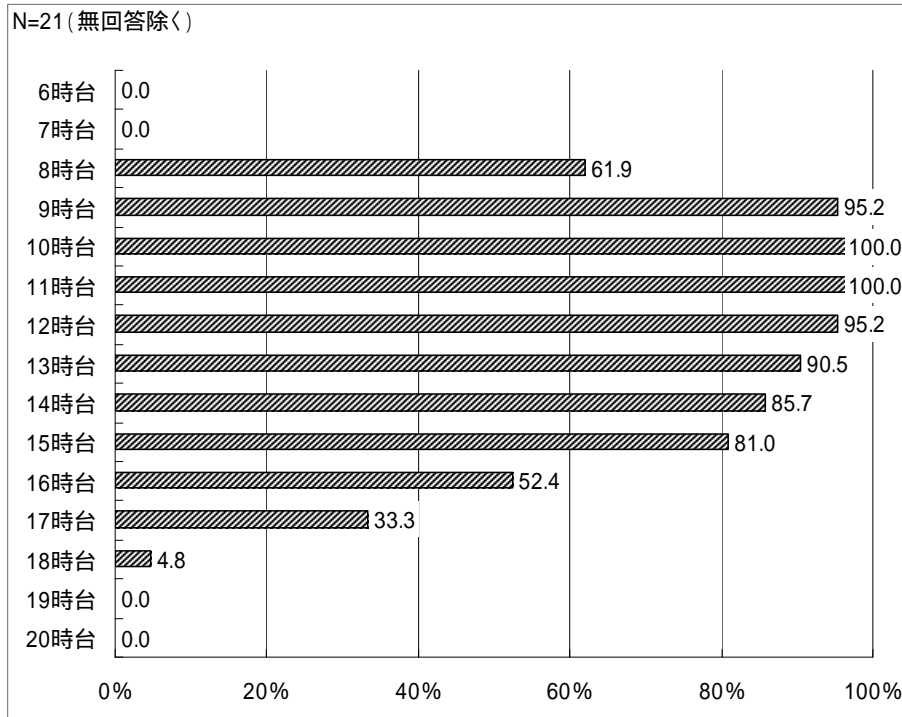
(1) 土曜日 利用したい時間帯

「 9 時台 」 から 「 15 時台 」 が 70% 以上で、「 17 時台 」 まで 30% 以上となっています。



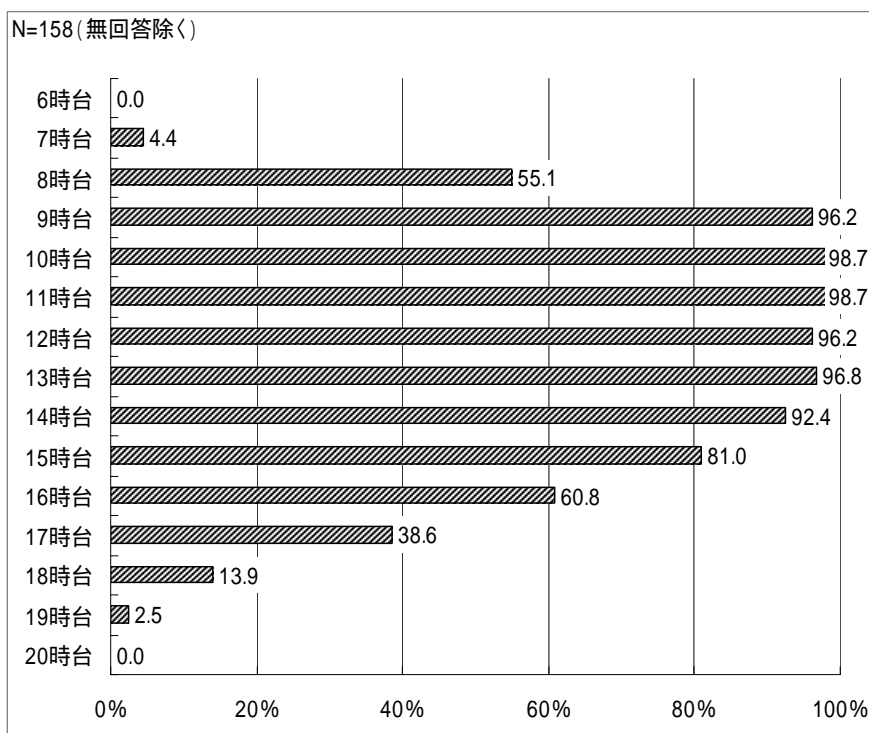
(2) 日曜日・祝日 利用したい時間帯

「 9 時台 」 から 「 15 時台 」 が 80% 以上で、「 17 時台 」 まで 30% 以上となっています。



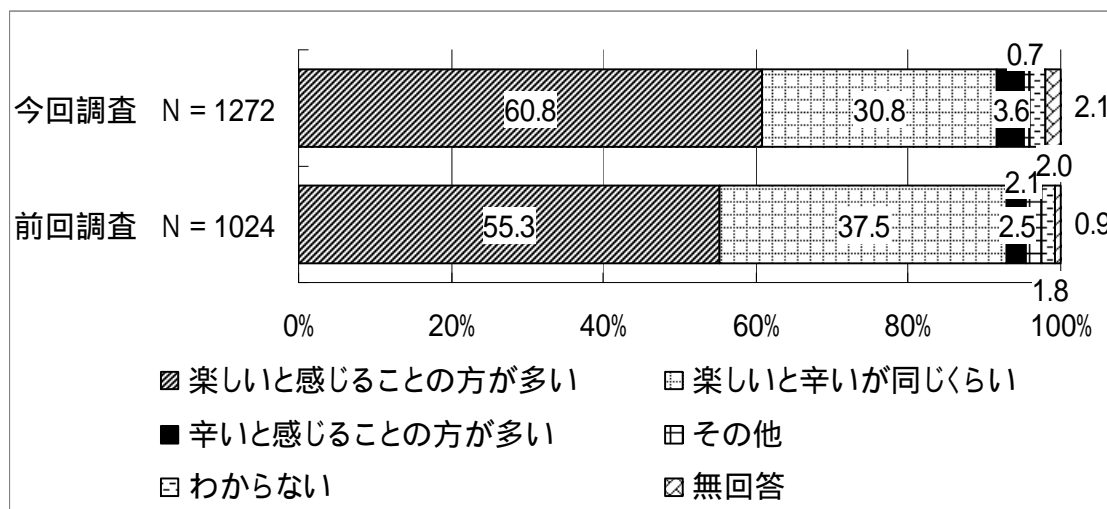
(3) 夏休み・冬休みなどの長期休暇中 利用したい時間帯

「9時台」から「15時台」が80%以上で、「17時台」まで30%以上となっています。



問26 あなたは、子育てをどのように感じる事が多いですか。

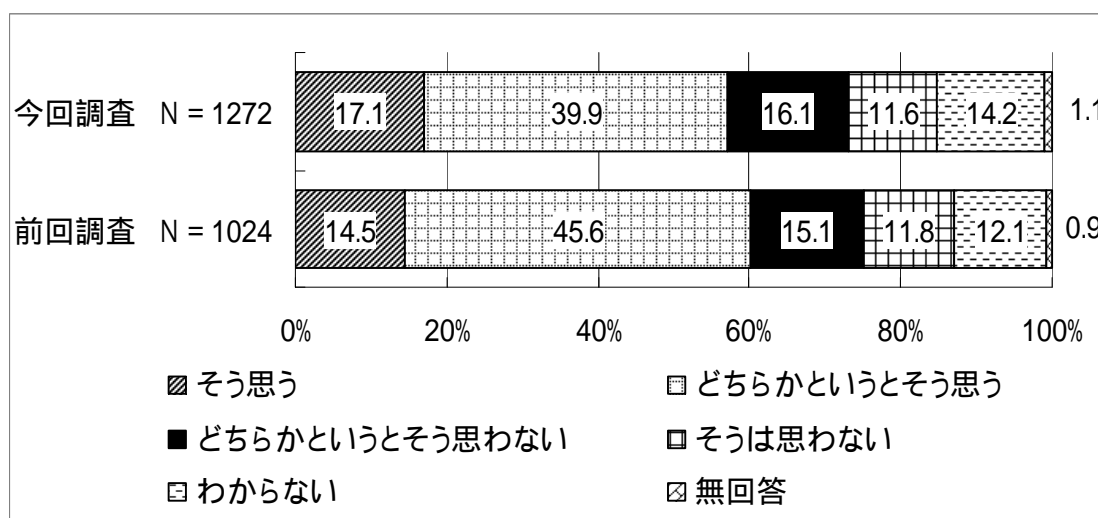
「楽しいと感じることの方が多い」との回答が60.8%と最も高く、前回調査(平成21年2月)からは若干上昇しています。次いで「楽しいと辛いと同じくらい」が30.8%、「辛いと感じることの方が多い」が3.6%と続いています。



問27 北名古屋市は、宛名のお子さんの子育てをしやすい市だと思いますか。

「どちらかというと思う」との回答が39.9%と最も高く、次いで「そう思う」が17.1%、「どちらかというと思わない」が16.1%と続いており、前回調査からの大きな変化は見られません。

栗島小学校区では「どちらかというと思う」との回答が24.0%で、全体の39.9%と比べて10%以上低くなっています。

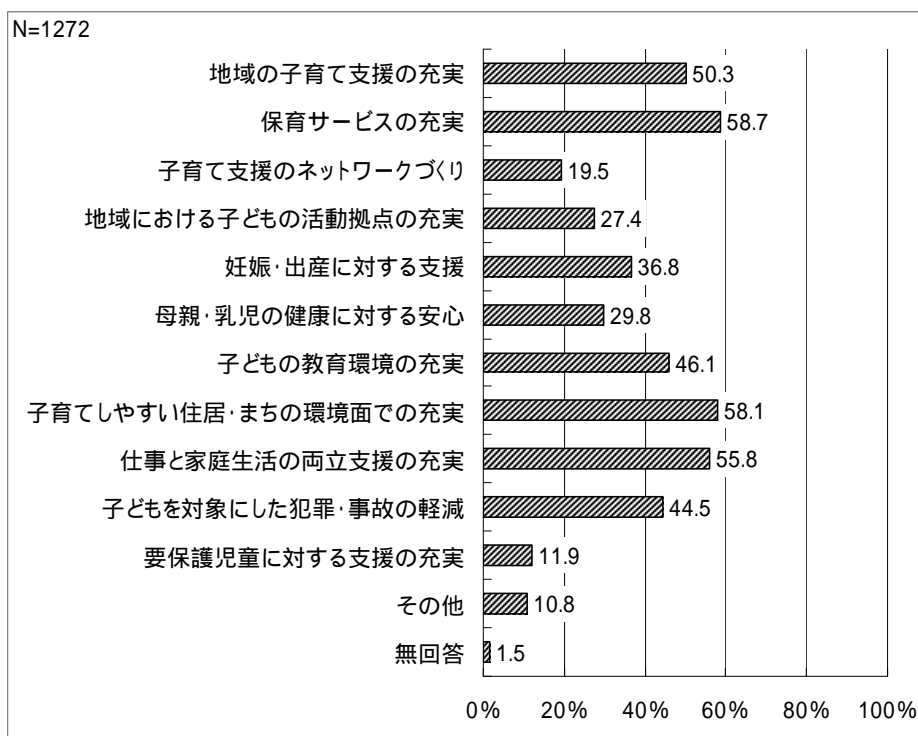


《小学校区別》

	回答者数	問27 北名古屋市は、宛名のお子さんの子育てをしやすい市だと思いますか。					
		そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そうは思わない	わからない	無回答
全体	1272	218 17.1%	507 39.9%	205 16.1%	148 11.6%	180 14.2%	14 1.1%
問6 お住まいの小学校区は、どちらですか。	師勝小学校区	29 20.9%	65 46.8%	18 12.9%	9 6.5%	18 12.9%	0 0.0%
	西春小学校区	21 15.0%	63 45.0%	23 16.4%	18 12.9%	14 10.0%	1 0.7%
	師勝南小学校区	19 18.4%	37 35.9%	24 23.3%	8 7.8%	14 13.6%	1 1.0%
	五条小学校区	19 15.6%	45 36.8%	22 18.0%	18 14.8%	18 14.8%	0 0.0%
	鴨田小学校区	17 13.8%	55 44.7%	15 12.2%	14 11.4%	21 17.1%	1 0.8%
	師勝北小学校区	21 16.3%	50 38.6%	22 17.1%	18 14.0%	14 10.9%	4 3.1%
	師勝東小学校区	22 19.1%	50 43.6%	15 13.0%	15 13.0%	12 10.4%	1 0.9%
	栗島小学校区	16 13.2%	29 24.0%	31 25.6%	24 19.8%	19 15.7%	2 1.7%
	師勝西小学校区	25 19.2%	57 44.0%	18 13.8%	12 9.2%	16 12.3%	2 1.5%
	白木小学校区	23 18.7%	50 40.7%	13 10.6%	11 8.9%	25 20.3%	1 0.8%

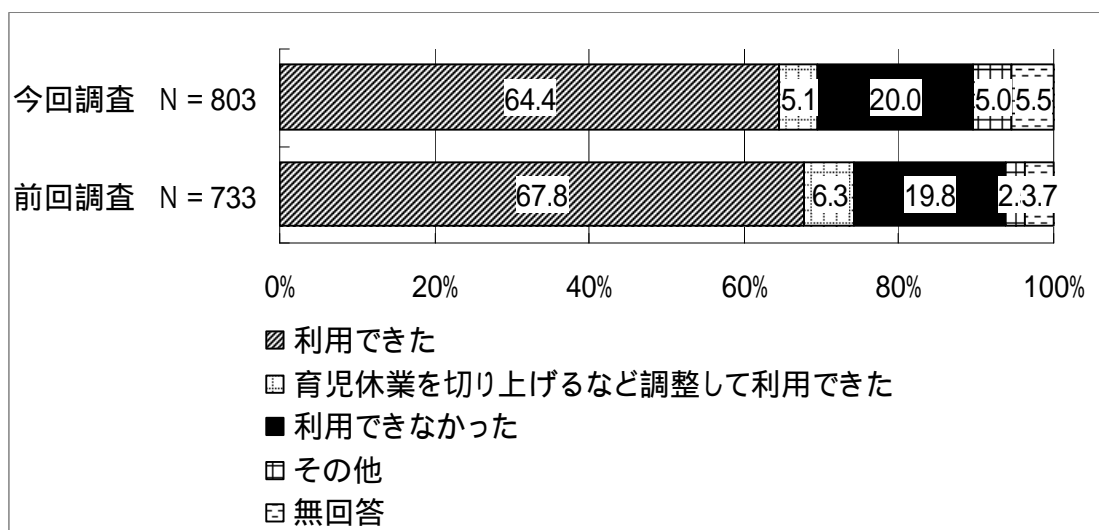
問 2 8 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。

「保育サービスの充実」との回答が 58.7%と最も高く、次いで「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が 58.1%、「仕事と家庭生活の両立支援の充実」が 55.8%と続いています。



問 2 9 あなたは、希望した時期に希望した保育サービスを利用することができましたか。

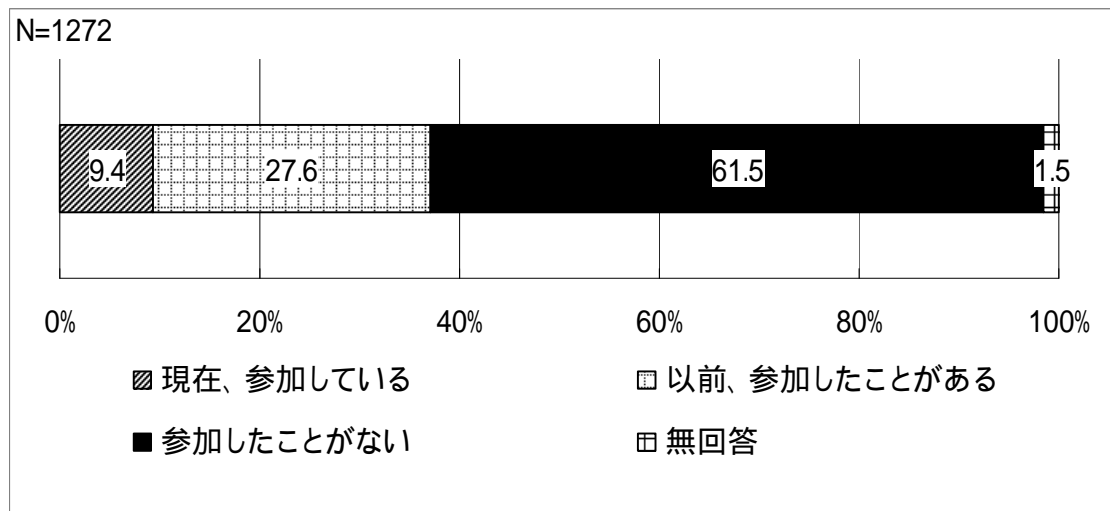
「利用できた」との回答が 64.4%、「利用できなかった」が 20.0%となっています。



問30 あなたは、宛名のお子さんについて、子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加していますか。

「参加したことがない」との回答が61.5%と最も高く、次いで「以前、参加したことがある」が27.6%、「現在、参加している」が9.4%と続いています。

鴨田小学校区では「以前、参加したことがある」との回答が39%で、全体の27.6%と比べて10%以上高くなっています。

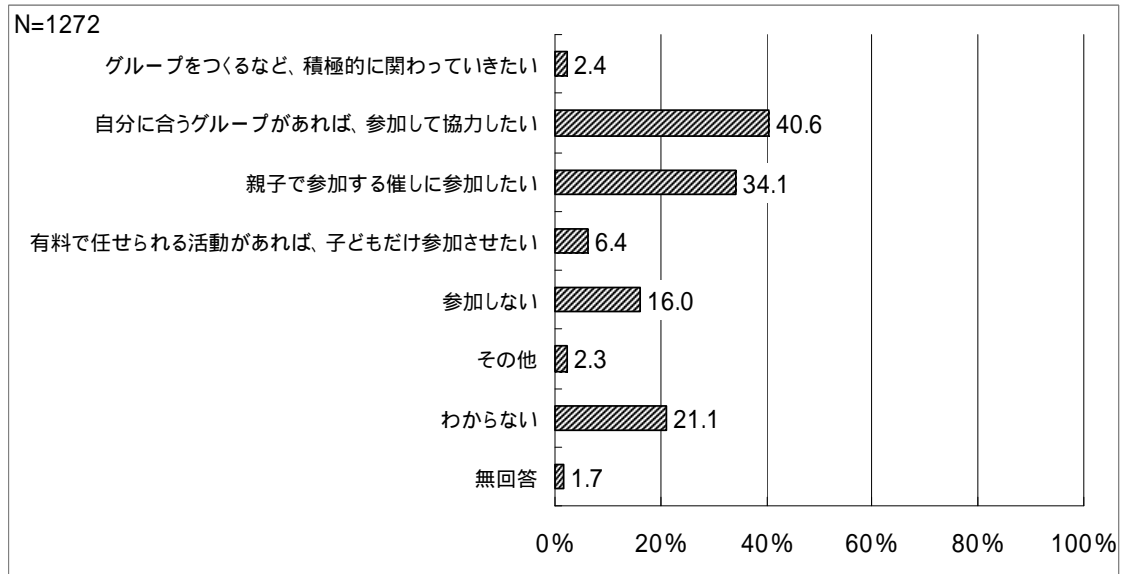


《小学校区別》

	回答者数	問30 あなたは、宛名のお子さんについて、子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加していますか。			
		現在、参加している	以前、参加したことがある	参加したことがない	無回答
全体	1272	120 9.4%	351 27.6%	782 61.5%	19 1.5%
問6 お住まいの小学校区は、どちらですか。	師勝小学校区	19 13.7%	41 29.5%	79 56.8%	0 0.0%
	西春小学校区	13 9.3%	33 23.6%	93 66.4%	1 0.7%
	師勝南小学校区	10 9.7%	22 21.4%	71 68.9%	0 0.0%
	五条小学校区	122 6.6%	29 23.8%	82 67.1%	3 2.5%
	鴨田小学校区	123 7.3%	48 39.0%	66 53.7%	0 0.0%
	師勝北小学校区	129 10.1%	34 26.4%	79 61.2%	3 2.3%
	師勝東小学校区	115 7.0%	36 31.3%	69 60.0%	2 1.7%
	栗島小学校区	121 13.2%	33 27.3%	70 57.8%	2 1.7%
	師勝西小学校区	130 13.1%	40 30.8%	71 54.6%	2 1.5%
	白木小学校区	123 4.9%	31 25.2%	82 66.6%	4 3.3%

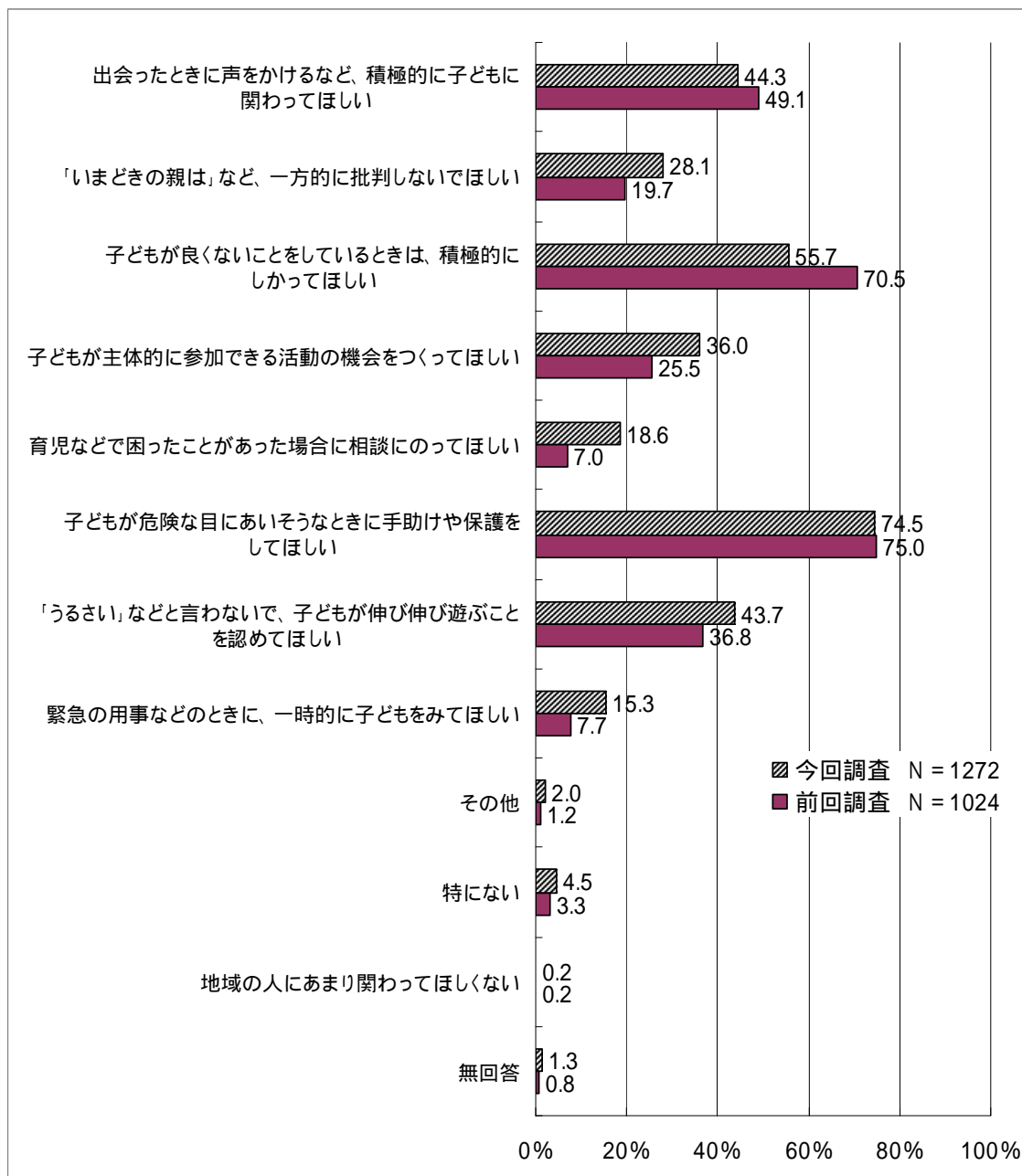
問3 1 あなたは、今後、宛名のお子さんについて、子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加するつもりはありますか。

「自分に合うグループがあれば、参加して協力したい」との回答が 40.6%と最も高く、次いで「親子で参加する催しに参加したい」が 34.1%、「わからない」が 21.1%と続いています。



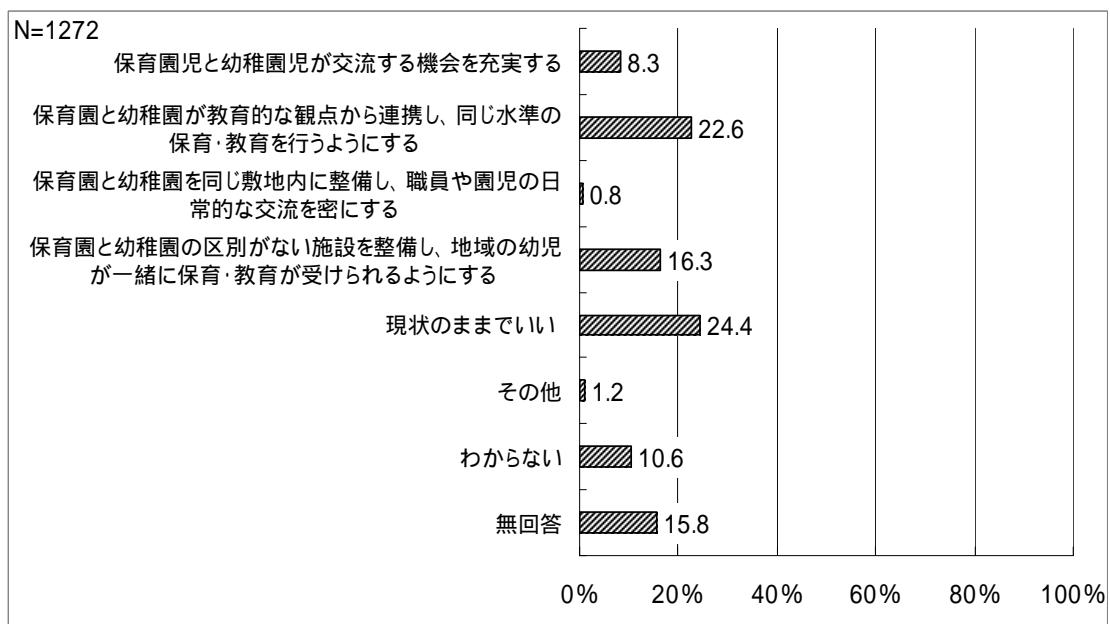
問3 2 宛名のお子さんを子育てするうえで、地域の人に望みたいことはありますか。

前回調査と同様に、「子どもが危険な目にあいそうなときに手助けや保護をしてほしい」との回答が74.5%と最も高く、次いで「子どもが良くないことをしているときは、積極的にしかってほしい」が55.7%、「出会ったときに声をかけるなど、積極的に子どもに関わってほしい」が44.3%と続いています。



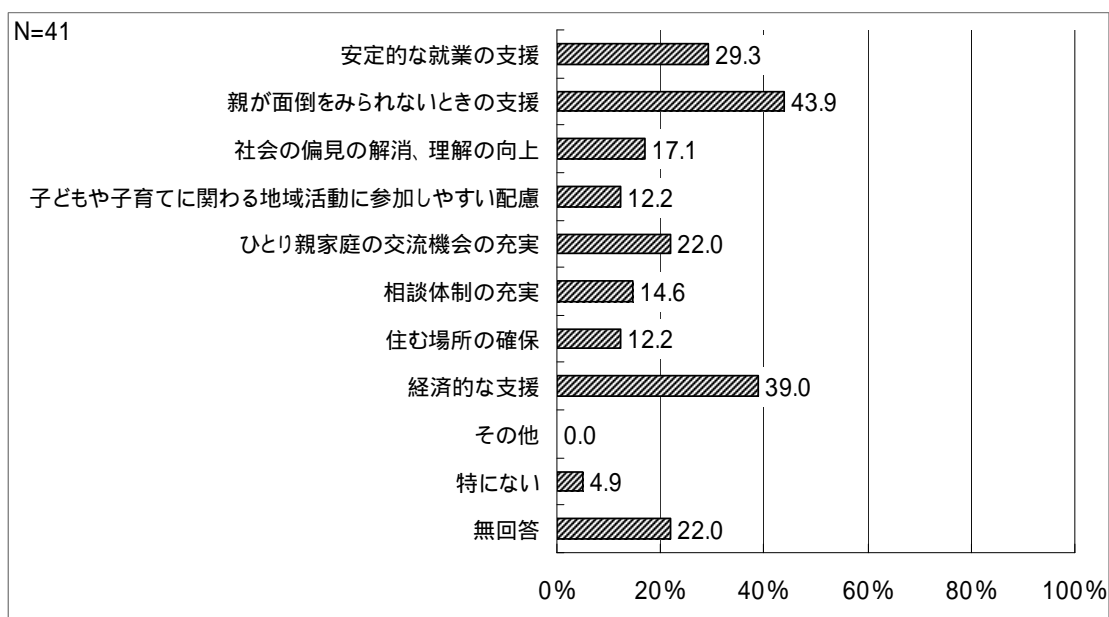
問33 あなたは、宛名のお子さんについて、保育園と幼稚園が今後どのような関係になることが望ましいと思いますか。

「現状のままでいい」との回答が24.4%と最も高く、次いで「保育園と幼稚園が教育的な観点から連携し、同じ水準の保育・教育を行うようにする」が22.6%、「保育園と幼稚園の区別がない施設を整備し、地域の幼児と一緒に保育・教育が受けられるようにする」が16.3%と続いています。



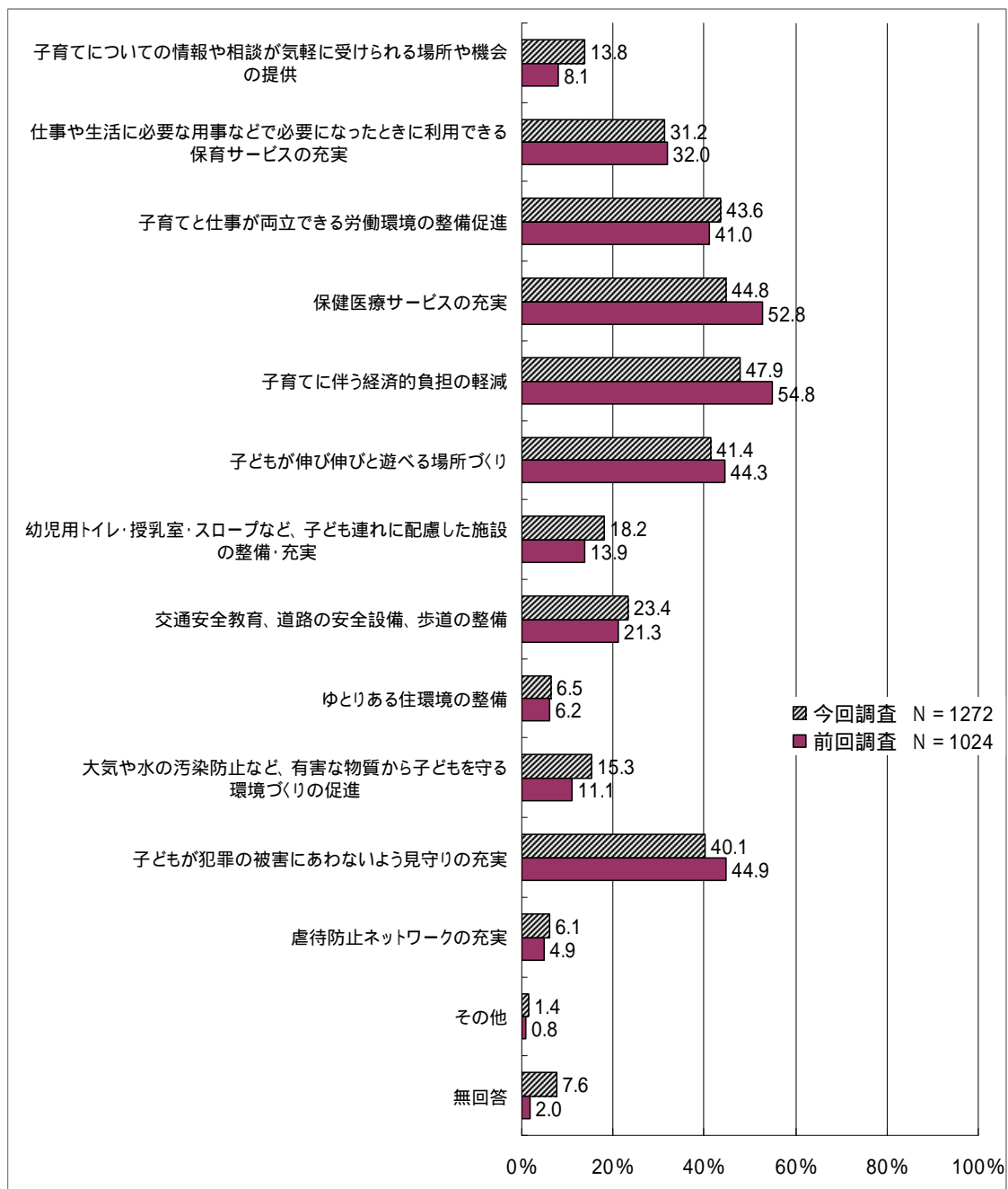
問34 《ひとり親家庭の方》宛名のお子さんを育てるために必要な支援は、次のうちどれでしょうか。

「親が面倒をみることができないときの子どもの世話など、子育ての支援」との回答が43.9%と最も高く、次いで「経済的な支援」が39.0%、「安定的な就業の支援」が29.3%と続いています。



問35 あなたは、宛名のお子さんを健やかに育てるために、今後、市・県・国にどのようなことを期待しますか。

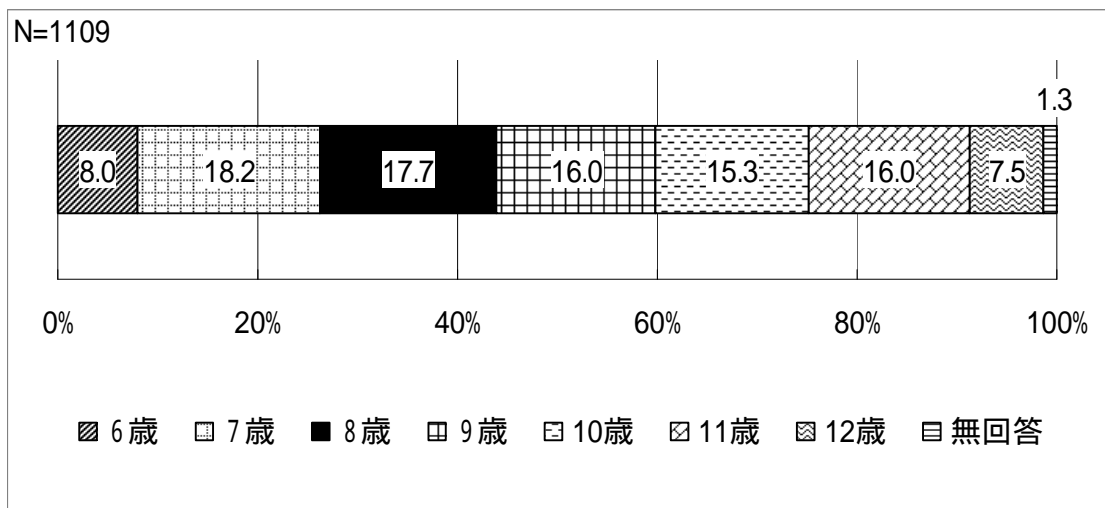
「子育てに伴う経済的負担の軽減」との回答が47.9%と最も高く、次いで「保健医療サービスの充実」が44.8%、「子育てと仕事が両立できる労働環境の整備促進」が43.6%と続いており、前回調査と比べて、期待する取り組みが分散する傾向が見られます。



(2) 就学児童 (小学生) の保護者

問1 封筒の宛名のお子さんの生年月をお聞きします。

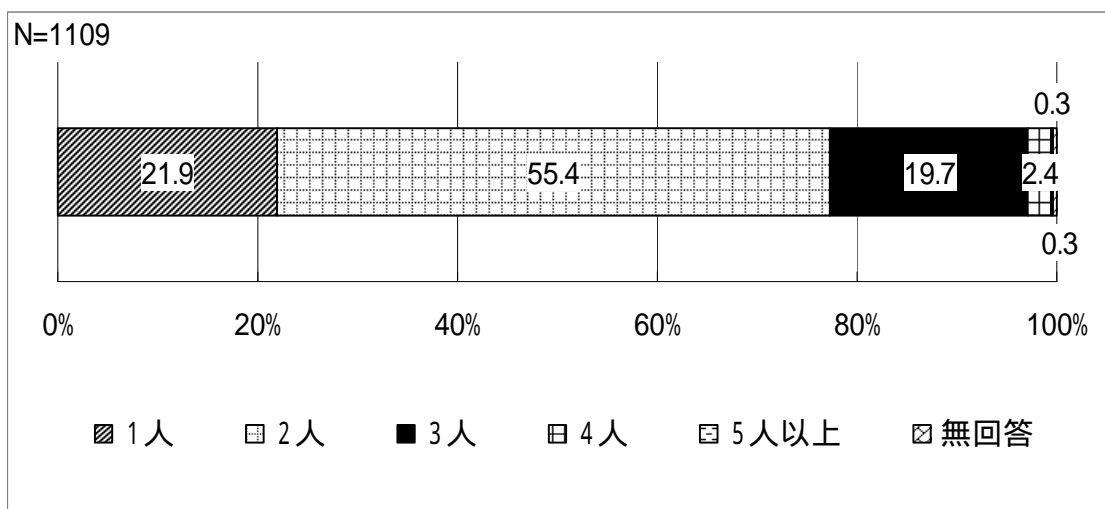
「7歳」が18.2%、「8歳」が17.7%、「9歳」と「11歳」が16.0%などとなっています。



問2 宛名のお子さんを含め、お子さんは何人ですか。2人以上の場合、末のお子さんの年齢 (平成25年9月1日現在の年齢) をお書きください。

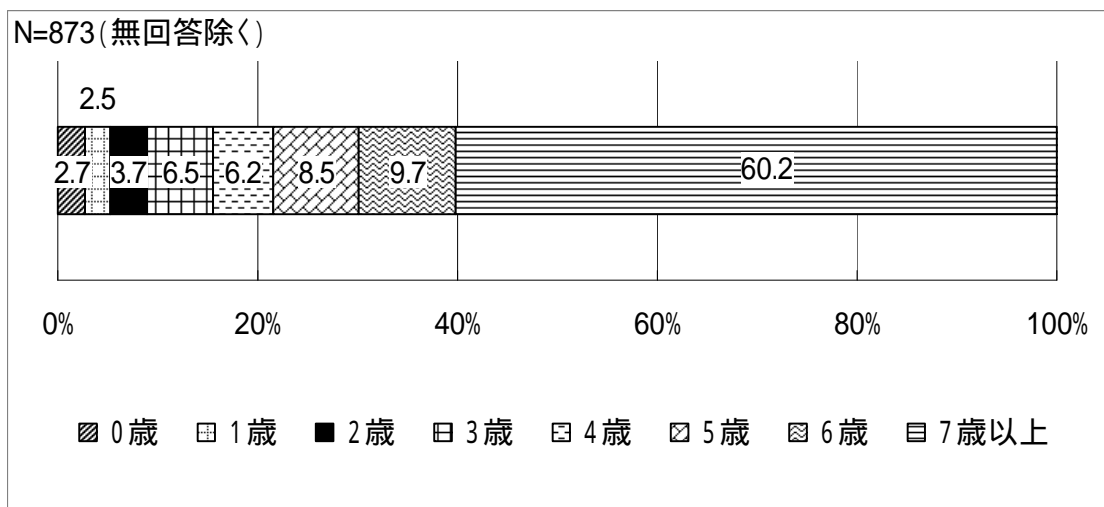
お子さんの数

「2人」が55.4%、「1人」が21.9%となっており、平均は2.03人です。



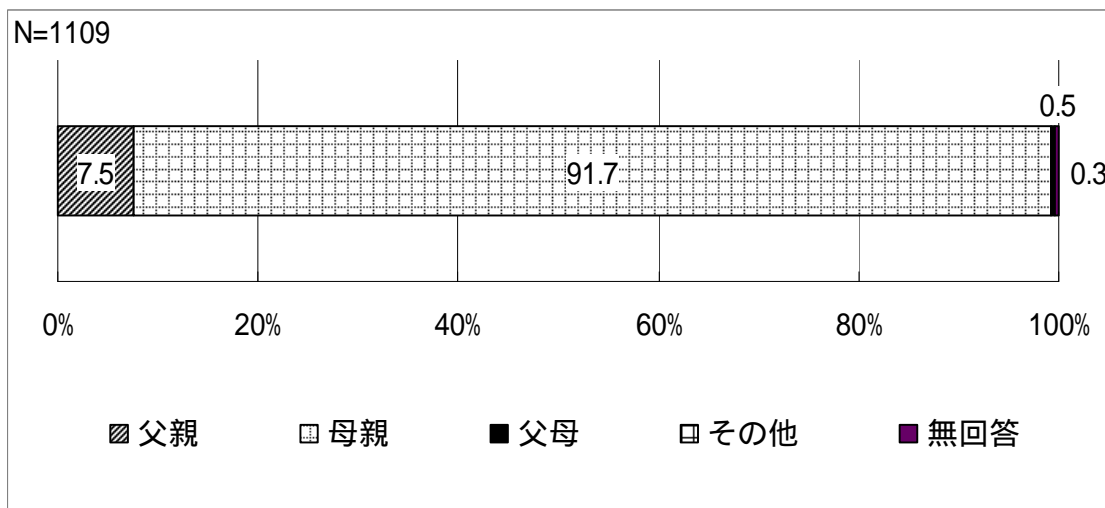
末子の年齢

「7歳以上」が60.2%となっています。



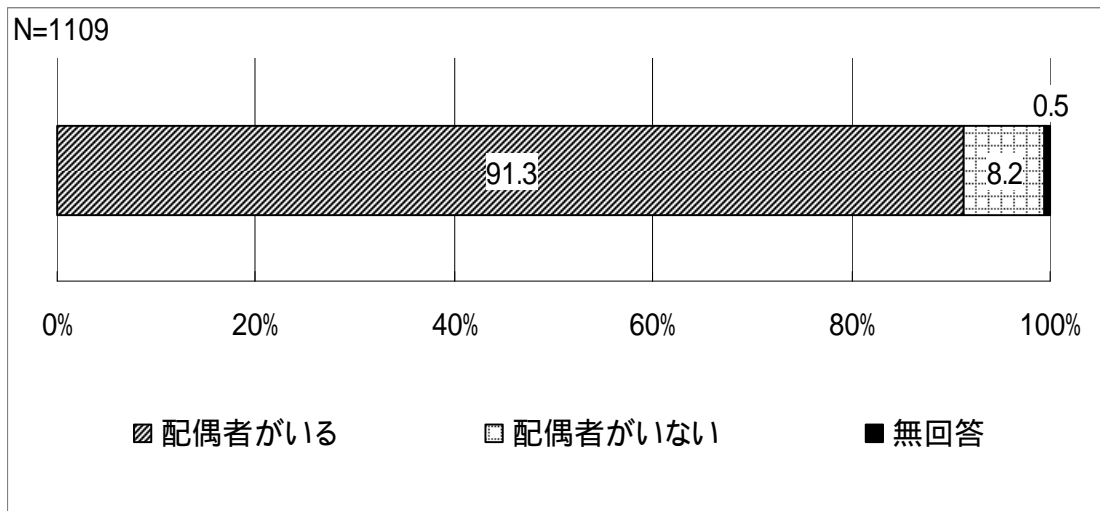
問3 このアンケートの記入者は、どなたですか。

「母親」との回答が91.7%と最も高く、次いで「父親」が7.5%、「父母」が0.5%と続いています。



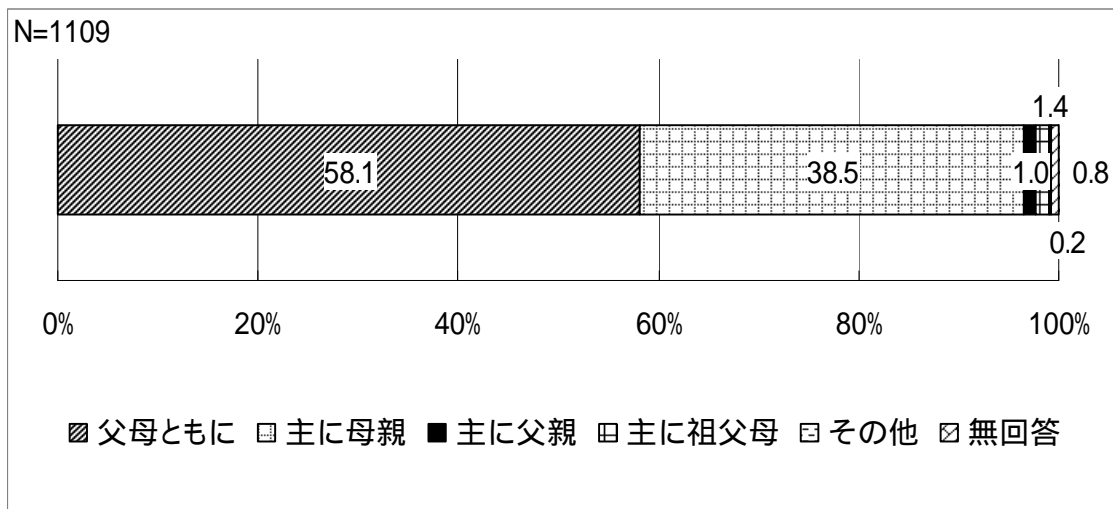
問4 あなたには配偶者がいますか。

「配偶者がいる」との回答が91.3%、「配偶者がいない」が8.2%となっています。



問5 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。続柄は、宛名のお子さんから見た関係です。

「父母ともに」との回答が58.1%と最も高く、次いで「主に母親」が38.5%、「主に祖父母」が1.4%と続いています。



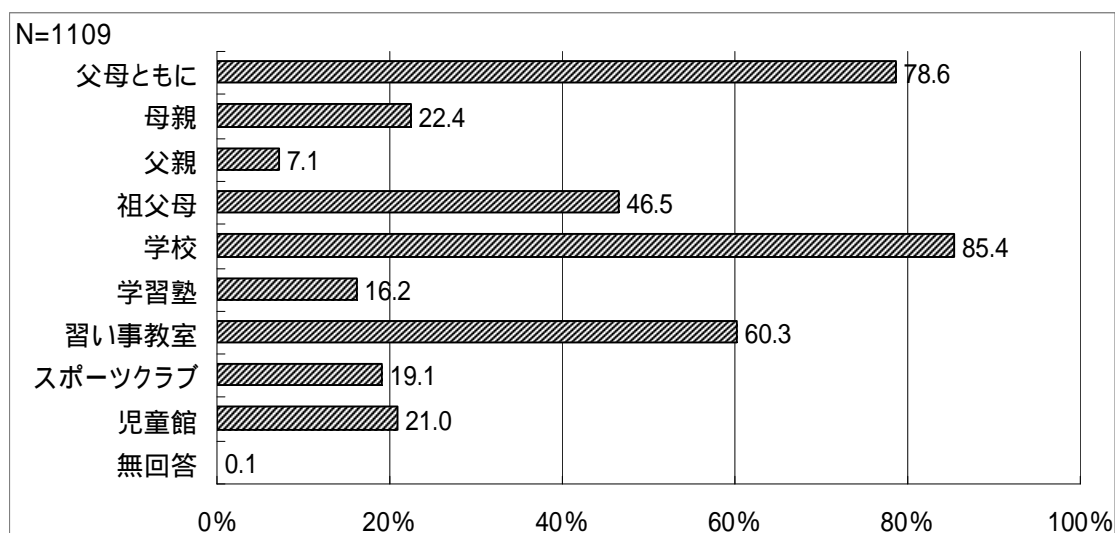
問6 お住まいの小学区は、どちらですか。

「西春小学区」との回答が12.3%と最も高く、次いで「師勝小学区」が10.2%、「鴨田小学区」が10.2%と続いています。

項目	回答数	%
師勝小学区	113	10.2%
西春小学区	137	12.3%
師勝南小学区	112	10.1%
五条小学区	102	9.2%
鴨田小学区	113	10.2%
師勝北小学区	99	8.9%
師勝東小学区	103	9.3%
栗島小学区	112	10.1%
師勝西小学区	112	10.1%
白木小学区	103	9.3%
無回答	3	0.3%
N =	1,109	100.0%

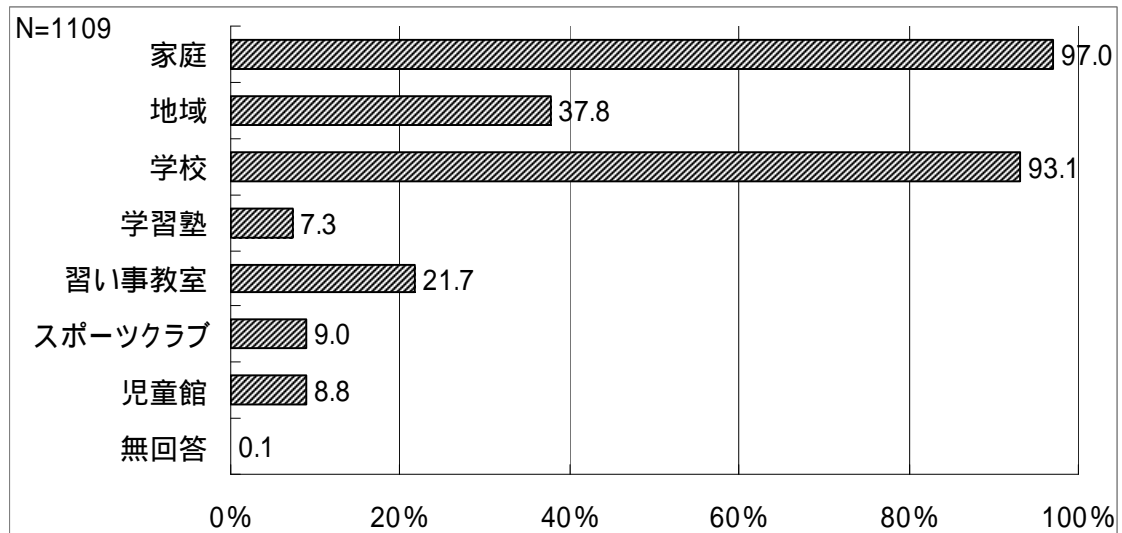
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方（施設）すべてに つけてください。

「学校」との回答が85.4%と最も高く、次いで「父母ともに」が78.6%、「習い事教室」が60.3%と続いています。



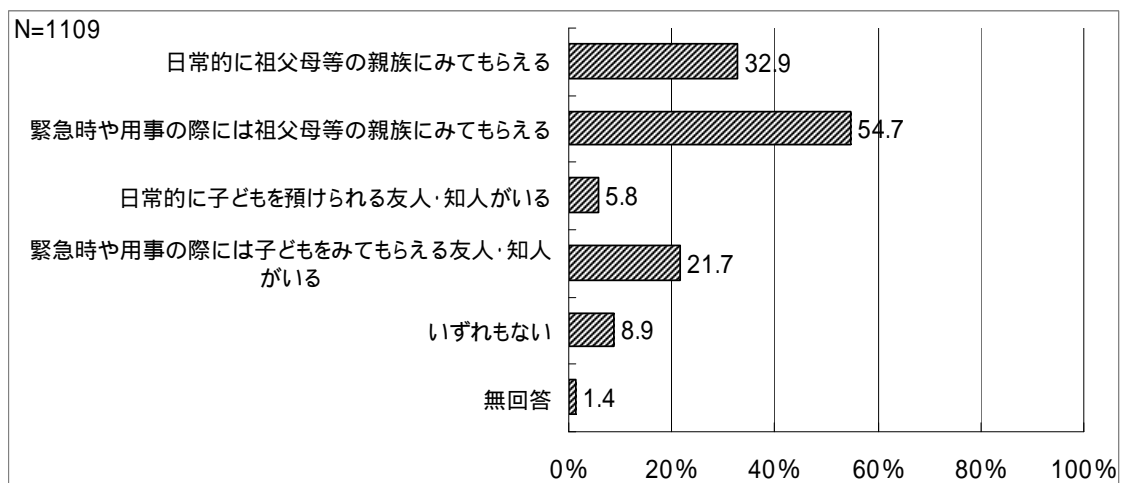
問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、最も影響すると思われる環境すべてにつけてください。

「家庭」との回答が97%と最も高く、次いで「学校」が93.1%、「地域」が37.8%と続いています。



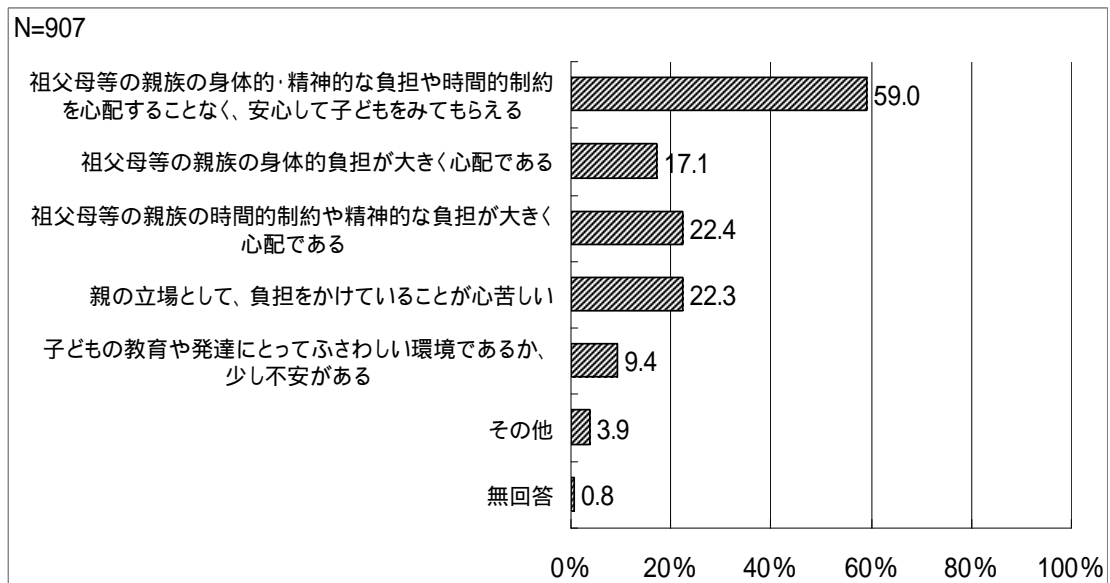
問9 日頃、お子さんをみてもらえる人はいますか。

「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」との回答が54.7%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が32.9%、「緊急時や用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が21.7%と続いています。



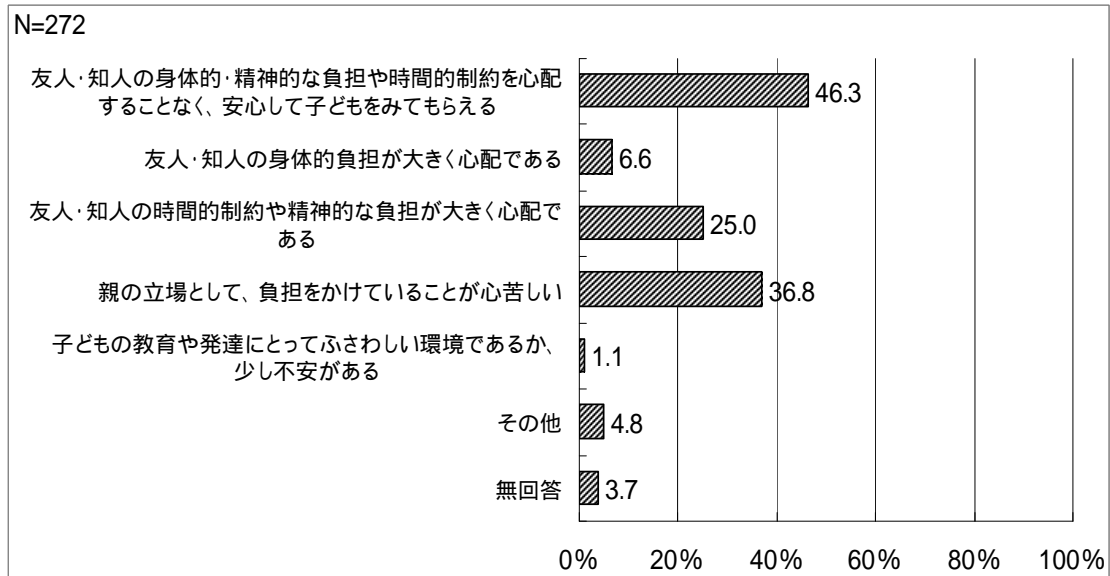
問9 - 1 祖父母等の親族にみてもらえる状況についてお聞きします。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」との回答が 59.0%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 22.4%、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 22.3%と続いています。



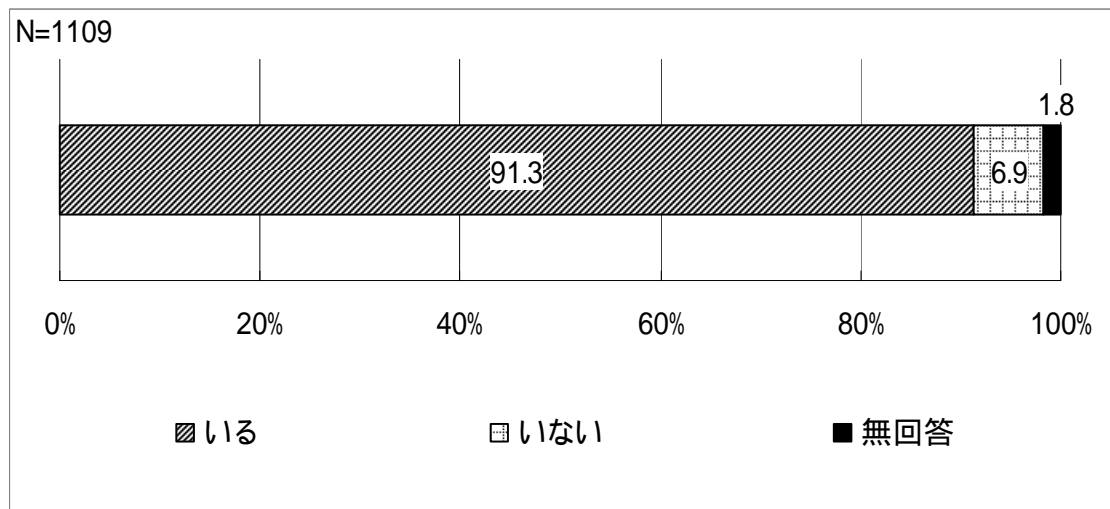
問9 - 2 友人や知人にみてもらえる状況についてお聞きします。

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」との回答が46.3%と最も高く、次いで「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が36.8%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が25.0%と続いています。



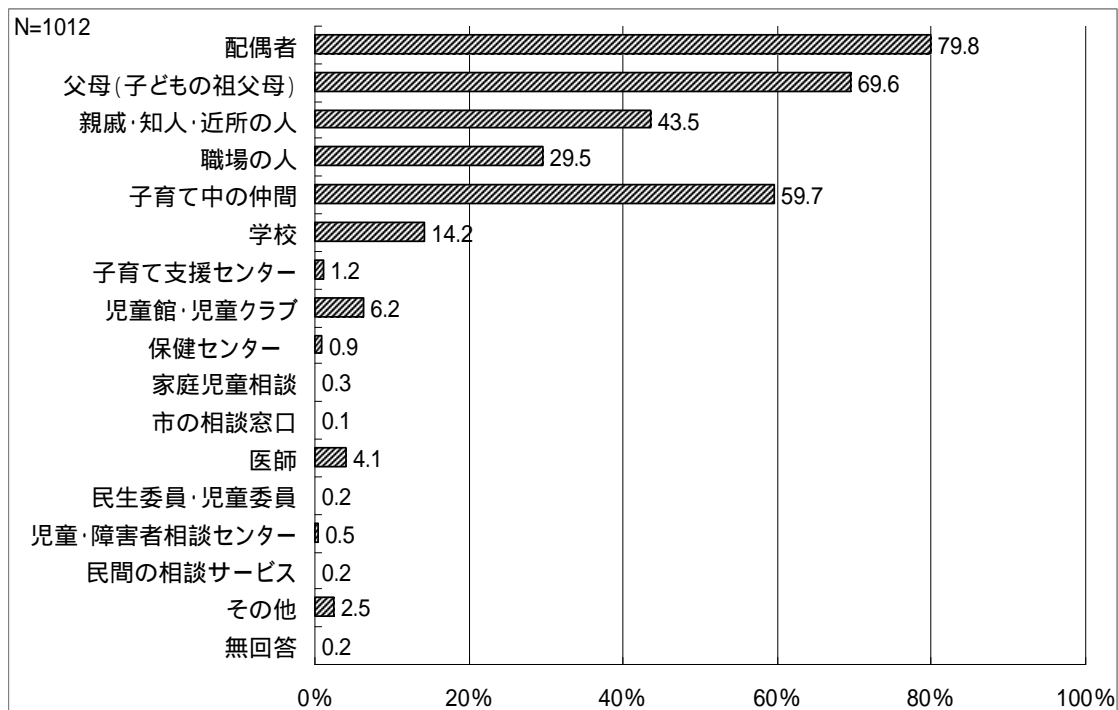
問10 あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか。

「いる」との回答が91.3%と最も高く、次いで「いない」が6.9%と続いています。



問10-1 相談先は、次のどちらですか。

「配偶者」との回答が79.8%と最も高く、次いで「父母(子どもの祖父母)」が69.6%、「子育て中の仲間」が59.7%と続いています。

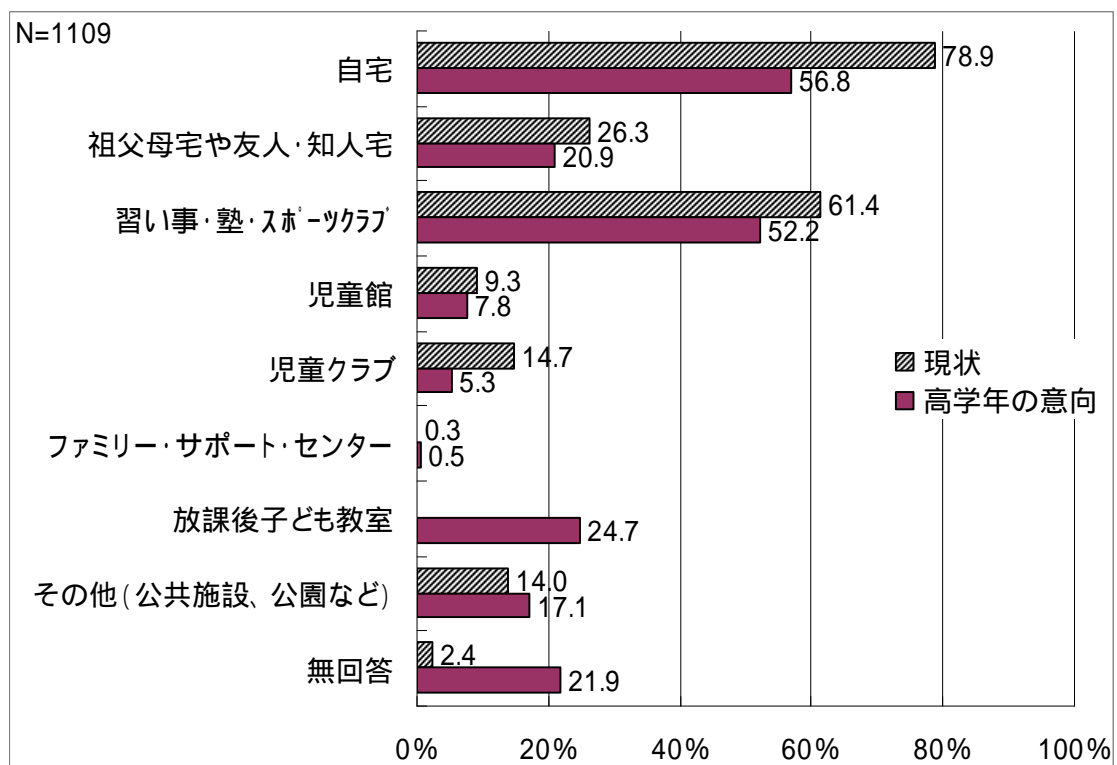


問1 1 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間を主にどのような場所で過ごしていますか。

問1 2 小学校高学年（4～6年生）の放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方として、主に望む場所はどこですか。

現状は、「自宅」との回答が78.9%と最も高く、次いで「習い事・塾・スポーツクラブ」が61.4%、「祖父母宅や友人・知人宅」が26.3%と続いており、「児童クラブ」は14.7%となっています。

高学年になってからの意向は、「自宅」との回答が56.8%と最も高く、次いで「習い事・塾・スポーツクラブ」が52.2%、「放課後子ども教室」が24.7%と続いており、「児童クラブ」は5.3%となっています。



週当たり日数 平均

【現状】

自宅	3日
祖父母宅や友人・知人宅	2日
習い事・塾・スポーツクラブ	2日
児童館	2日
児童クラブ	4日
ファミリー・サポート・センター	2日
その他（公共施設、公園など）	2日

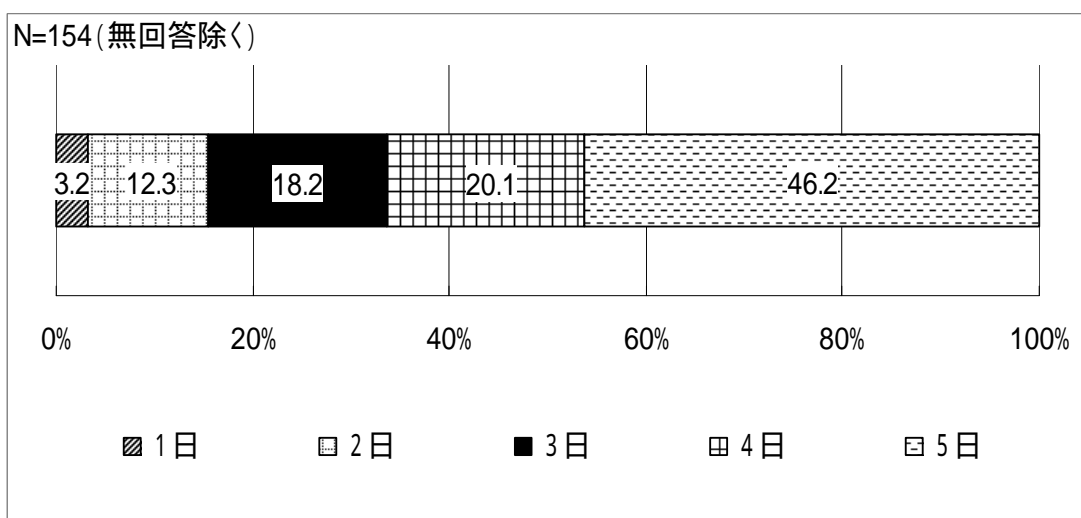
【高学年になってから】

自宅	2日
祖父母宅や友人・知人宅	2日
習い事・塾・スポーツクラブ	2日
児童館	2日
児童クラブ	4日
ファミリー・サポート・センター	2日
放課後子ども教室	2日
その他（公共施設、公園など）	2日

児童クラブ 週当たり希望日数

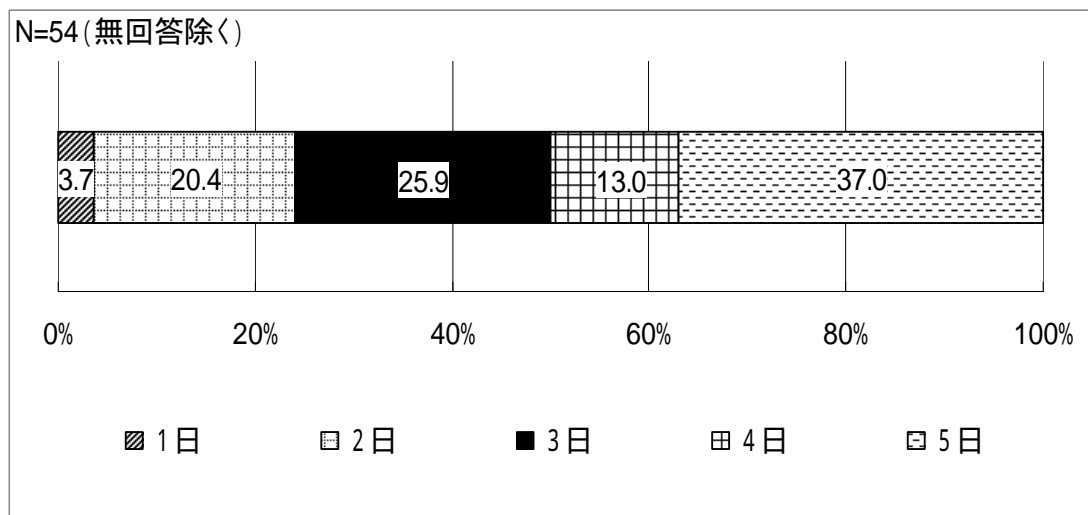
【現状】

「5日」との回答が46.2%と最も高く、次いで「4日」が20.1%、「3日」が18.2%と続いています。



【高学年になってから】

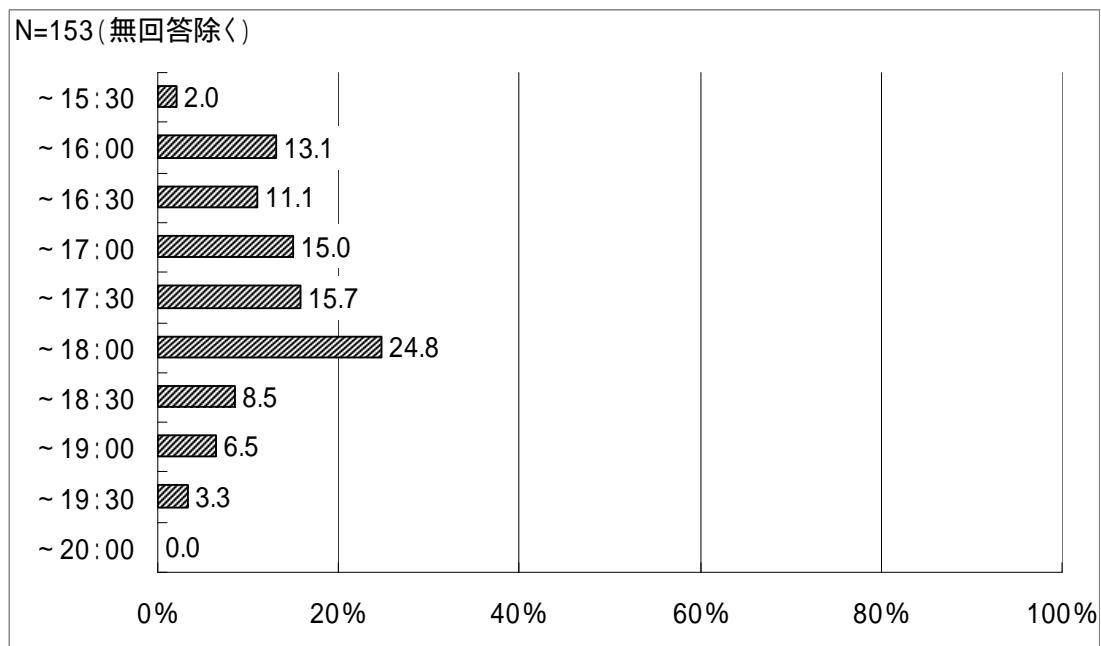
「5日」との回答が37.0%と最も高く、次いで「3日」が25.9%、「2日」が20.4%と続いています。



児童クラブ 利用時刻

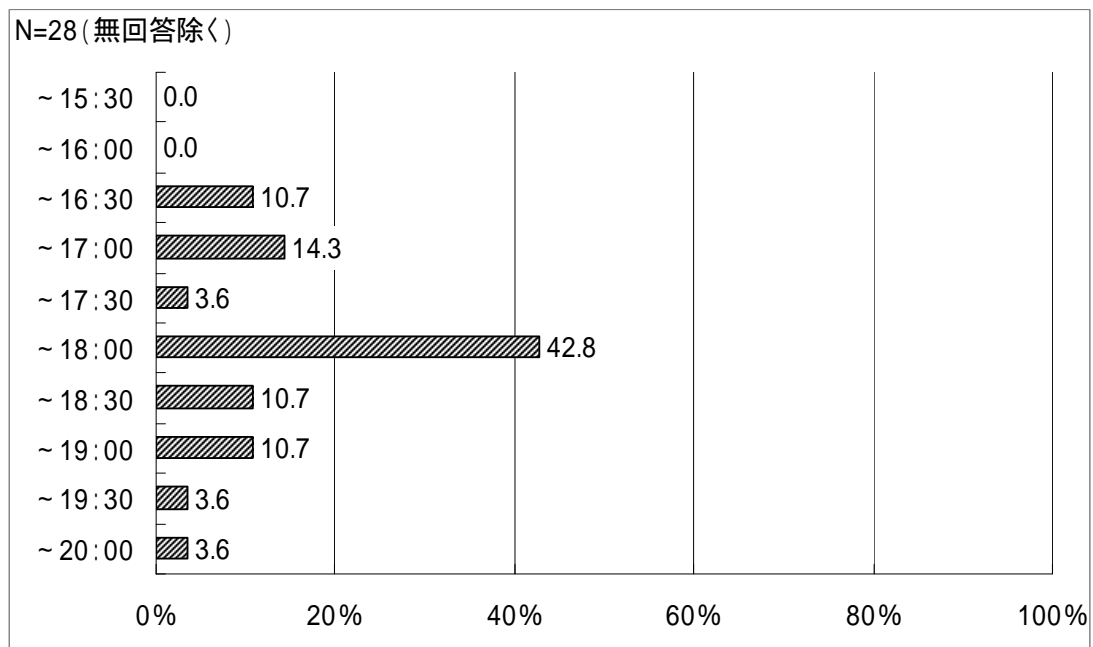
【現状】

「～18:00」との回答が24.8%と最も高く、次いで「～17:30」が15.7%、「～17:00」が15.0%と続いています。



【高学年になってから】

「～18:00」との回答が42.8%と最も高く、次いで「～17:00」が14.3%、「～16:30」
「～18:30」、「～19:00」が10.7%と続いています。

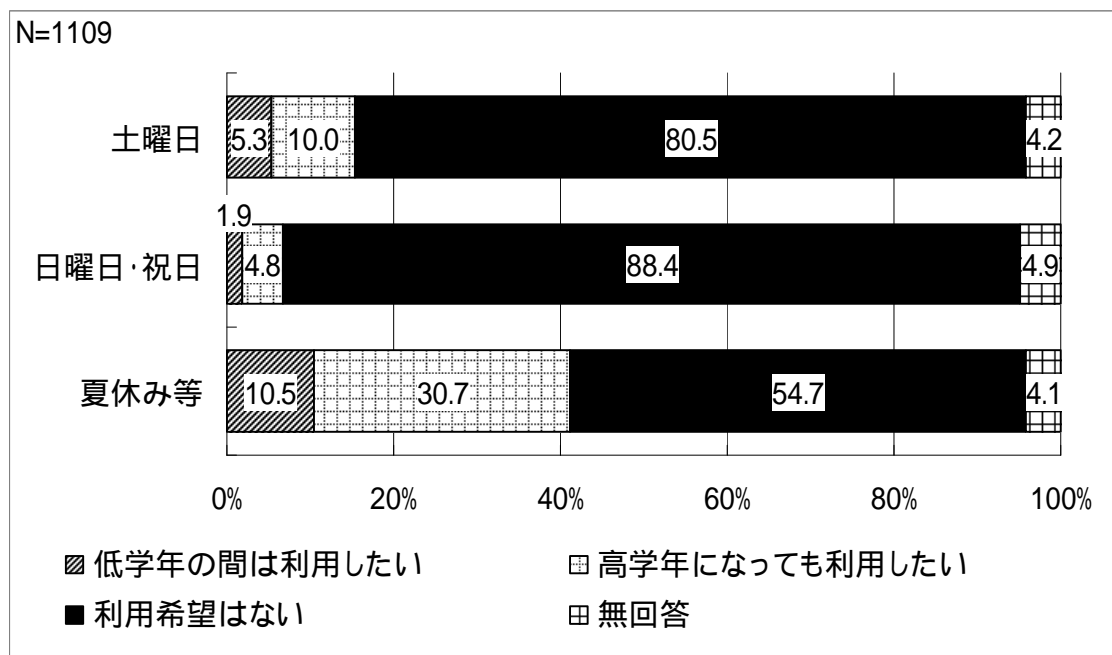


問13 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期休暇中に、児童クラブの利用希望がありますか。

土曜日は、「利用希望はない」との回答が80.5%と最も高く、次いで「高学年になっても利用したい」が10.0%、「低学年の間は利用したい」が5.3%と続いています。

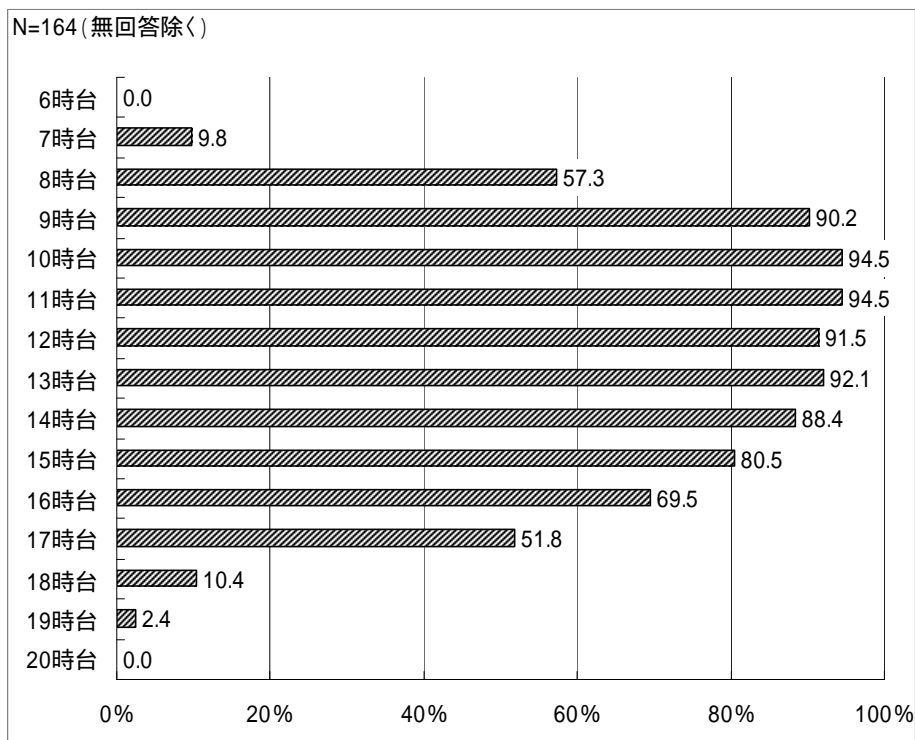
日曜日・祝日は、「利用希望はない」との回答が88.4%と最も高く、次いで「高学年になっても利用したい」が4.8%、「低学年の間は利用したい」が1.9%と続いています。

夏休み等は、「利用希望はない」との回答が54.7%と最も高く、次いで「高学年になっても利用したい」が30.7%、「低学年の間は利用したい」が10.5%と続いています。



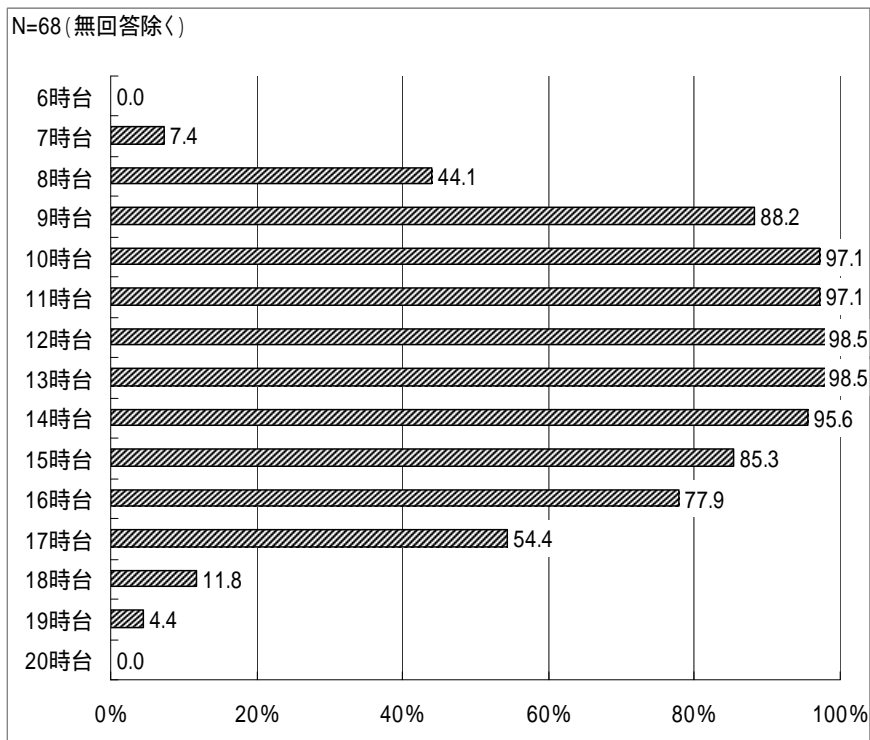
(1) 土曜日 利用したい時間帯

「 9 時台 」 から 「 15 時台 」 が 80% 以上で、「 17 時台 」 まで 50% 以上となっています。



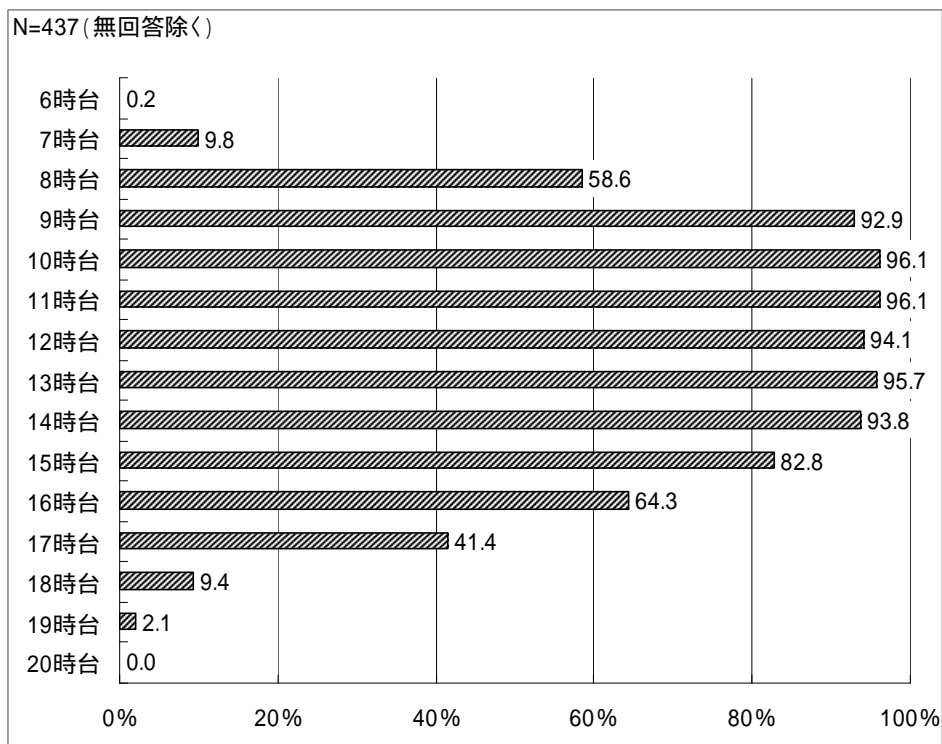
(2) 日曜日・祝日 利用したい時間帯

「 9 時台 」 から 「 15 時台 」 が 80% 以上で、「 17 時台 」 まで 50% 以上となっています。



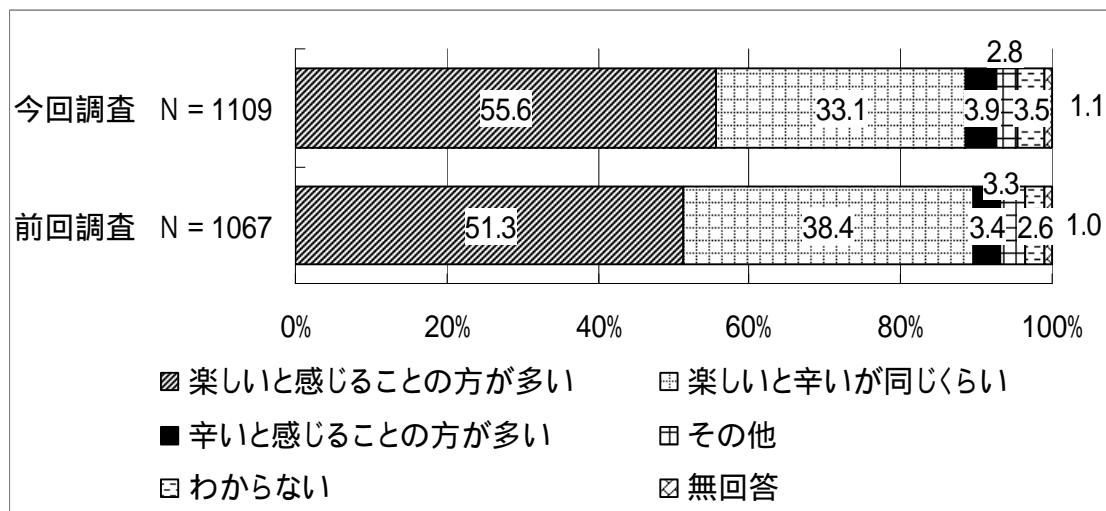
(3) 夏休み・冬休みなどの長期休暇中 利用したい時間帯

「9時台」から「15時台」が80%以上で、「17時台」まで30%以上となっています。



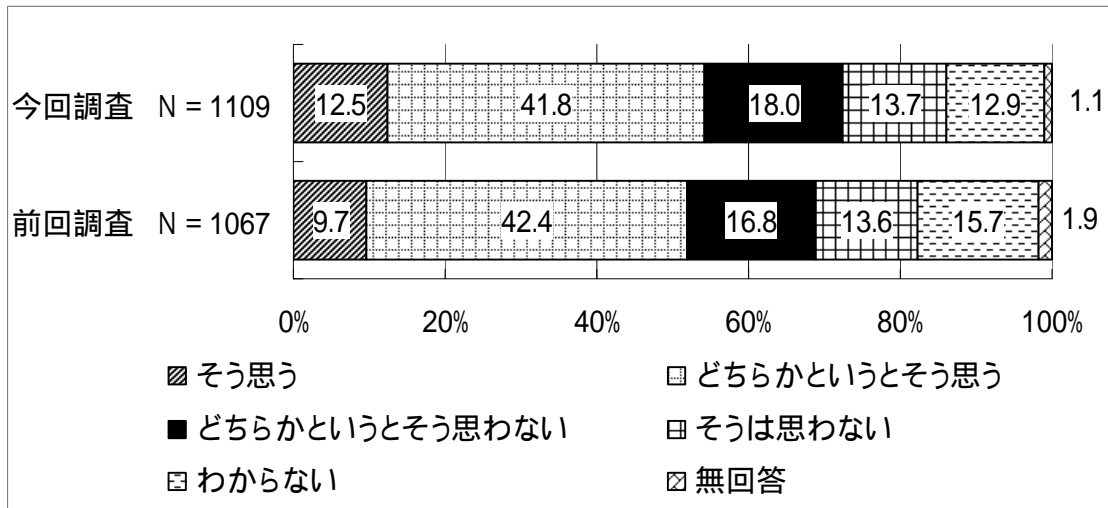
問14 あなたは、子育てをどのように感じる事が多いですか。

「楽しいと感じることの方が多し」との回答が55.6%と最も高く、次いで「楽しいと辛いと同じくらい」が33.1%、「辛いと感じることの方が多し」が3.9%と続いており、前回調査から大きな変化は見られません。



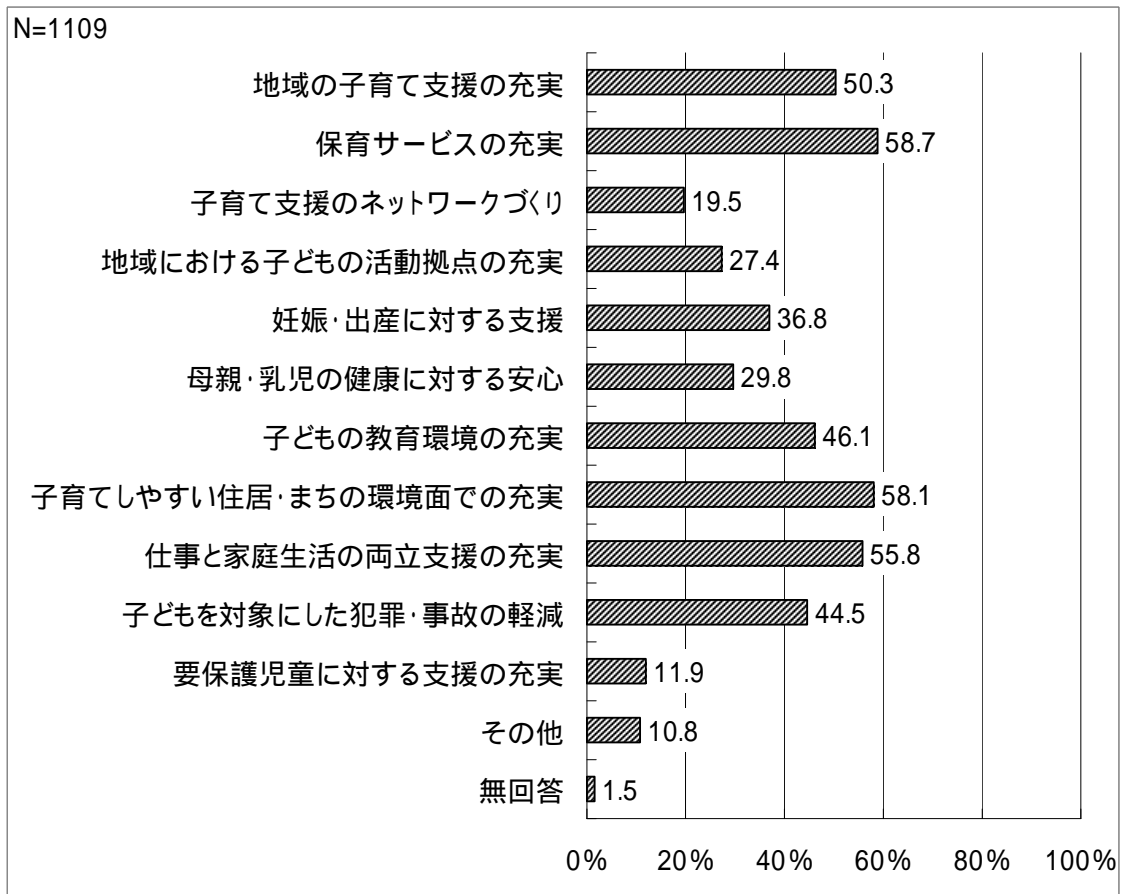
問 1 5 北名古屋市は、宛名のお子さんの子育てをしやすい市だと思いますか。

「どちらかというと思う」との回答が 41.8%と最も高く、次いで「どちらかという
とそう思わない」が 18%、「そうは思わない」が 13.7%と続いており、前回調査から大きな
変化は見られません。



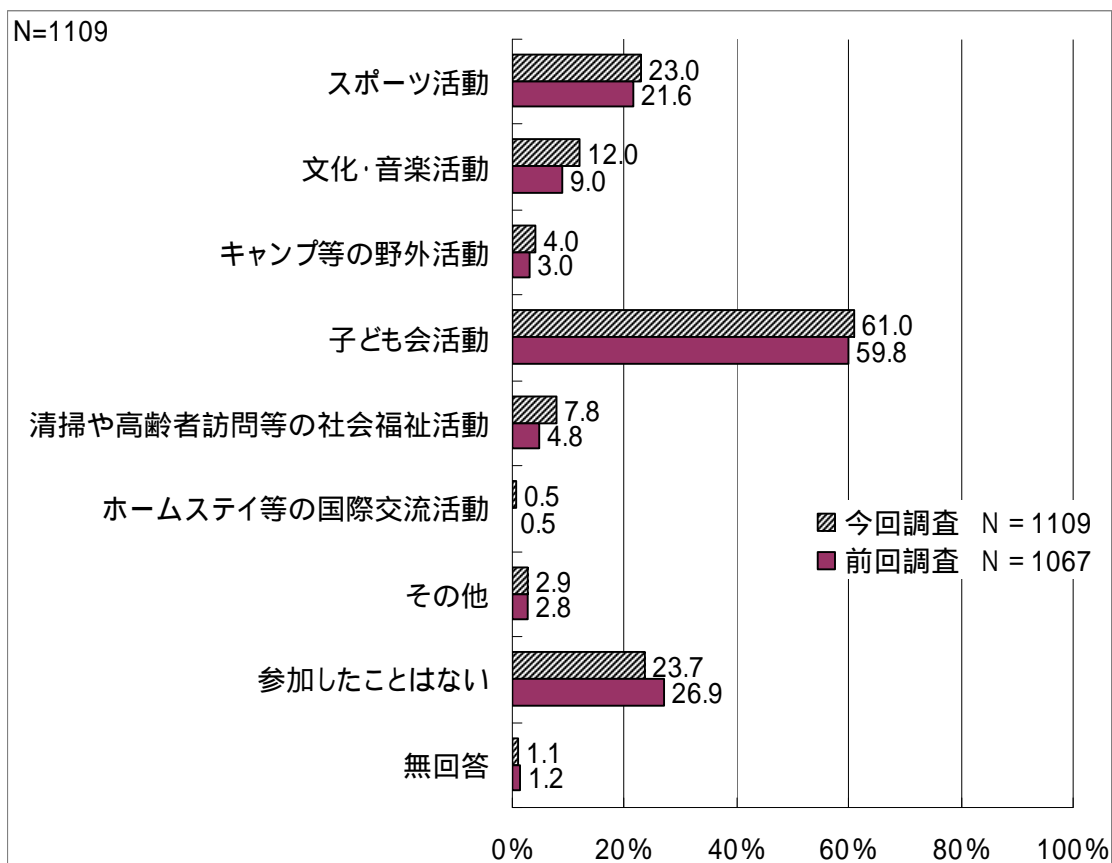
問16 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。

「保育サービスの充実」との回答が58.7%と最も高く、次いで「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が58.1%、「仕事と家庭生活の両立支援の充実」が55.8%と続いています。



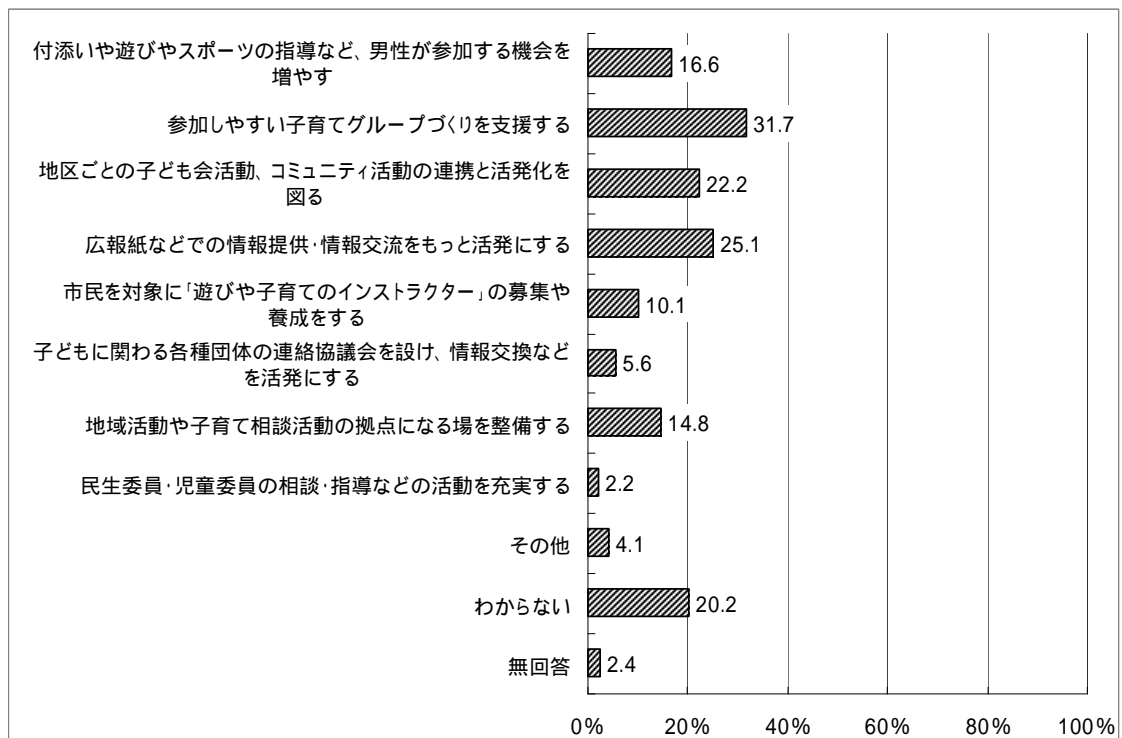
問 17 宛名のお子さんは、地域的なグループ活動へ参加したことがありますか。

「子ども会活動」との回答が 61.0%と最も高く、次いで「参加したことはない」が 23.7%、「スポーツ活動」が 23%と続いており、「子ども会活動」の回答率等に前回調査から大きな変化は見られません。



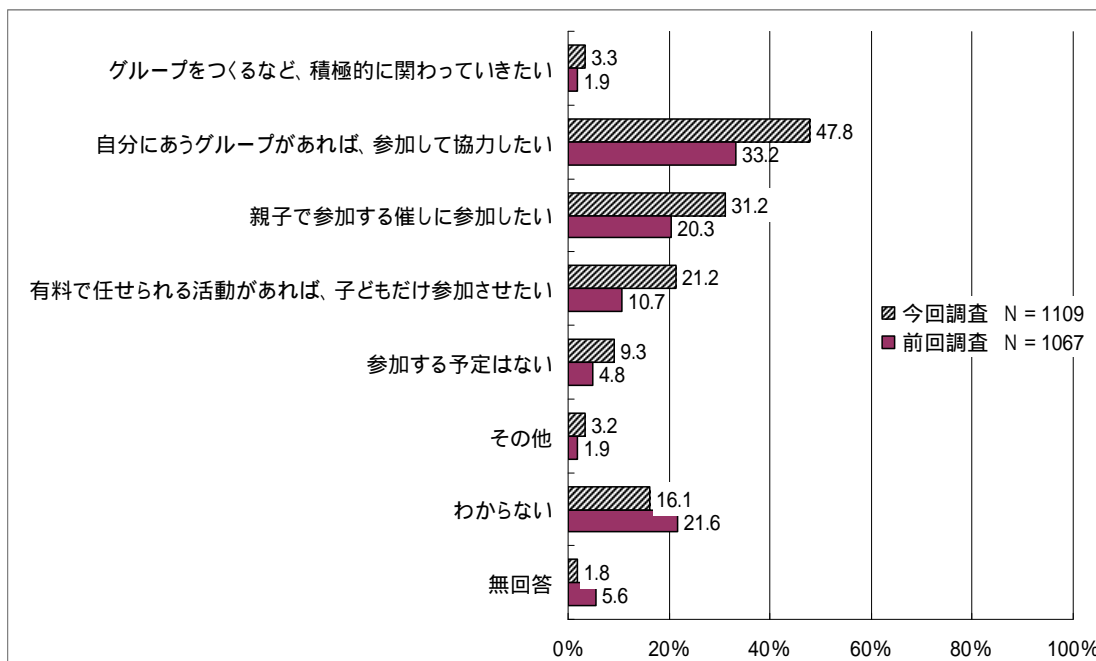
問18 宛名のお子さんに関わる地域的なグループ活動をさらに活発にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

「参加しやすい子育てグループづくりを支援する」との回答が31.7%と最も高く、次いで「広報紙などでの情報提供・情報交流をもっと活発にする」が25.1%、「地区ごとの子ども会活動、コミュニティ活動の連携と活発化を図る」が22.2%と続いています。



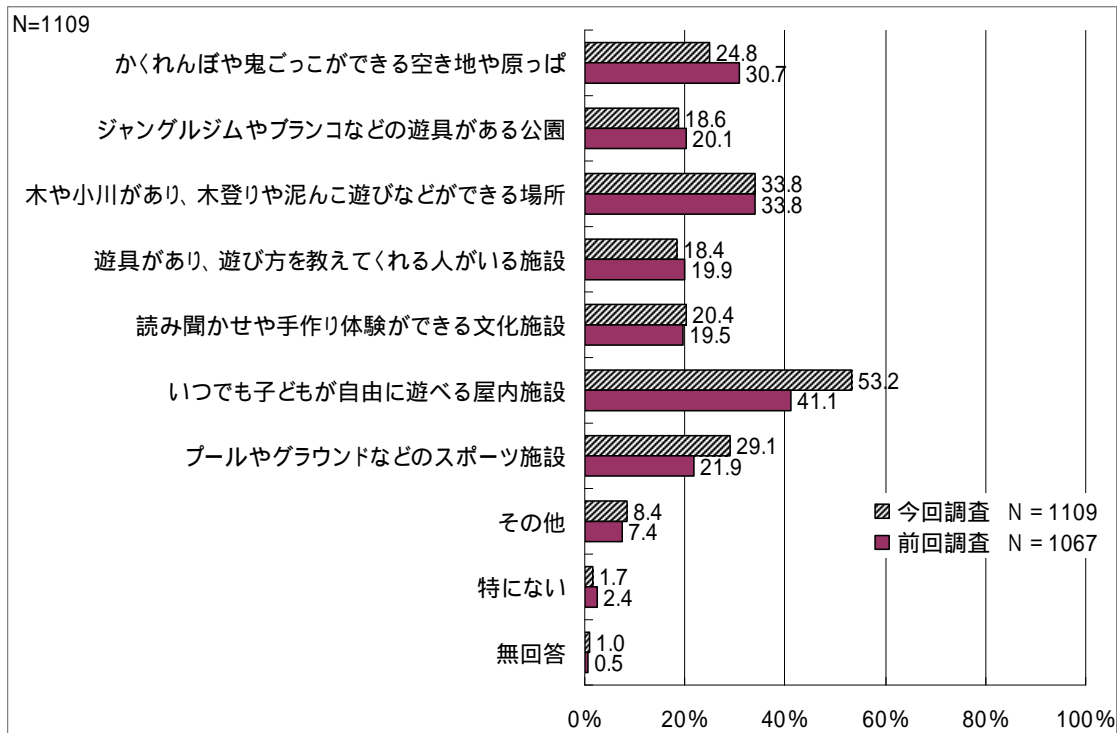
問19 あなたは、今後、宛名のお子さんに関わる自主的な地域活動に参加するつもりはありますか。

「自分にあうグループがあれば、参加して協力したい」との回答が47.8%と最も高く、次いで「親子で参加する催しに参加したい」が31.2%、「有料で任せられる活動があれば、子どもだけ参加させたい」が21.2%と続いており、各回答率は前回調査から上昇しています。



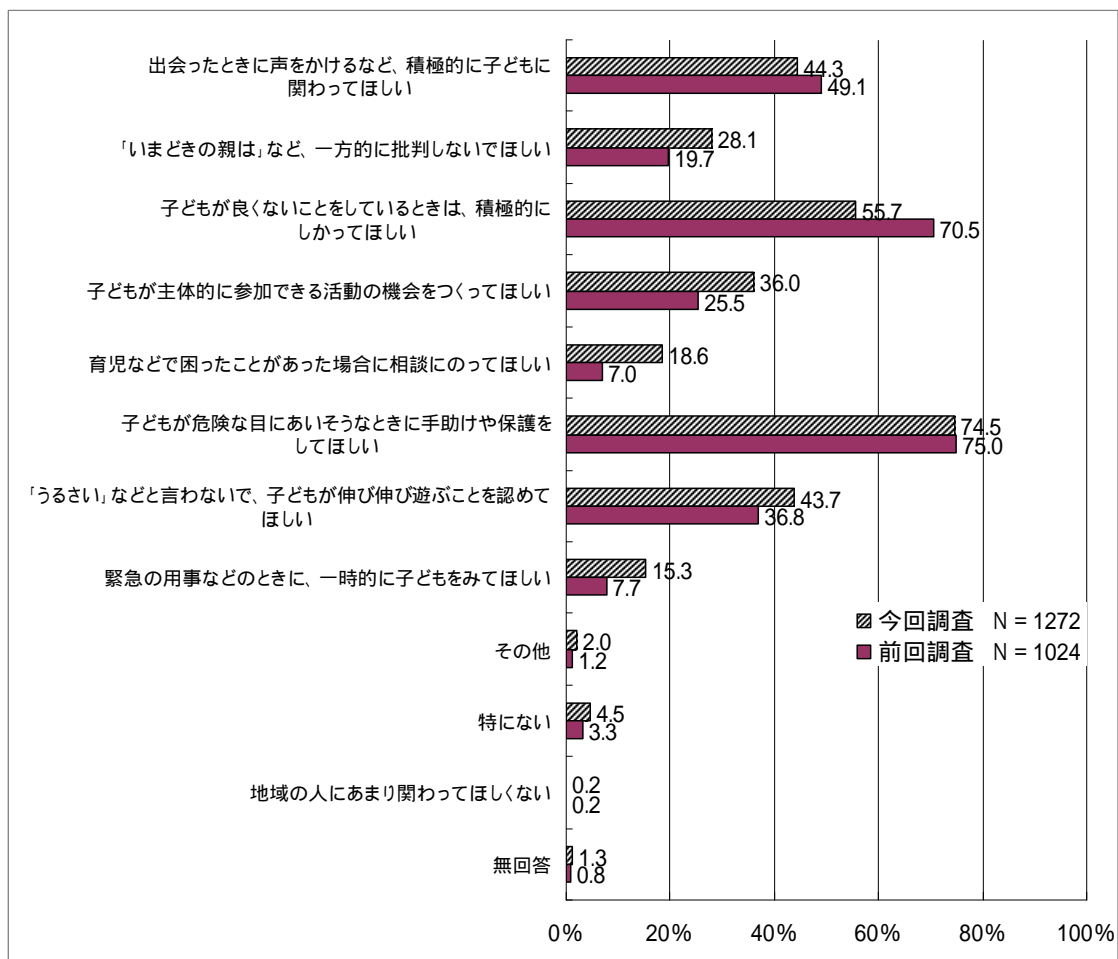
問20 宛名のお子さんのために、近くにあったらよいと思うものは、どんなところですか。

「いつでも子どもが自由に遊べる屋内施設」との回答が 53.2%と最も高く、回答率は前回調査から上昇しています。次いで「木や小川があり、木登りや泥んこ遊びなどができる場所」が 33.8%、「プールやグラウンドなどのスポーツ施設」が 29.1%と続いています。



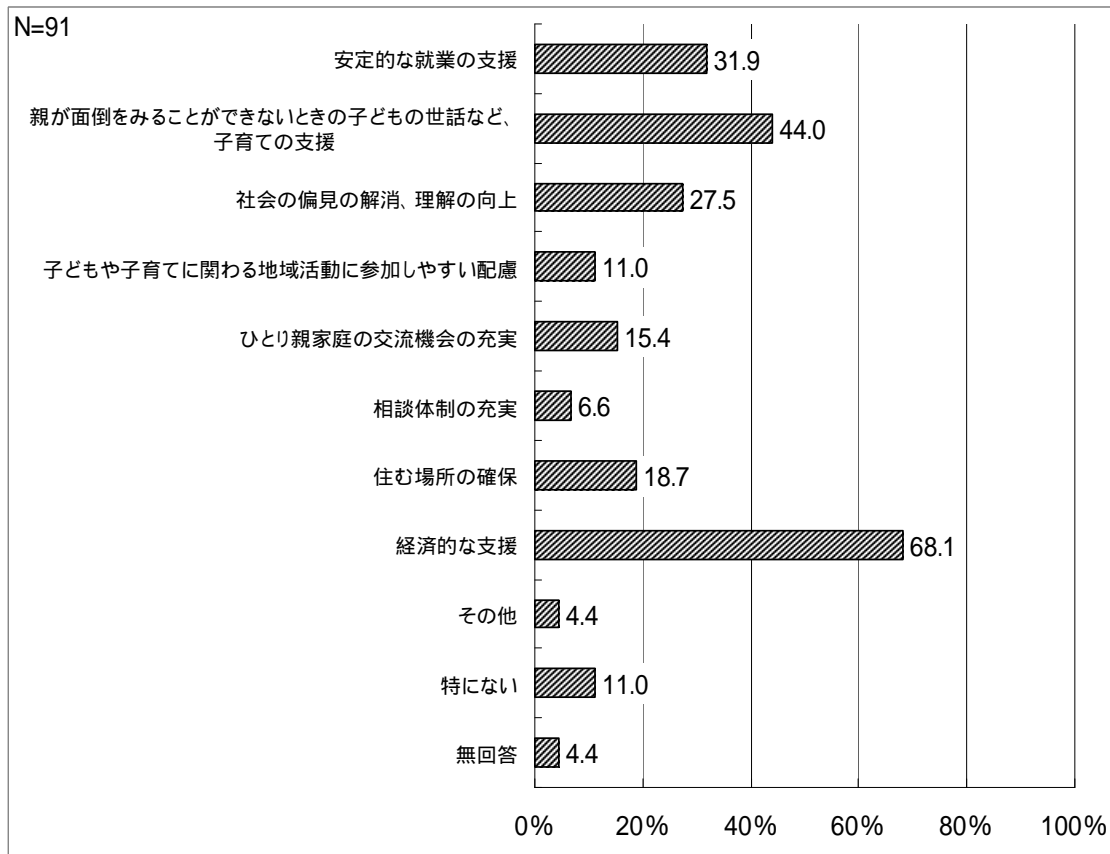
問 2 1 宛名のお子さんを子育てするうえで、地域の人に望みたいことはありますか。

「子どもが危険な目にあいそうなときに手助けや保護をしてほしい」との回答が 75.4%と最も高く、次いで「子どもが良くないことをしているときは、積極的にしかってほしい」が 67.5%、「出会ったときに声をかけるなど、積極的に子どもに関わってほしい」が 48.1%と続いています。



問22 《ひとり親家庭の方》宛名のお子さんを育てるために必要な支援は、次のうちどれでしょうか。

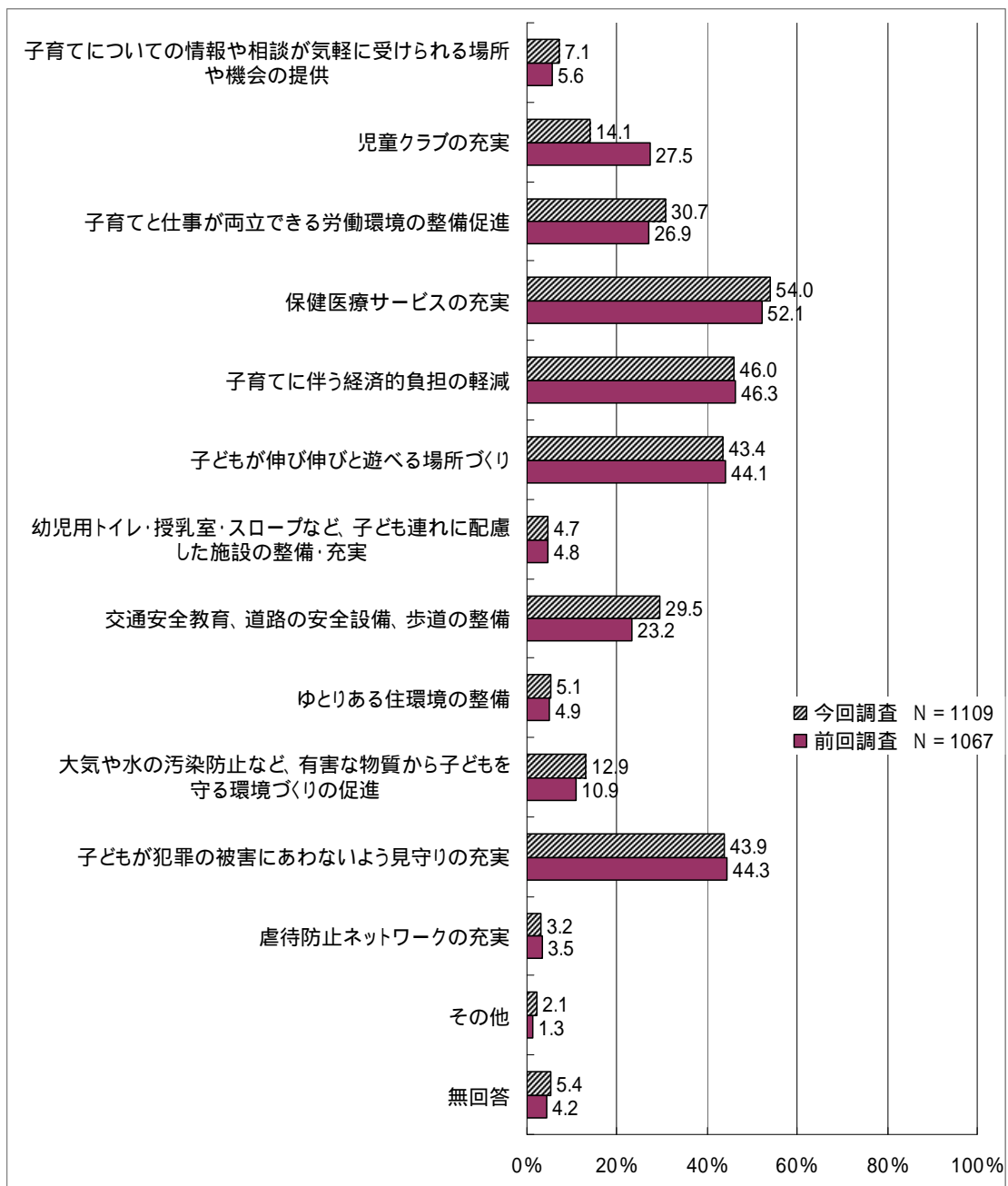
「経済的な支援」との回答が68.1%と最も高く、次いで「親が面倒をみるできないときの子どもの世話など、子育ての支援」が44%、「安定的な就業の支援」が31.9%と続いています。



問23 あなたは、宛名のお子さんを健やかに育てるために、今後、市・県・国にどのようなことを期待しますか。

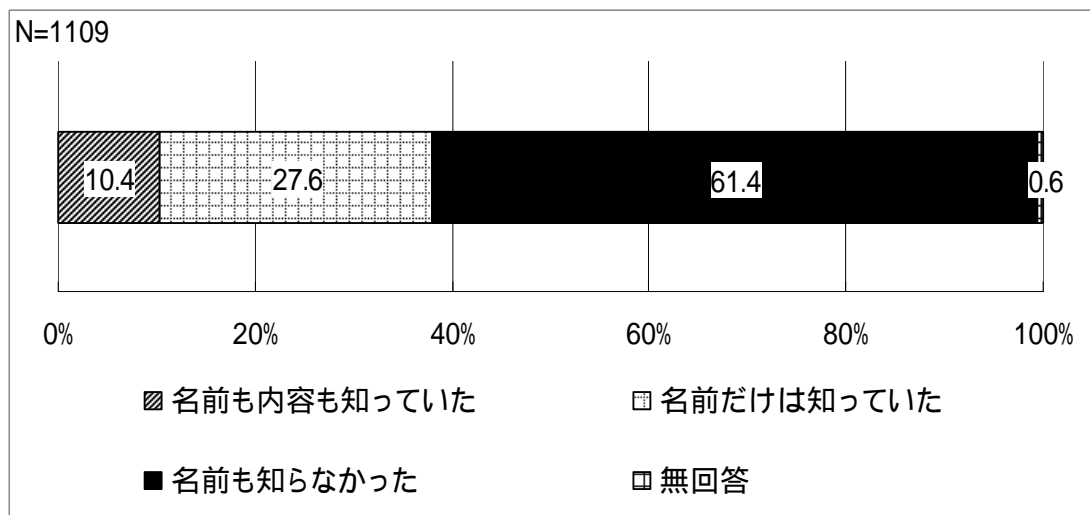
前回調査と同様に、「保健医療サービスの充実」との回答が54.0%と最も高く、次いで「子育てに伴う経済的負担の軽減」が46.0%、「子どもが犯罪の被害にあわないよう見守りの充実」が43.9%と続いています。

前回調査と比べて、『児童クラブの充実』の回答率が低下しています。



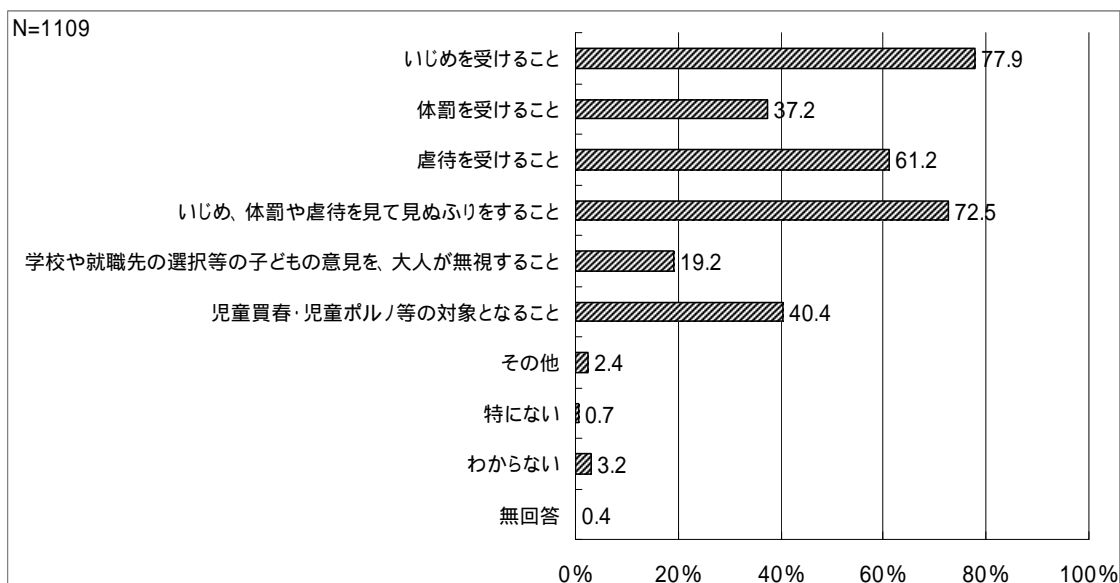
問 2 4 国連で採択された「児童の権利に関する条約」(子どもの権利条約)をご存知ですか。

「名前も知らなかった」との回答が 61.4%と最も高く、次いで「名前だけは知っていた」が 27.6%、「名前も内容も知っていた」が 10.4%と続いています。



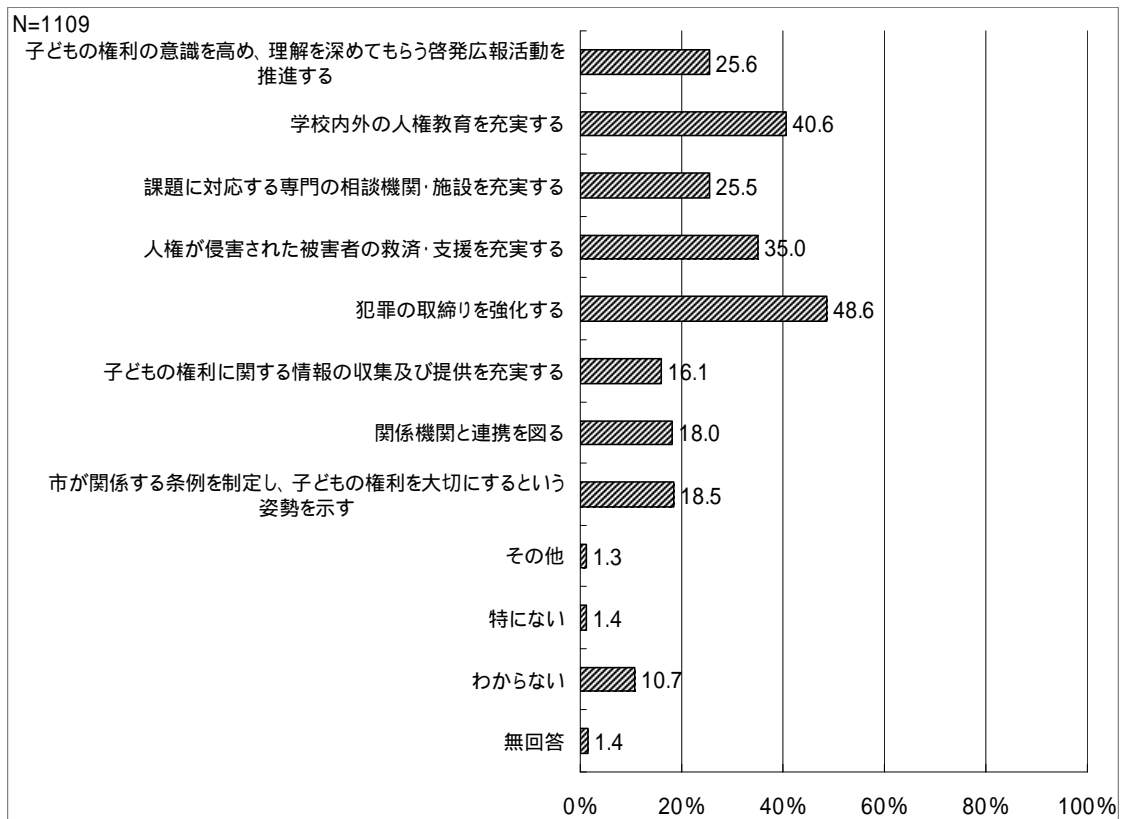
問 2 5 あなたは、我が国の子ども全般に関して、どのような人権問題が現在起きていると思いますか。

「いじめを受けること」との回答が 77.9%と最も高く、次いで「いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをする事」が 72.5%、「虐待を受けること」が 61.2%と続いています。



問26 あなたは、子どもの権利擁護に関して、市や関係者はどのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。

「犯罪の取締りを強化する」との回答が48.6%と最も高く、次いで「学校内外の人権教育を充実する」が40.6%、「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」が35.0%と続いています。



(3) 自由意見まとめ

【就学前児童の保護者】

子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。【問 18 その他 ()】

意見の要約(上位10は主な意見を掲載)	件数
医療費助成対象年齢の拡大	92
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 小学校以上の医療費の無料化 ▶ 北名古屋市は小学生から医療控除がないと聞いていますが、他の市町村のように中学卒業まで対象にしてほしいです。 ▶ 子ども医療費免除の年齢を上げる。 	
広い公園、小さい子どもが遊べる公園、遊べる場の充実	14
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 子どもが遊べる広い公園をもっと増やしてほしい。 ▶ 思い切り好きなことをできるような広い公園が近所にほしいです(特にボール遊びができるところが近くにありません)。 ▶ 小さい子どもでも遊べる公園(芝生ありなど) 	
保育サービスの充実(休日保育、一時保育、待機児童の解消等)	8
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 休日にサービス業のため、保育してもらえたらって思う。 ▶ 障害児に対する知識の向上と支援の充実。保育園から就学に際して連携がされなさすぎ。 ▶ 待機児童に対する対策 	
幼稚園の整備、費用補助	4
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 幼稚園に毎年行列ができています。並ばないと入れない。 ▶ 幼稚園代の補助 ▶ 幼稚園の数を増やしてほしい。 	
通学路、歩道の整備等の安全対策、防犯対策	3
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 通学路の安全 ▶ 山之腰周辺の道路は自動車の通行量が多いにもかかわらず、歩道が整備されていない。 ▶ 学校の中に、普段から保護者・近隣住民など出入りし見守る。 	
その他(親たちへのマナー教育、児童クラブの4年生以降の受け入れ、多子世帯への援助等)	11
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 子育てする親(大人)たちの一般常識・マナーの教育 ▶ 小学4年～6年も児童クラブ等でみてほしい。 ▶ 援助(特に子だくさんの所に) 	

仕事と子育ての両立、保育サービス、そのほか子育て全般に関して、自由に意見をお書きください。【問 36】

意見の要約（上位 10 は主な意見を掲載）	件数
医療費助成対象年齢の拡大	182
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 子どもの医療費を中学生までは無料にしてほしい！ ▶ 近隣の市町村(名古屋、岩倉、豊山、清須)で子ども医療費が中学生まで全額助成ではないのは、北名古屋市だけです。 ▶ 小学6年生まで医療費を無料にしてほしいです。小学校へ上がったからの医療費の申告型をなんとかしてほしいです。 	
広い公園、小さい子どもが遊べる公園(遊具のある公園等)、遊べる場の充実	61
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 危ないのは、わかりますが、ボール遊びができる公園が少なすぎ、結局、子どもたちは外で遊ぶ事に対して成長とともにあきてきます。その結果、室内でゲームが主流となり、親としては、将来不安です。 ▶ 自宅近くに子どもたちが楽しめる公園があるにはあるが、遊具の種類が少なく、夏は日陰もないため、一切利用する人がいません。年中利用できそうな、のびのび楽しめる大きな公園がほしいです。人、子どもが集まれば、自然と親同士も会話し、つながりも持てると思います。人がいなさすぎです。 ▶ 夏は暑すぎて公園で遊べないので、屋内で遊べる無料の施設をつくってほしい。 	
保育園の入園基準の見直し	39
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 6か月～2歳児を認可保育園に預ける場合の保護者の労働日数、労働時間をもう少し少なくても預けられるようにしてもらえたらと思います。 ▶ 親が働いているとか、いないとかではなくて、保育なのか幼児教育なのかで保育園、幼稚園どちらに入れるのか選びたい。働いていなくても保育園に入れたい。 ▶ 求職中に保育園へ入園希望を出したが就労証明書が必要と言われ入園できず託児所へ預けて仕事を探して就労できるようになりました。子どもが預けられなければ仕事に就く事ができないのに本末転倒な気がしました。求職中の人に対して一時的に預かってくれるような柔軟な対応をしてくれたら良いのにと思いました。 	
幼稚園の改善・充実(園数の増加、預かり保育の拡大、保護者への助成の拡大、願書提出方法の見直し等)	27
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 幼稚園の申し込みの数日並ばなければならないのは、幼稚園が足りないからではないでしょうか？仕事が休めない人、手伝ってもらえない人は幼稚園に入園できないのは不平等だと思います。 ▶ 幼稚園の願書提出方法を改善してほしい。何日も前から徹夜で並ぶというのは理解できない。改善が無理なら、幼稚園を増設してほしい。 ▶ 私立幼稚園の助成金(保護者に対する)を増やしてほしい。 	

保育園の数・定員(3歳未満の枠等)の拡大	26
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 仕事を始めたくても、保育園の申し込みの段階で保育園に空きがないと言われ、仕事の面接では「子どもを保育園に入れて下さい」と面接の前に言われてしまうので、採用されない。 ▶ 2歳児以下の子どもをもつ親として仕事をするのに当たり、保育園へ入園するのがすぐにできず、認可外保育への申し込みもすぐできず、困ったことがあります。どこもいっぱい、一時保育とファミリー・サポート・セントな - などなんとかしようと思っていたところ、なんとか ▶ 認可外保育へ3か月通わせてその後保育園へ入園ができましたが、そういう仕事をする母親への支援をもう少し考えていただきたい。 ▶ 0～3歳児の保育園の定員の人数を増やしていただきたいです。働いている方を優先にするのは最もだと思います。しかし、これから働きに出たい親には定員が少なすぎます。職員さんの人数を増やすなど難しいかと思いますが、どうか増やしていただけるとうれしいです。私は利用料を上げても、定員が増えたらいいなと思います。 	
子育て支援センターへの要望等(開所時間の拡大、土日利用、感染症対策、就園児の利用等)	23
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 支援センターなどは15:00で終了。夕方遊ぶ所が少ない(ドームの支援センターを除く)。なので、夕方17:30～18:00くらいまで遊べる施設があっても良いかな、と思います。また、土日についても同様です。 ▶ 普段、子育て支援センターを利用させていただいているのですが、どこもお昼12時に一旦帰宅しなければいけません。姉が住む四日市市の児童館では、お昼にお弁当を持ち込んで、食べるスペース(部屋)があり、12時に一旦おもちゃを片付けて、お弁当を食べ、また遊ぶことができます。一旦家に帰ってしまうと、もう一度行く気にはなれず、どうしても午前か午後どちらかの利用になってしまいます。 ▶ 支援センターの利用できる年齢をもう少し上げてほしい。夏休みなど長期の休みの時、幼稚園児と下の子を一緒に連れて遊びに行けるのが児童館の方になってしまい、児童館だと小学生もいたりするので遊び方が異なるため、あまり支援センターほど安心して連れていけない。 	
通学路、歩道の整備等の安全対策、防犯対策	16
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 北名古屋市は全体的に道路が見通しの悪い所や歩道のない所など危険な道路が多く、子どもを連れている時や自分が運転するときなど、怖いです。 ▶ 子育ての心配事は犯罪の被害にあうのが1番心配です。子どもが大きくなると心配なのが交通事故です。 ▶ 北名古屋市はまだ水路がむき出しになっている所が多いです。早いうちにフタを付けて少しでも歩道を広くし、また水路での事故が起こる前に整備していただきたいです。 	

一時保育の充実(定員の拡大、リフレッシュ目的でも利用できるように等)	15
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 月に数回リフレッシュ目的で未就園児を預かってくれるサービスをしてほしい(有料で)。 ▶ 保育園の一時保育の枠をもっと増やしてほしい(欲しかった)。病院に行きたくても1日に2枠しかないため、断られることが多く、ファミリー・サポート・センターも2人預けると短時間でも高額になるため利用をためらう。祖父母が遠方のため疲れた時に利用可なりフレッシュ保育があればもう少し子育てにも余裕があったのではないかと思う。 ▶ 毎日毎日、息がつまりそうです。私用リフレッシュ目的の保育園の一時預かりをみとめて下さい。 	
健診時の対応改善(発達の遅れに関する指摘等の対応)、子育て支援の充実	14
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 乳幼児健診での保健師さんの対応の件なのですが…。保健師さんによっては、とてもお話しやすい方と、逆に、必要以上に言い方がきつく、不安をあおるような言い方をされる方がいて、私だけでなく、私のまわりの友人たちも、正直、不愉快な思いをしたことがあります。子育て中の母親は、各々に一生懸命に育児をしている中で、保健師さんからの一言、一言を重く受けとめてしまいますし、軽々しく不安に思うようなことを口にされると、とても悩んでしまうものです ▶ うちの子は他の子より成長が少し遅かった(言葉、立ったり、歩いたり)ですが、私は何も気にしていませんでした。ただ健診のたびに保健師さんからできない事を指摘され「何か心配なら個別相談があります」と言われ、その言葉で心配になります。できない事しか指摘しない保健師さんの個別相談に行く気になれず行った事はありませんが、子どものできる事も見てほしいと思いました。 ▶ 6か月～3才児健診で、発達の遅れを指摘する際の配慮が不十分。保健士によっても判断のバラつきがある。ただ漠然と「発達に遅れがある」と伝えるだけでなく、親のせいではないことや、支援の仕方、発達障害についての正しい知識やケアの必要性について、書面を渡すなど(りんご教室に案内された人などに対して)きちんと説明があれば、多くの親たちが思い詰めることも少なくなると思う。 	
仕事と子育ての両立支援(再就職支援等)	13
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 子どもが小さい時は病気など多いので仕事をするにも他に迷惑をかけるのでは、と働くことができないし、子どもの成長を見たいというのもあり現在仕事をしていません。多分、同様の人もたくさんいると思います。子どもの手をはなれたところに再就職できるような支援やサービスがあるといいなと思います。 ▶ 子育てをしながら働くことのできる環境づくり。(時短勤務など企業指導、待機児童をなくす)。再就職支援 ▶ パートなので妊娠するとやめなくてはいけなかった。正規職員には手厚い育休があるのにパートは切り捨て。こういった労働環境を見直さなければ、両立は難しい。 	
児童クラブの4年生以降の受け入れ	12
保育料が高い等	11

広報・情報提供の充実	10
子育て家庭の経済的負担の軽減	9
放課後子ども教室の実施	8
延長保育の拡大	7
休日保育の充実	6
親子同士の交流の場の充実	5
こども園の整備	5
病児保育の充実(定員の拡大等)	5
児童クラブのプログラムの充実(教育、習い事的なもの等)	4
気軽に相談できる場やスペース、育児相談等の機会の増加	3
ファミリー・サポート・センターの改善(利用料、病児の預かり等)	3
子育て家庭と地域とのつながりの機会の提供	2
事業所内保育施設の充実	2
障害児への支援の充実(意見を聞く機会等の充実、保育の充実等)	2
ひとり親家庭への支援の充実	2
平日の講座・イベント開催	2
保育園のアレルギー児への対応の充実	2
保育園の設備の改善	2
保育士、職員の対応改善	2
その他(市の子育て環境への不満や感謝、自身の子育ての振り返り、児童館の改善・充実、児童センターへの要望等)	93

【就学児童(小学生)の保護者】

子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。【問 16 その他 ()】

意見の要約(上位10は主な意見を掲載)	件数
医療費助成対象年齢の拡大	128
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 近隣の市に比べて、医療の無料化が就学前までと短く、現状補助をしていただいているので、ありがたいとは思いますが、期間をのばしていただけると助かります。 ▶ 中学生までの医療費無料化 ▶ 中学までとはいわないが、せめて小学生までの医療費負担をゼロにしてほしい！！ 	
公園・広場の整備	12
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 外でいっぱい遊べる環境、大きい公園等 ▶ 公園など子どもが外で気軽に遊べる場所を充実してほしい。(九之坪周辺ないので) ▶ 公園でボール遊びができるようにしてほしい。遊ぶ場所がない。休日、土、日に学校を使用できると(運動場)うれしい。 	
歩道の整備等の安全対策、防災・防犯対策	4
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 歩道が少ない。あぶない交差点が多い。 ▶ 災害時の学校での対応改善(仕事をしている母親に対する) ▶ 安全対策 	

保育サービスの充実	3
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 病気時のサービス ▶ 幼稚園や保育園への入園しやすさ(私立の幼稚園に夜どおし並んでまで願書提出など、公立幼稚園の充実を) ▶ 母親の就活中の保育3か月程度の確保 	
家庭教育の充実	2
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 母親になる人への教育 ▶ 支援や対策も大切ですが、親の心が一番大切だと思う。 	
仕事と子育ての両立支援	2
<ul style="list-style-type: none"> ▶ すごく思うのは、小さい子どもを持っていると、働き先が大変少なく世の中は厳しいと思う。小さい子どもを持つ母親が働ける場が増えればと思う。 ▶ 父親の子育て参加を推奨する企業側の姿勢(時短勤務、有休とりやすいなど)、雰囲気作り 	
その他(児童クラブの4年生以降の受け入れ、放課後子ども教室の実施等)	17
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 長期休暇中など児童クラブを利用できるのが小3までなので来年はどうしたらいいか検討中。夏休みのプールも少ないので一人で留守宅においておくのは不安。児童クラブの利用学年の制限は必要でしょうか...? ▶ 放課後子ども教室 ▶ 図書館の充実。小さすぎる。 	

仕事と子育ての両立、保育サービス、そのほか子育て全般に関して、自由に意見をお書きください。【問27】

意見の要約(上位10は主な意見を掲載)	件数
医療費助成対象年齢の拡大	155
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 周りの市は中学卒業まで医療費が無料なのに、北名古屋市は未だに1割負担。しかも、窓口で3割立て替え 申請 翌月末2割返金の手続きは働く親にとってはかなりの負担。ガン検診などの無料クーポンはありがたいが、子育て世帯は子どもの医療費が大きくなるので、できるだけ早い段階で無料にしたいです。 ▶ 子どもの医療費ですが、持病があるため医療費がかかります。負担が軽減できると助かります。医療費の申請もとても不便です。最初から1割負担にはできないのでしょうか。 ▶ 北名古屋市は子どもの医療費が6歳まで無料ですが、他の市は小学生以下、中学生以下無料の所が増えているようです。早く無料の年齢を上げてほしいです。申請しなければ2/3返ってこないというシステムも煩雑だと思います。 	

児童クラブの4年生以降の受け入れ	39
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 児童クラブは、3年生までしか入れないので、高学年になっても入れるようにしてほしい。兄弟がいると、下の子だけ児童クラブで上の子は留守番という事になるので困ります。 ▶ 児童クラブが低学年までとなっているが、高学年でも夏休み・冬休み・春休みなどの長期休暇の時だけでも利用したい。朝から夕方まで子ども1人で家に留守番させるのは、大変不安です。 ▶ 昔に比べると今は子どもに対する犯罪が目立つため、子どもだけで遊びに行かせたり、留守番させられない。児童クラブが3年生までなので6年生まで可能にしてもらいたい。 	
広い公園(ボール遊びができる等)、遊べる場の充実、公園設備(トイレ等)の改善	38
<ul style="list-style-type: none"> ▶ ボールが蹴れたり自転車が乗れる広い公園があればいいのにとします。市内のどこの公園も狭くて道路でしか遊べません。 ▶ 家の中では、テレビゲームしかする事なく外でサッカー、野球をしたくても公園は禁止なので道路でする事になり車が通行するので危ないからダメと言うと「じゃあどこでやればいいの?」と聞かれ、ないよねと答える事しかできず、そういう施設があるとうれしいです。 ▶ 子どもが外で遊べる場所が、少なすぎるとします。小さな公園や、ゲートボール場は十分あるが、球技ができる場所はなく、周囲には民家もあり、気をつかいながら、できる範囲内でやっています。ボールを使用することで、危険も付いてきますが、校庭を開放したり、するなど、場所(活動出きる所)を提供してほしいです。あと、球技禁止の公園でNPOのサッカーや野球チームが、活動しているのは、おかしいです。やってはいけないと注意を受けた所で、大人が堂々とやっていると、子どもに言う言葉がないです。 	
保育サービスの充実(病児保育、入園基準の見直し、一時預かりの充実等)	31
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 小学生の間は、放課後や祝日も預けられる所があると良いと思います。土、日の出勤ができる人の募集で求人があったりもするので、小さな子どもがいるとそういった場合、最初から働きたくても制限されてしまう事が多いので、有料でも補助を受けて施設に預ける事ができると良いと思います。 ▶ 仕事の時に子どもが病気でも預けられる場所がほしいです。 ▶ 緊急時に子どもを見てもらえる施設を充実してほしい。 	
児童クラブの受入枠の拡大	12
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 自分の子(一人っ子)が孤独に見える。現在は離婚成立し母子の状況ではあるが、別居中から、私の母が居るという事で留守ではないとの事で児童クラブも入れず、しかし、祖母だけでは、遊びもできず、一人で過ごすことが普通である。お友達同士も習い事の兼ね合いもあり、遊びの約束もお互いに調整しても無理になるそうです。 ▶ 児童クラブをもっと利用しやすくしてほしい(学年別の料金は良くない)。子どもが喜んでいける様、工夫してほしい。 ▶ 現状として児童クラブの運営時間に合わせて仕事を選択するという状況なので、逆の仕事に合わせて児童クラブを利用できるようになると核家族にとってはとてもありがたいです。児童クラブの定員等もう少し増加していただくと社会進出を望む方との強い味方になると思います。 	

児童クラブの環境・プログラムの改善	11
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 夫婦が仕事していると子どもを児童クラブへ入れるのですが児童クラブの環境があまり良くない気がします。高学年の子も遊びに来られるので怖くて遊びたくないといいます。指導員の注意も必要ですし、楽しく通える場にしたいと思います。 ▶ 児童クラブ等、乳幼児、子どもが関わる施設は、資格のある職員にできれば安心してあずけたい。 ▶ 兄がいるので、児童クラブに行かず帰宅させられる。児童クラブは仲のいい子とクラスが離れ、遊びにくくなったと嫌がったためやめることになった。クラブ利用外の子とも交流できるなど、束縛感がなくなればいいと思う。 	
ひとり親家庭への支援の充実(住まいの確保、経済的支援等)	9
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 母子家庭ですので、特に仕事と子育てをがんばらなくてはいけないのですが、他の家庭で2人で行っていることを1人で行うのは、やはり無理が出てきます。働く時間も限られてしまうため、仕事を始めても生活が苦しいです。お金の面だけでも、もう少し安心してくらすてゆけたらと思います。 ▶ 市でも1人親の住居の安定、支援もしくは家賃を半分でも出してほしい。生活が苦しい。母子家庭での収入によつての支援の見直しをしてほしい。 ▶ 母子家庭の場合、経済的な問題が大きいだろうが、私の場合父子家庭で、生活をする分には金銭的に困ることはない。ただし、時短労働等は、実質的にはできず、家事をやってくれるデイサービスのものが安くなってくると助かる。 	
子育て家庭の経済的負担の軽減	8
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 両親がいても経済的に苦しい。もっと、所得の低い家庭を支援してほしい。 ▶ 子育て中の家庭の経済的負担を軽くしてほしい。 ▶ 頑張っても、ほとんど税金などに消えていくので子育て世代の控除がほしい。 	
防犯対策の充実	8
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 栗島学区では、下校時に見守ってくれる方を見かけず、1年生下校など、少人数で帰宅する日が心配です。五条学区の様にたくさんの方がついているのを見たらやましく思います。 ▶ 子どもが被害にあわないように犯罪の防止。電柱の明かりを増やす。地域ぐるみで協力する等。 ▶ 行政に求めることとは問題が違つかもしれませんが、日頃不審者情報でメール配信されるような犯罪から子どもを守りたいです。どこに力をそそげばこのような犯罪が起こらなくなるのでしょうか？ 	
歩道等の整備	8
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 歩道などベビーカーが安全に使用できるように整備してほしい。 ▶ 道路など歩道が狭かったり、なかったり危ないところが多い。大きな道路はスピードがでてい事が多く、道が狭いので危ない。 ▶ 新しくできる児童センターの前の道は、車のおりが激しく、子どもが安全に児童館へ行ける様に横断歩道や信号など設置してほしいです。 	

いじめ問題への対応の充実(弱者を理解する教育、子どもへのフォロー、学校からの説明の充実等)	7
教育の充実(学力低下への対応、社会体験活動の充実、学校間の格差是正等)	7
家庭教育の充実	6
夏休み等の居場所・体験活動等の充実	6
教育関係者の地位と質の向上	6
障害児への支援の充実	5
広報・情報提供の充実	4
児童館の環境改善(幼児と小学生の両方が使いやすく等)	4
学校の環境改善(エアコン設置、保護者が学校に関われる機会の拡充等)	3
子育てを支援する地域づくり	3
子ども会の改善	3
きたバスの充実	2
子ども自身へのアンケート調査の実施	2
児童館の整備	2
児童クラブの利用料が高い	2
図書館の充実	2
放課後子ども教室の実施	2
幼稚園の整備・改善	2
その他(市の子育て環境への不満や感謝、自身の子育ての振り返り、アレルギー対応の統一、虐待対応の充実等)	96

(4) 量の見込みの推計に向けた各事業の利用意向の集計

子ども・子育て支援法において、市町村は、国が示す基本指針に即して、5年を1期とする市町村子ども・子育て支援事業計画を作成することとされており、本市においても、平成26年度に「北名古屋市子ども・子育て支援事業計画」を策定いたします。

なお、計画の中では、教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の量の見込みとともに、それに対応する提供体制の確保の内容及び実施時期について定めることになっています。

そこで、計画の策定に当たり、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みの推計に向けて、各事業の利用意向率等を集計しました。

今回集計した利用意向率等は、国が示した手引きに従って、就学前児童の保護者ニーズ調査の結果に基づき推計したものであり、今後、例えば、放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の需要量などについては、小学生の保護者ニーズ調査の結果の活用も検討していきます。

なお、次の事業について、子ども・子育て支援事業計画で定める「教育・保育提供区域」ごとに「量の見込み」の算出を行う必要があります。

【平日日中の教育・保育（子ども・子育て支援給付）】

認定区分		対象事業	事業概要
1号	子どもが満3歳以上で、専業主婦（夫）家庭、就労時間が短い家庭	認定こども園及び幼稚園	認定こども園（幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設）及び幼稚園で、教育標準時間（1日4時間程度）の幼児教育を実施
2号	子どもが満3歳以上で、共働きであるが、幼稚園の利用希望が強いと想定される家庭	幼稚園	幼稚園で、教育標準時間（1日4時間程度）の幼児教育を実施
	子どもが満3歳以上で、共働きの家庭	認定こども園及び保育所	認定こども園及び保育所で、両親ともにフルタイムで就労する場合、又はそれに近い場合は、 <u>保育標準時間（1日11時間）</u> までの利用に対応。両親の両方又はいずれかがパートタイムで就労する場合は、 <u>保育短時間（1日8時間）</u> までの利用に対応。
3号	子どもが満3歳未満で、共働きの家庭	認定こども園及び保育所＋地域型保育	認定こども園及び保育所で、両親ともにフルタイムで就労する場合、又はそれに近い場合は、 <u>保育標準時間（1日11時間）</u> までの利用に対応。両親の両方又はいずれかがパートタイムで就労する場合は、 <u>保育短時間（1日8時間）</u> までの利用に対応。 地域型保育（定員6人以上19人以下の小規模保育、定員5人以下の家庭的保育、事業所内保育、居宅訪問型保育）で、上記と同様の対応。

【地域子ども・子育て支援事業】

対象事業		事業概要	対象児童年齢
1	時間外保育事業	11時間等を超えて保育を行う事業	0～5歳
2	放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	放課後、自宅に帰っても保護者がいない小学校児童に、遊びを主とする健全育成活動を行う事業	1～3年生、4～6年生
3	子育て短期支援事業	親の病気、残業などの場合に児童養護施設等において一時的に預かるショートステイ、トワイライトステイ	0～18歳
4	地域子育て支援拠点事業	子育て支援センター事業	0～2歳
5	一時預かり事業	幼稚園における在園児を対象とした一時預かりや保育所その他の場所での一時的な保育事業	3～5歳(幼稚園) 0～5歳
6	病児保育事業	病院等付設の専用スペース等で看護師等が一時的に保育する事業	0～5歳、1～6年生
7	子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)	依頼会員と援助会員で構成する子どもの送迎・預かりサービス	0～5歳、1～3年生、4～6年生
8	利用者支援事業	子育て支援事業の中から適切なものを選択し円滑に利用できるよう、身近な場所で支援を行う事業	0～5歳、1～6年生

(4) - 1 家庭類型の分類

就学前児童の保護者ニーズ調査の結果に基づき、対象となる父母の有無、就労状況を踏まえて、タイプAからタイプFまでの8種類の「家庭類型」に分類したところ、本市の場合は、潜在で専業主婦(夫)家庭【タイプD】が42.4%、両親ともにフルタイム【タイプB】が27.9%、フルタイムとパートタイムの組み合わせ【タイプC、C'】が25.2%などとなっています。

【家庭類型の分類の仕方】

父親	母親	ひとり親家庭 (母親不在)	フルタイム (育休・介護休業中を含む)	パートタイム (育休・介護休業中を含む)			就労していない
	120時間以上			64時間以上 120時間以下	64時間未満	就労していない 就労していない	
ひとり親家庭 (父親不在)		タイプA					タイプD
フルタイム (育休・介護休業中を含む)							
パートタイム (育休・介護休業中を含む)	120時間以上	タイプB	タイプC	タイプC'		タイプD	
	64時間以上 120時間以下	タイプC	タイプE				
	64時間未満	タイプC'		タイプE'			
就労していない 就労していない		タイプD				タイプF	

【就学前児童の保護者ニーズ調査の結果に基づく本市の家庭類型の分類】

家庭類型		現在		潜在 1	
		実数	割合	実数	割合
タイプA	ひとり親	41	4.2%	41	4.2%
タイプB	フルタイム×フルタイム	257	26.3%	273	27.9%
タイプC	フルタイム×パートタイム (就労時間 月 120 時間以上 + 64 時間 ~ 120 時間の一部) 2	164	16.8%	178	18.2%
タイプC'	フルタイム×パートタイム (下限時間未満 + 64 時間 ~ 120 時間の一部)	71	7.3%	69	7.0%
タイプD	専業主婦(夫)	441	45.0%	415	42.4%
タイプE	パートタイム×パートタイム (両親双方就労時間 月 120 時間以上 + 64 時間 ~ 120 時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプE'	パートタイム×パートタイム (両親のいずれかが下限時間未満 + 64 時間 ~ 120 時間の一部)	0	0.0%	0	0.0%
タイプF	無業×無業	5	0.5%	3	0.3%
ニーズ調査の回答者全体		979	100.0%	979	100.0%

- 1 潜在とは、例えば、現在は母親がパートタイム、父親がフルタイムのご家庭（タイプC）で、母親にフルタイムへの転換希望があり、希望が実現できる見込みがあると回答している場合には、潜在としてはタイプBに組み込むこと
- 2 国の基準として、保育短時間（1日8時間）の利用対象者として、パートタイムの就労時間の下限は1か月当たり48時間以上64時間以下の範囲で、市町村が定めることが基本となっており、今回は下限時間を64時間と設定

(4) - 2 平日日中の教育・保育の利用意向の集計

就学前児童の保護者ニーズ調査の結果に基づき、子どもの年齢区分（0歳家庭、1・2歳家庭、3歳～就学前家庭）ごと、かつ、認定区分ごとに、教育・保育（幼稚園や保育所等）に対する利用意向を集計しました。

なお、2号認定の場合は、保育の必要性が認定された家庭の中で、幼稚園を希望する家庭（現状、幼稚園を利用している家庭等）と認定こども園及び保育所を希望する家庭とに分けて集計しています。

集計の結果、0歳家庭の3号認定でタイプB（フルタイム×フルタイム）の家庭では、「認定こども園及び保育所＋地域型保育（いずれかの施設）」を65.6%の方が希望しています。

【平日日中の教育・保育の利用意向率】

0歳家庭のみ

<3号認定>（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

	利用意向率(割合)
タイプA ひとり親	0.0%
タイプB フルタイム×フルタイム	65.6%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上＋64時間～120時間の一部)	57.1%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上＋64時間～120時間の一部)	0.0%

1・2歳家庭のみ

<3号認定>（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

	利用意向率(割合)
タイプA ひとり親	53.8%
タイプB フルタイム×フルタイム	77.3%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上＋64時間～120時間の一部)	60.6%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上＋64時間～120時間の一部)	0.0%

3歳～就学前家庭のみ

1号認定（認定こども園及び幼稚園）

	利用意向率(割合)
タイプC' フルタイム×パートタイム(64時間未満＋64時間～120時間の一部)	87.1%
タイプD 専業主婦(夫)	87.8%
タイプE' パート×パート(いずれかが64時間未満＋64時間～120時間の一部)	0.0%
タイプF 無業×無業	100.0%

2号認定

(1) 幼稚園の利用希望が強いと想定

	利用意向率(割合)
タイプA ひとり親	33.3%
タイプB フルタイム×フルタイム	11.2%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上＋64時間～120時間の一部)	5.8%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上＋64時間～120時間の一部)	0.0%

(2) 認定こども園及び保育所

	利用意向率(割合)
タイプA ひとり親	66.7%
タイプB フルタイム×フルタイム	88.8%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上＋64時間～120時間の一部)	94.2%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上＋64時間～120時間の一部)	0.0%

(4) - 3 地域子ども・子育て支援事業の利用意向の集計

時間外保育事業

時間外保育事業については、就学前児童の保護者ニーズ調査で、18:00以降の保育の利用を希望した方の割合を集計しました。

集計の結果、タイプB（フルタイム×フルタイム）では、当事業を14.8%の方が希望しています。

【時間外保育事業の利用意向率】

0歳～就学前家庭		利用意向率(割合)
タイプA	ひとり親	0.0%
タイプB	フルタイム×フルタイム	14.8%
タイプC	フルタイム×パートタイム(月120時間以上+64時間～120時間の一部)	3.6%
タイプE	パート×パート(双方月120時間以上+64時間～120時間の一部)	0.0%

放課後児童健全育成事業

放課後児童健全育成事業（児童クラブ）については、就学前児童の保護者ニーズ調査で、低学年のうち、また、高学年になってから、それぞれ児童クラブの利用を希望する方の割合を集計しました。

集計の結果、低学年のうちの希望については、タイプB（フルタイム×フルタイム）では、当事業を63.0%の方が希望しており、高学年になってからは、同タイプでは利用意向率が37.0%に低下しています。

【放課後児童健全育成事業の利用意向率】

低学年

		利用意向率(割合)
タイプA	ひとり親	42.9%
タイプB	フルタイム×フルタイム	63.0%
タイプC	フルタイム×パートタイム(月120時間以上+64時間～120時間の一部)	48.0%
タイプE	パート×パート(双方月120時間以上+64時間～120時間の一部)	0.0%

【注】5歳児以上家庭の意向を集計

高学年

		利用意向率(割合)
タイプA	ひとり親	57.1%
タイプB	フルタイム×フルタイム	37.0%
タイプC	フルタイム×パートタイム(月120時間以上+64時間～120時間の一部)	10.4%
タイプE	パート×パート(双方月120時間以上+64時間～120時間の一部)	0.0%

【注】5歳児以上家庭の意向を集計

子育て短期支援事業

子育て短期支援事業については、就学前児童の保護者ニーズ調査で、泊まりがけで家族以外に預けなければならなかった場合の預け先で、ショートステイ事業の利用や子どもだけで留守番をさせた経験を持つ方の割合を集計しました。

集計の結果、本調査では該当者は抽出されませんでした。

【子育て短期支援事業の利用意向率等】

0歳～就学前家庭		
	利用意向率(割合)	利用意向日数(日)
タイプA ひとり親	0.0%	0.0
タイプB フルタイム×フルタイム	0.0%	0.0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+64時間～120時間の一部)	0.0%	0.0
タイプC' フルタイム×パートタイム(64時間未満+64時間～120時間の一部)	0.0%	0.0
タイプD 専業主婦(夫)	0.0%	0.0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+64時間～120時間の一部)	0.0%	0.0
タイプE' パート×パート(いずれかが64時間未満+64時間～120時間の一部)	0.0%	0.0
タイプF 無業×無業	0.0%	0.0

地域子育て支援拠点事業

地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター)については、就学前児童の保護者ニーズ調査で、子育て支援センターを現在利用している方と今後の利用希望を持つ方を合わせた割合を集計しました。

集計の結果、タイプD(専業主婦(夫))の家庭の利用意向率が76.6%と最も高く、タイプB(フルタイム×フルタイム)とタイプC(フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部))では、いずれも52.5%となっています。

【地域子育て支援拠点事業の利用意向率等】

0歳～2歳家庭のみ		
	利用意向率(割合)	平均利用意向回数(回)
タイプA ひとり親	38.5%	5.8
タイプB フルタイム×フルタイム	52.5%	4.5
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+64時間～120時間の一部)	52.5%	3.1
タイプC' フルタイム×パートタイム(64時間未満+64時間～120時間の一部)	57.1%	4.5
タイプD 専業主婦(夫)	76.6%	5.0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+64時間～120時間の一部)	0.0%	0.0
タイプE' パート×パート(いずれかが64時間未満+64時間～120時間の一部)	0.0%	0.0
タイプF 無業×無業	0.0%	0.0

平均利用意向回数は月当たり

一時預かり事業

一時預かり事業については、就学前児童の保護者ニーズ調査で、幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）とそれ以外の0歳～就学前家庭を対象とした一時預かりに分けて、利用意向を集計しました。

のアは、1号認定に該当すると考えられる子どもについて、不定期の一時預かりの利用意向を持つ方の割合を集計しました。

のイは、不定期事業を利用している幼稚園利用者の幼稚園型一時預かり等の利用であり、保育園の一時保育や幼稚園の一時預かりの利用経験を持つ方の割合を集計しました。

また、は2号認定に該当すると考えられる家庭で、幼稚園の利用希望が強いと想定される場合の定期的な一時預かり（預かり保育）の利用であり、対象となる4つのタイプすべて、100%の利用意向率を見込んでいます。

最後に、上記以外の0歳～就学前家庭を対象とする一時預かりについては、タイプC（フルタイム×パートタイム（下限時間未満＋下限時間～120時間の一部））の家庭で利用意向率が40.0%と最も高い状況です。

【一時預かり事業の利用意向率等】

幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）
 <1号認定>による利用

	ア	イ	利用意向日数(日)
タイプC' フルタイム×パートタイム(64時間未満+64時間～120時間の一部)	33.3%	20.4%	26.3
タイプD 専業主婦(夫)	38.2%	17.5%	26.3
タイプE' パート×パート(いずれかが64時間未満+64時間～120時間の一部)	0.0%	0.0%	0.0
タイプF 無業×無業	0.0%	0.0%	0.0

ア:「1号認定に該当すると考えられる子どもの不定期事業の利用希望割合」

イ:「不定期事業を利用している幼稚園利用者の幼稚園型一時預かり等の利用割合」

<2号認定>による利用

	利用意向率(割合)	就労日数(日)
タイプA ひとり親	100.0%	247.0
タイプB フルタイム×フルタイム	100.0%	260.0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+64時間～120時間の一部)	100.0%	260.0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+64時間～120時間の一部)	100.0%	0.0

上記以外の0歳～就学前家庭

	利用意向率(割合)	利用意向日数(日)
タイプA ひとり親	24.1%	18.0
タイプB フルタイム×フルタイム	30.3%	9.6
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+64時間～120時間の一部)	25.6%	27.8
タイプC' フルタイム×パートタイム(64時間未満+64時間～120時間の一部)	40.0%	27.8
タイプD 専業主婦(夫)	18.8%	28.7
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+64時間～120時間の一部)	0.0%	0.0
タイプE' パート×パート(いずれかが64時間未満+64時間～120時間の一部)	0.0%	0.0
タイプF 無業×無業	0.0%	0.0

利用意向日数は年当たり

病児保育事業

病児保育事業については、就学前児童の保護者ニーズ調査で、子どもの病気やケガ等で園等を利用できなかった場合の対処方法で、父親または母親が休んで対処された方のうち、病児・病後児保育をできれば利用したかったという方などの割合を集計しました。

集計の結果、タイプB（フルタイム×フルタイム）の家庭では、当事業の利用を 41.9%の方が希望しています。

【病児保育事業の利用意向率等】

0歳～就学前家庭		
	発生頻度	利用意向日数(日)
タイプA ひとり親	15.6%	8.5
タイプB フルタイム×フルタイム	41.9%	7.1
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48～120時間の一部)	18.8%	9.2
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48～120時間の一部)	0.0%	0.0

利用意向日数は年当たり

子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）【就学後の利用】

子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）については、小学校就学後の利用意向を集計しており、低学年、高学年それぞれ、放課後の過ごし方の希望として、ファミリー・サポート・センターの利用を希望した方の割合を集計しました。

集計の結果、低学年ではタイプB（フルタイム×フルタイム）とタイプC（フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)）で利用希望が見られ、高学年では、低学年で利用希望のあった2つのタイプに加えて、タイプD（専業主婦(夫)）で利用希望が見られます。

【子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）の利用意向率等】

低学年

	利用意向率(割合)	利用意向日数(日)
タイプA ひとり親	0.0%	0.0
タイプB フルタイム×フルタイム	4.3%	1.5
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+64時間～120時間の一部)	2.0%	1.5
タイプC' フルタイム×パートタイム(64時間未満+64時間～120時間の一部)	0.0%	0.0
タイプD 専業主婦(夫)	0.0%	0.0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+64時間～120時間の一部)	0.0%	0.0
タイプE' パート×パート(いずれかが64時間未満+64時間～120時間の一部)	0.0%	0.0
タイプF 無業×無業	0.0%	0.0

[注]5歳児以上家庭の意向を集計

高学年

	利用意向率(割合)	利用意向日数(日)
タイプA ひとり親	0.0%	0.0
タイプB フルタイム×フルタイム	2.2%	1.3
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+64時間～120時間の一部)	2.1%	1.3
タイプC' フルタイム×パートタイム(64時間未満+64時間～120時間の一部)	0.0%	0.0
タイプD 専業主婦(夫)	1.5%	1.3
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+64時間～120時間の一部)	0.0%	0.0
タイプE' パート×パート(いずれかが64時間未満+64時間～120時間の一部)	0.0%	0.0
タイプF 無業×無業	0.0%	0.0

[注]5歳児以上家庭の意向を集計

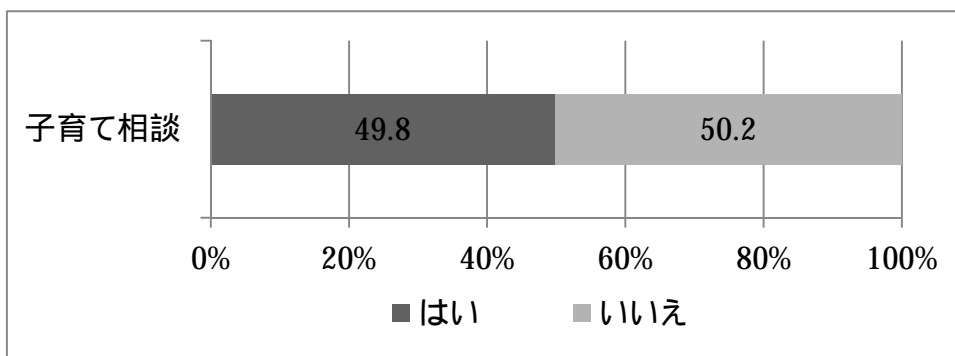
利用意向日数は週当たり

利用者支援事業

利用者支援事業については、就学前児童の保護者ニーズ調査で、市の子育て相談について、今後利用したいとの希望のある方の割合を集計しました。

集計の結果、「はい(利用したい)」との回答は 49.8%と、回答者の半数近くに上っています。

【子育て相談の利用意向率】



北名古屋市子ども・子育て支援に関するアンケート調査
集計結果報告書

平成26年3月発行

発行 北名古屋市

編集 北名古屋市福祉部児童課

〒481-8501

愛知県北名古屋市熊之庄御榊60番地 北名古屋市役所東庁舎

電話番号：0568-22-1111(代表)

URL：<http://www.city.kitanagoya.lg.jp/>

E-mail：jido@city.kitanagoya.lg.jp